観光地等の混雑状況の可視化による利便性向上及び観光客の分散によるオーバーツーリズム対策に向けた実証事業

報 告 書

令和５年３月

内閣府沖縄総合事務局
運輸部観光課

－ 目 次 －

１．　業務概要 1
１.１　業務の目的 1
１.２　業務内容 1

２．　事前調査 2
２.１　観光地・観光施設等の駐車場の利用実態と周辺地域への影響調査 2
２.２　市民アンケート調査 27
２.３　観光客アンケート調査 44

３．　実証地点における実証 62
３.１　実証計画の概要・結果 64
３.２　情報発信・周知広報 75

４．　効果検証及び次年度以降の取組の検討 86
４.１　効果検証 86
４.２　次年度以降の取組の検討 122

５．　協議会等の開催 126
５.１　協議会 126
５.２　地域部会 129

１．業務概要

１．１ 業務の目的

コロナ禍前の沖縄観光においては、国内外からの観光客の増加等が原因で、モノレールや路線バス等の公共交通機関や商業施設等での混雑や、レンタカーの利用者の増加による交通渋滞等が発生しており、オーバーツーリズムによる地域への負荷が懸念される状態が生じていた。

オーバーツーリズムは観光客の満足度を著しく低下させるだけでなく、周辺住民の生活環境にも悪影響を与えるため、沖縄における持続可能で高付加価値な観光を推進していくためにも、上記の課題に対応して、DX による観光地等の混雑状況の可視化や、収集したデータを活用したタイムリーな情報発信体制の構築、比較的混雑していない地域への送客を促進し周遊化を図ること等により、オーバーツーリズムへの対策を推進していく必要がある。

このため、本事業では、観光施設等における駐車場の混雑状況を可視化し、観光客にリアルタイムで共有する仕組み及び、観光地の周遊に対してインセンティブ等を付与する仕組みの構築により、観光客の周遊・分散化・現地消費の促進等を図る実証実験を実施し、オーバーツーリズムの抑制に係る効果を検証することを目的とした。

１．２ 業務内容

（１）事前調査

観光地・施設等の駐車場の利用状況や周辺道路の混雑状況等の事前調査を行い、本島北部地域のオーバーツーリズムに係わる現状把握を行った。

また、コロナ前の状況を把握するため、自治体・観光協会へのヒアリング調査や、地域住民への影響調査を行うとともに、国内外観光客への調査を行った。

（２）実証地点における実証

（１）の調査結果を踏まえ、３ か所実証地点を選定（ター滝、真栄田岬、備瀬のフクギ並木）し、観光施設等の駐車場の混雑状況をリアルタイムで把握し、国内外観光客に向けて発信する実証を行った。

また、混雑情報とともに周辺の観光情報やインセンティブの情報を提供することで、観光客の分散化等を図った。

（３）効果検証及び次年度以降の取組の検討

本実証の取組内容について国内外観光客へのアンケート調査や Google アナリティクスによる情報発信サイトの閲覧状況等による効果検証を行った。

（４）協議会・地域部会の開催

本事業および実証内容全体に関する検討を行う協議会、実証地域での具体的な手法や、運用、継続体制等を検討する地域部会を開催し、効果的な事業推進を図った。

２．事前調査

２．１　観光地・観光施設等の駐車場の利用実態と周辺地域への影響調査

（１）実施概要

駐車場や観光地等の混雑状況や、周辺道路の混雑状況、オーバーツーリズムの発生状況等を把握するため、９市町村を対象に自治体へのアンケート調査等を実施し、北部地域における混雑の実態及び周辺地域への影響を把握した。

実施概要を以下に示す。

図表 １　自治体へのアンケートの実施概要

項目	内容
調査目的	・各観光地・観光施設等の混雑状況の実態及び周辺地域への影響を把握・分析
調査対象	・北部地域９市町村（国頭村、東村、大宜味村、金武町、宜野座村、名護市、本部町、今帰仁村、恩納村）
調査方法	・アンケート表をメールにて送付、回収
調査期間	・令和４年 11 月 28 日（月）～令和４年 12 月 16 日（金）
調査項目	１．現在まで、混雑が起きている／起きていたスポットや場所の状況について（場所、事象、時期、要因、対応内容など） ２．今後、混雑が懸念されるスポットや場所の状況について（場所、懸念している事項など）

令和 4 年 11 月 28 日

沖縄県北部地域の自治体の観光関連課
ご担当者様

内閣府沖縄総合事務局　運輸部　観光課

観光地・観光施設等の混雑状況の実態に関する調査協力のお願い

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本調査は、内閣府沖縄総合事務局運輸部観光部の「観光地等の混雑状況の可視化による利便向上及び観光客の分散によるオーバーツーリズム対策に向けた実証事業」の一環で実施しております。

本事業は、今後の沖縄における持続可能で高付加価値な観光を推進していく上で、国内外からの観光客の増加が原因による交通渋滞や混雑など地域への負荷が懸念されることに対して、DX による観光地等の混雑状況の可視化等の観光客の周遊・分散化対策の実証実験をし、抑制に係る効果を検証することを目的としております。

本調査では、令和３年に世界自然遺産として登録されたやんばる地域を含む沖縄県本島北部地域９市町村において、各観光地・観光施設等の混雑状況の実態及び周辺地域への影響を把握するために、自治体の皆様にアンケートを実施したいと考えております。

つきましては、各市町村における観光地・観光施設等の混雑状況の現状について、質問内容をご確認の上、ご記入いただきたく存じます。

今後、自治体の皆様とも連携しながら、オーバーツーリズム対策を推進していくためにも、既存の取り組みなどについてご意見をお聞かせいただければ幸いです。

【送付資料】
「観光地・観光施設等の混雑状況の実態に関する調査　アンケート調査票」（A4×2 枚）

【依頼内容】

別添のヒアリング調査票にご記入の上、**メールまたは FAX にてご返信ください**

❖提出先

メールアドレス：yokota-nh@oriconsul.com
FAX　　：098-860-8406
返信先　　：株式会社オリエンタルコンサルタンツ　沖縄支社　担当：横田、佐藤

≪本件に関する問い合わせ先≫
【実施主体】　内閣府沖縄総合事務局　運輸部　観光課（丸川、伊志嶺）
〒900-8530　沖縄県那覇市おもろまち２－１－１
TEL：098-866-1812　　FAX：098-860-2369
【受託事業者】　株式会社オリエンタルコンサルタンツ（横田、佐藤）
〒900-0015　沖縄県那覇市久茂地 2-22-10　那覇第一生命ビルディング 4 階
TEL：098-860-8403　　FAX：098-860-8406

図表 2　アンケート依頼文

【観光地・観光施設等の混雑状況の実態に関する調査　アンケート調査票】

1.　基本情報

自治体名		**部署名**	
役職		**ご担当者名**	
電話番号	（　　）	**メールアドレス**	

2.　現在まで（コロナ前を含む）、観光客により観光地や観光施設等が混雑していて困っている／困っていた場所やスポットはありますか。

①はい　　②いいえ

3.　現在まで、混雑が起きている／起きていたスポットや場所の状況について教えてください。

※スポット・場所が複数ある場合には、下記シートをコピーしてお使いください。

1．観光客により混雑している／していた状況について
◆スポット・場所について（例：〇〇施設の駐車場、××施設前の道路など）
◆事象（例：違法駐車の増加、生活地域への流入など）
◆時期（例：GW・夏場のみ、イベント開催日、〇〇時頃、年中など）
◆要因（例：県外観光客、インバウンド観光客など）
2．対応状況について
◆これまでの対応・効果について（例：パンフレット等での観光客への注意喚起による交通量の減少など）
◆今後の対応（予定）（例：交通規制の誘導員の配置など）
◆その他

※写真や資料等があれば添付してください。（ページが跨っても問題ありません。）

図表 3　アンケート内容（1/2）

4. 将来的に、観光客により観光地や観光施設等が混雑して困りそうな場所やスポットはありますか。（３で記載以外のスポットや場所があればお答えください。）

①はい　　②いいえ

5. 今後、混雑が懸念されるスポットや場所の状況について教えてください。

※スポット・場所が複数ある場合には、下記シートをコピーしてお使いください。

１．今後、混雑が懸念されるスポットや場所の状況について
◆スポット・場所について（例：〇〇施設の駐車場、××施設前の道路など）
◆事象・懸念している内容（例：違法駐車の増加、生活地域への流入など）
◆**要因**（例：県外観光客、インバウンド観光客など）

6. **その他、観光客が増加することで何か懸念される事項やご意見があればお聞かせください。**

以上、ご協力ありがとうございました。

図表 4　アンケート内容（2/2）

（２）実施結果

＜現状の混雑しているスポット＞

北部地域９市町村の全ての地域において、観光客により観光地や観光施設等が混雑して困っているスポットがあるとの回答だった。

現状、本島北部地域内において混雑して困っているスポットは 13 か所あり、観光施設の駐車場に関する内容や道路の交通渋滞、生活圏への侵入などが問題となっている。

特に、夏休みや GW などの長期期間中において混雑が発生しており、県内外の観光客だけでなくインバウンド客も要因となっている。

項目		内容
現状の混雑スポットと状況	スポット・事象	①**駐車場**（東村ふれあいヒルギ公園の駐車場、備瀬のフクギ並木、赤墓ビーチ、ター滝、道の駅ぎのざ、真栄田岬など） ⇒駐車場不足による迷惑駐車、違法駐車の増加 ②**道路**（金武町タコライス販売パーラー前路上、国頭村西海岸の海辺、ウッパマビーチ、国道 58 号、アポガマなど） ⇒路上駐車の増加、交通渋滞、外国人観光客の交通マナーに対する不安 ③**その他**（備瀬のワルミや備瀬のフクギ並木内の生活圏など） ⇒生活地域による危険行為、ごみ問題、私有地への侵入など
	時期	・夏休み、GW（東村ふれあいヒルギ公園、ウッパマビーチ、備瀬のワルミ、ター滝、真栄田岬、国頭村西海岸の海辺） ・週末（金武町タコライス販売パーラー前路上） ・年中（備瀬のフクギ並木、赤墓ビーチ、アポガマ） ・イベント開催時（道の駅ぎのざなど）
	要因	・県内・外観光客（真栄田岬、アポガマ、道の駅ぎのざ、金武町タコライス販売パーラー前路上、国道 58 号、国頭村西海岸の海辺） ・インバウンド（備瀬のフクギ並木、備瀬のワルミ、ター滝）

＜今後、懸念されるスポット・内容＞

今後、観光客により観光地や観光施設等が混雑して困りそうなスポットがあると回答したのは、９市町村中６市町村だった。

今後、混雑して困りそうな新たなスポットは 5 か所あり、内容としては、北部テーマパークの建設、本部港のクルーズ船の受入、世界自然遺産登録などの影響により、来訪者が多くなることで、違法駐車や交通渋滞の増加が懸念されている。また、新たな開発や整備により周辺住民や周辺道路への影響が懸念されている。

今後の懸念事項としては、地域住民の生活環境の悪化や海域環境への負荷などが挙げられた。

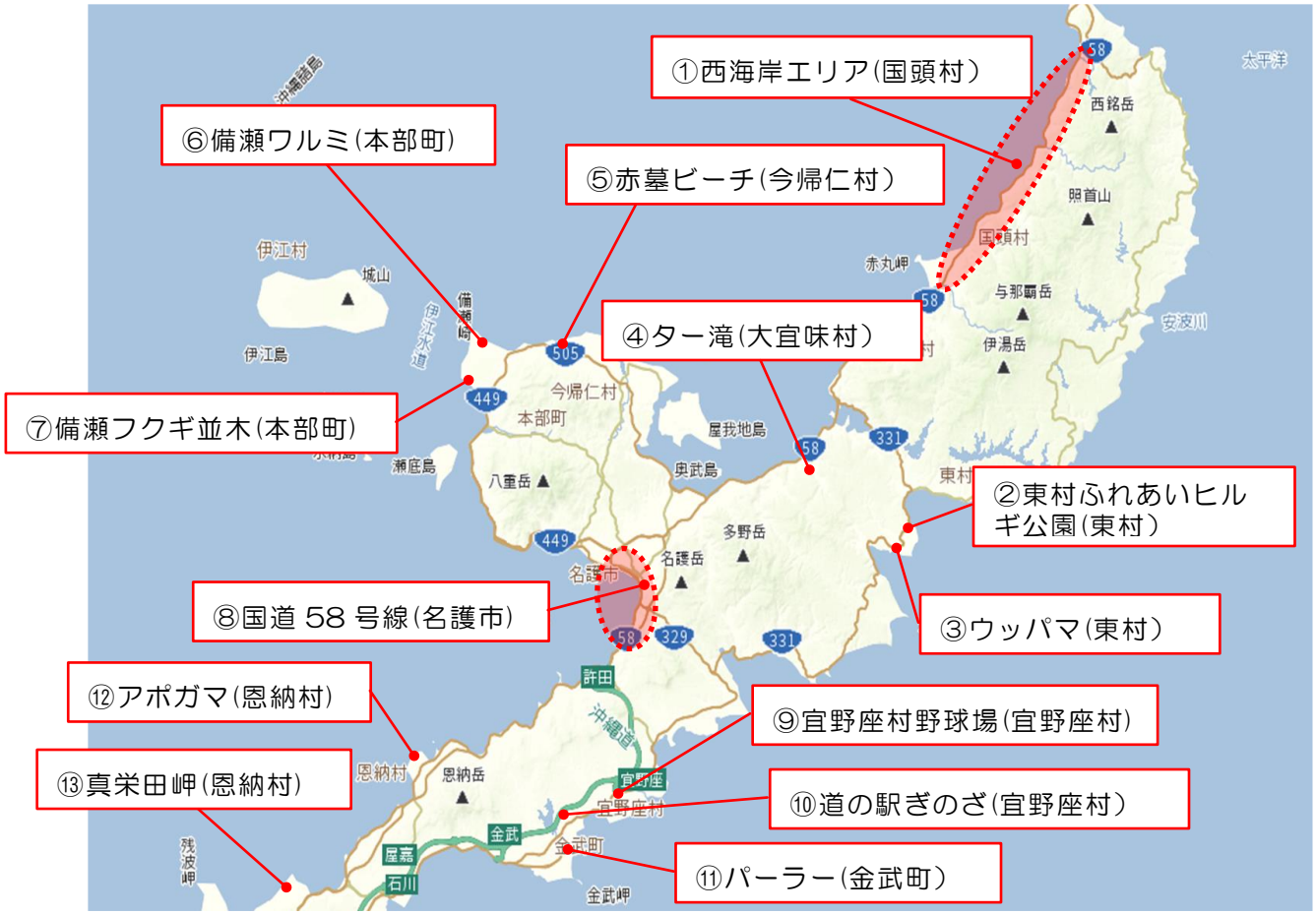
項目	内容
今後懸念される スポット・内容	①北部テーマパーク建設による影響（周辺道路の渋滞・違法駐車の増加） ②本部港周辺エリアの渋滞（クルーズ船の受入による滞留者増加） ③世界自然遺産登録による周辺環境への影響（ネクマチヂ岳の利用者増加） ④新たな開発・整備による周辺住民や周辺環境への影響（道の駅ぎのざ周辺の開発、KIN サンライズビーチ周辺）
今後の懸念事項	①住民の生活環境の悪化 ⇒オーバーツーリズムや外国人観光客のマナーの悪化により地域住民の観光業への負のイメージを与えてしまう。 ②観光人材の確保 ⇒クルーズ船の受け入れなど短時間で受け入れられる体制が必要である。 ③海域環境への負荷 ⇒観光客が押し寄せることによるサンゴへの影響が危惧 ④観光客の満足度低下 ⇒無制限に観光客が訪れることで、利用する観光客同士の満足度が低下する可能性がある。

１）現状の混雑スポット別とりまとめ

各市町村におけるアンケート結果より、現状の混雑スポット別の状況について整理した。以下に混雑スポット一覧表を示す。

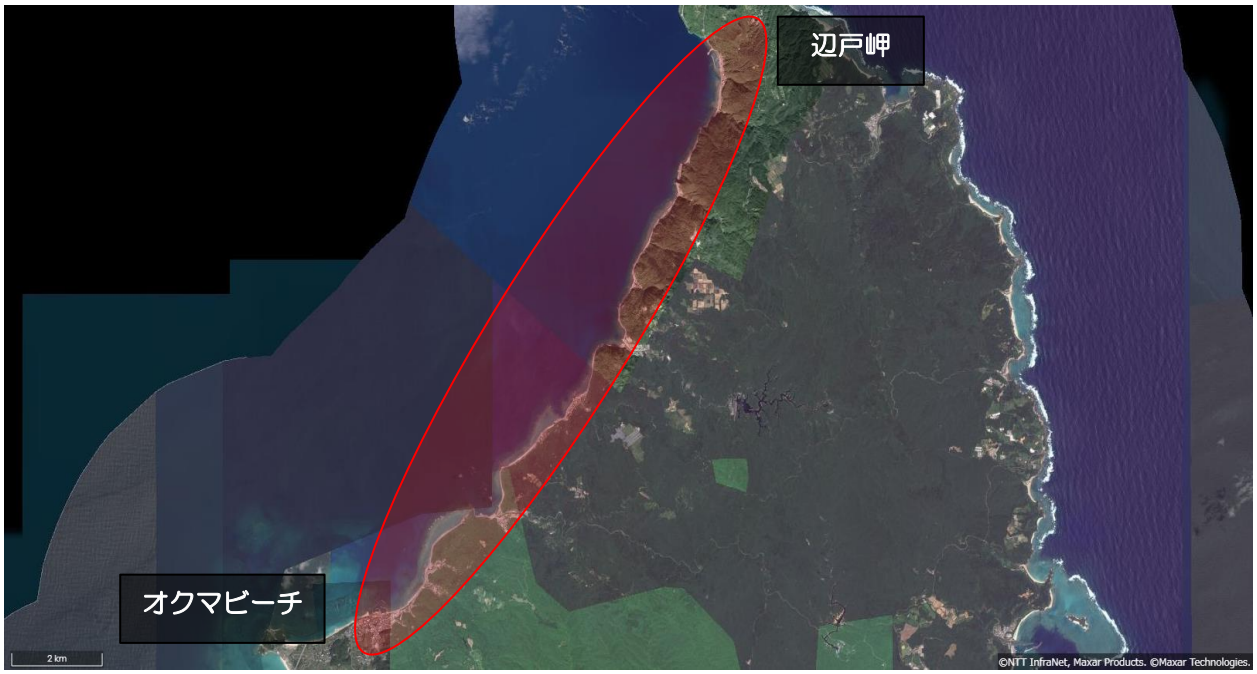
図表 5　市町村別の混雑スポット一覧表

NO.	市町村名	混雑スポット
①	国頭村	西海岸エリアの海辺
②	東村	東村ふれあいヒルギ公園の駐車場
③	東村	ウッパマ（天然の砂浜）
④	大宜味村	平南川ター滝駐車場
⑤	今帰仁村	赤墓ビーチ
⑥	本部町	備瀬ワルミ
⑦	本部町	備瀬フクギ並木及び駐車場
⑧	名護市	国道５８号線
⑨	宜野座村	宜野座村野球場の周辺駐車場
⑩	宜野座村	道の駅ぎのざの駐車場
⑪	金武町	タコライス販売パーラー前路上
⑫	恩納村	アポガマの周辺道路
⑬	恩納村	真栄田岬の駐車場及び周辺道路



①国頭村　西海岸エリアの海辺（キャンプ利用）

混雑スポット		西海岸エリアの海辺（キャンプ利用）
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・違法駐車の増加、ゴミ放置
	時期	・ＧＷ・夏場のみ
	要因	・県内・県外キャンプ利用者
対応状況について	これまでの対応・効果	・カラーコーン、バリケードの設置
	今後の対応（予定）	・ホームページやＳＮＳ等での注意喚起（予定）
	その他	―



②東村　東村ふれあいヒルギ公園の駐車場

混雑スポット		東村ふれあいヒルギ公園の駐車場
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・駐車場の不足（ヒルギ公園）
	時期	・土日祝日　※特に夏場（ヒルギ公園）
	要因	・駐車場のキャパ不足（ヒルギ公園）
対応状況について	これまでの対応・効果	―
	今後の対応（予定）	・駐車場の有料化（ヒルギ公園）※検討段階 ・駐車場の増設（ヒルギ公園）※検討段階
	その他	―



③東村　ウッパマ（天然の砂浜）

混雑スポット		ウッパマ（天然の砂浜）
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・迷惑駐車の増加、不法投棄（BBQ、宴会のゴミ）（ウッパマ）
	時期	・GW、夏休み時期（ウッパマ）
	要因	・キャンプ客の増加（ウッパマ）
対応状況について	これまでの対応・効果	・道路路肩への駐車防止のためのカラーコーンの設置（ウッパマ）
	今後の対応（予定）	―
	その他	―



④大宜味村　平南川ター滝駐車場

混雑スポット		平南川ター滝駐車場
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・駐車台数以上のお客さんが来訪している
	時期	・夏休み
	要因	・県内、県外観光客と県内の米軍関係者家族
対応状況について	これまでの対応・効果	・駐車場が満車になる前に、駐車場に入ってくる前の大通りに看板などを設置して対応している。
	今後の対応（予定）	・交通規制の誘導員の配置などを検討する
	その他	―



⑤今帰仁村　赤墓ビーチの駐車場

混雑スポット		赤墓ビーチの駐車場
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・当該エリアは、有料、無料双方の駐車場があり有料駐車場経営者が有料駐車場に誘導するケースが多発しクレームの要因となっている。 ・また、無料駐車場に駐車した際にも有料駐車場経営者が運営するフードトラックの商品を購入するよう促している事もあった。
	時期	・年中
	要因	・有料駐車場経営者
対応状況について	これまでの対応・効果	・観光協会 HP での注意喚起
	今後の対応（予定）	・基本的には私有地と区有地でのトラブルのため、行政側は関与する予定はない。
	その他	―



⑥本部町　備瀬ワルミ

混雑スポット		備瀬ワルミ
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・違法駐車や私有地への侵入、壁に上るなどの危険行為、ゴミ問題
	時期	・夏場
	要因	・県外観光客・インバウンド
対応状況について	これまでの対応・効果	・ワルミへのアクセス道の一部が私有地となっており、所有者により通行できないように閉鎖。
	今後の対応（予定）	・所有者や地域住民の理解を得なければ閉鎖になると考えられる。
	その他	―



⑦本部町　備瀬フクギ並木及び駐車場

混雑スポット		備瀬フクギ並木及び駐車場
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・生活地域への流入
	時期	・年中
	要因	・インバウンド
対応状況について	これまでの対応・効果	・ウェディング撮影等での迷惑行為が多かったため、地域団体で体制を構築し対応を行っている。
	今後の対応（予定）	・地域団体での撮影申請受付を行っており、交通誘導員などの配置を実施され問題解決に繋がっているかと思われる。
	その他	―



⑧名護市　国道５８号

混雑スポット		国道５８号
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・交通量増加に伴う渋滞 ・国道の渋滞により、旧道や中道も渋滞 ・交通事故の発生 ・外国人観光客の交通マナーに対する不安
	時期	・夕方ごろ ・休日（祝祭日） ・イベント開催日
	要因	・観光客のレンタカー利用
対応状況について	これまでの対応・効果	・特になし
	今後の対応（予定）	・特になし
	その他	・観光客含む北部テーマパーク来場者による北部テーマパーク周辺道路及び基幹道路の渋滞と違法駐車の増加が懸念される ・オーバーツーリズムや外国人観光客のマナーの問題が悪いイメージを与えると観光業に対する理解を得にくくなる



⑨宜野座村　阪神タイガース春季キャンプ時の野球場周辺駐車場

混雑スポット		阪神タイガース春季キャンプ時の野球場周辺駐車場
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・駐車場が少ないことへの利用者からの苦情や周辺道路等への迷惑駐車
	時期	・タイガースキャンプ→週末や他球団との練習試合時
	要因	・村外及び県外からの観光客
対応状況について	これまでの対応・効果	・普段駐車場として利用していない場所の臨時駐車場としての利用や他施設駐車場からのシャトルバスの運用誘導員の配置
	今後の対応（予定）	・これまでの対策の継続
	その他	・村外(県外・国外含む)からの観光客による違法駐車の増加 ・道の駅周辺のさらなる開発により、来場者がさらに増えることが予想される



⑩宜野座村　道の駅ぎのざの駐車場

混雑スポット		道の駅ぎのざの駐車場
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・駐車場が少ないことへの利用者からの苦情や周辺道路等への迷惑駐車
	時期	・週末やイベント開催時
	要因	・村外及び県外からの観光客
対応状況について	これまでの対応・効果	・普段駐車場として利用していない場所の臨時駐車場としての利用や他施設駐車場からのシャトルバスの運用誘導員の配置
	今後の対応（予定）	・これまでの対策の継続
	その他	・村外(県外・国外含む)からの観光客による違法駐車の増加 ・道の駅周辺のさらなる開発により、来場者がさらに増えることが予想される



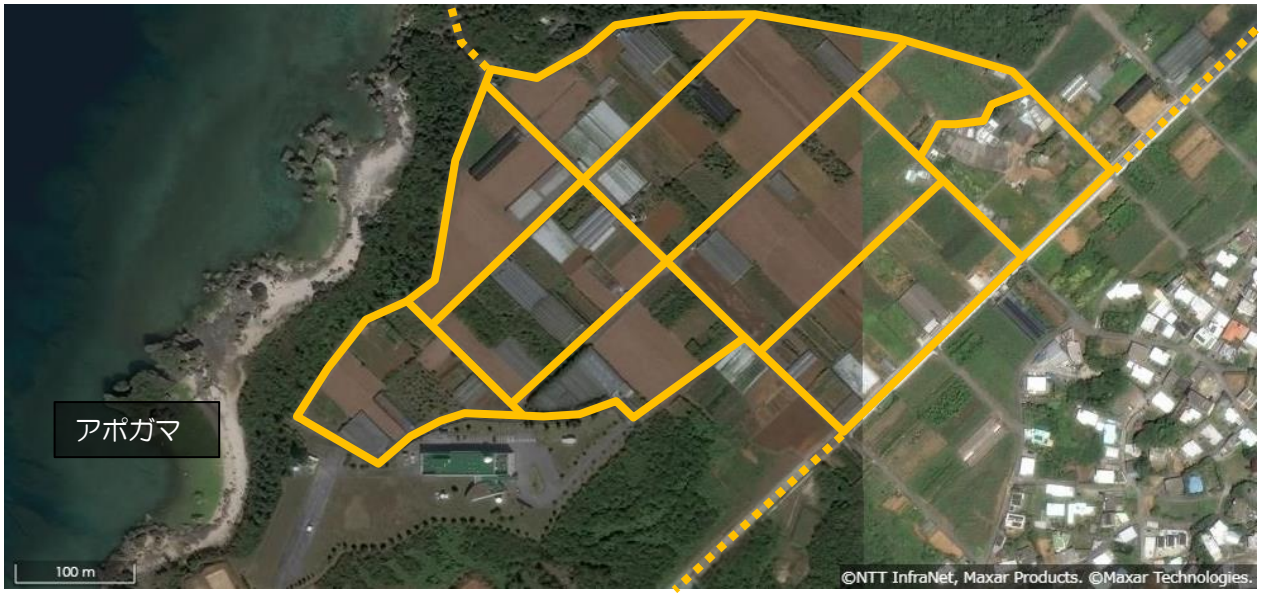
⑪金武町　タコライス販売パーラー前路上

混雑スポット		タコライス販売パーラー前路上
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・駐車場が少ないことへの利用者からの苦情や周辺道路等への迷惑駐車
	時期	・週末等
	要因	・県外観光客、県内在住者
対応状況について	これまでの対応・効果	・店側が交通規制の誘導員を配置している。
	今後の対応（予定）	・店側が交通規制の誘導員を配置している。
	その他	―



⑫恩納村　アポガマ（恩納村字恩納地内の天然ビーチ）の周辺道路

混雑スポット		アポガマ（恩納村字恩納地内の天然ビーチ）の周辺道路
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・農道への違法駐車により農業従事者への支障、生活地域への流入
	時期	・年中（受入施設が皆無であり来た台数＝路駐となる）
	要因	・主に県内外観光客
対応状況について	これまでの対応・効果	・カラーコーン、バリケードの設置
	今後の対応（予定）	・駐車禁止、遊泳危険の看板設置（当該ビーチはダイビング、シュノーケルの人気スポットであるが離岸流発生地帯で水難事故が多発していることもあり遊泳危険、水難事故多発など看板等により周知し当該海浜利用を抑制する）
	その他	・海域環境への負荷（サンゴへの影響）



⑬恩納村　真栄田岬の駐車場及び周辺道路

混雑スポット		真栄田岬の駐車場及び周辺道路
観光客により混雑している・していた状況について	事象	・違法駐車、周辺道路渋滞による生活環境に支障
	時期	・４月～１０月
	要因	・主に県内外観光客
対応状況について	これまでの対応・効果	・カラーコーン、バリケードの設置
	今後の対応（予定）	・警察による巡回等の規制強化
	その他	・真栄田岬は「青の洞窟」と呼ばれるスポットに無制限に押し寄せることから、利用する観光客の満足度の低下



2）今後の懸念スポット別とりまとめ

各市町村におけるアンケート結果より、今後の懸念スポット別の状況について整理した。以下に混雑スポット一覧表を示す。

図表 6　市町村別の混雑スポット一覧表

NO.	市町村名	混雑スポット
①	東村	福地川周辺域
②	大宜味村	ネグマチヂ岳周辺
③	本部町	本部港
④	金武町	ＫＩＮサンライズビーチ周辺



①東村　福地川周辺域

混雑スポット		福地川周辺域
今後、混雑が懸念されているスポットや場所の状況について	事象・懸念事項	・生活地域への流入等
	要因	・県外、インバウンド観光客等
	その他	―



②大宜味村　ネグマチヂ岳周辺

混雑スポット		ネグマチヂ岳周辺
今後、混雑が懸念されているスポットや場所の状況について	スポット・場所について	・世界自然遺産登録などもあり、大宜味村内にあるネクマチヂなどの散策道の利用混雑が予想される
	事象・懸念事項	・駐車場、散策道の安全対策、ゴミ問題が予想される
	要因	―
	その他	―



③本部町　本部港

混雑スポット		本部港
今後、混雑が懸念されているスポットや場所の状況について	事象・懸念事項	・平成 29 年 7 月に国際旅客船拠点形成港湾として指定され、バースの整備などを終えている本部港だがターミナルビルの建設には至っていない状況である。 ・バース整備により 10 万トン級のクルーズ船着岸が可能となり寄港されるクルーズ船が増えると思われるが受入の施設整備が追いついていない状況で対応が図れず、港内を滞留するインバウンドが想定される。
	要因	―
	その他	・7 万トンを超える大型客船の寄港により 2,000 人を超える観光客を短時間で受け入れなければならない。



④金武町　ＫＩＮサンライズビーチ周辺

混雑スポット		ＫＩＮサンライズビーチ周辺
今後、混雑が懸念されているスポットや場所の状況について	事象・懸念事項	・イベント等の際の交通渋滞等による周辺住民への影響
	要因	・県外観光客、県内在住者
	その他	―



２．２ 市民アンケート調査

（１）実施概要

駐車場や観光地の混雑状況やオーバーツーリズムによる生活への影響（場所、内容、要因、時間帯など）、今後の要望などオーバーツーリズムの抑制に関わる現状・課題について把握するため、アンケート調査を実施した。

調査概要を以下に示す。

図表 7　市民アンケート調査の実施概要

項目	内容
調査目的	・駐車場や観光地の混雑状況やオーバーツーリズムに関する生活への影響について把握・分析
調査対象	・沖縄県北部の対象９市町村（名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町）に在住の住民
調査方法	・WEB リサーチ会社のモニターのうち、北部地域に在住している方に対して調査を実施
調査期間	・配信：令和４年 12 月 16 日（金） ・回収：令和５年１月 11 日（水）
調査項目	１．基本属性 ・居住場所、居住年数、性別、年代 ２．混雑経験 ・観光客の混雑等によって日常生活に影響が起きた場所、時期、時間帯 ・混雑による影響の内容（場所ごと） ・混雑による影響の要因となった観光客の属性（場所ごと） ・影響を緩和するためにあったらよいと思う対策 ・過去に観光客により混雑があった場所、時期、時間帯
回収数	・112 票



図表 8　市民アンケート調査の WEB 画面

地域住民アンケート調査票

【スクリーニング】

1. 居住経験

SQ1.現在もしくは過去５年（2017 年～2021 年）の中で名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町に居住経験はありますか？

【回答】①はい ／ ②いいえ

2. 観光客による影響

SQ2. 上記にお住まいの際に、お住まいの市町村や周辺地域で観光客による混雑等が原因で日常生活への負の影響がありましたか？

【回答】①はい ／ ②いいえ

①の回答者が本調査に進む

図表 9　市民アンケート調査票（1/4）

【調査の目的説明】

本調査は沖縄県本島北部地域 9 市町村（名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町）において、各観光地・観光施設における駐車場や施設、周辺道路等の混雑状況、課題を把握し、混雑等による不満の解消に向けた取り組み推進を行うための調査として実施しています。

今後、安全・安心な地域づくりのためにも地域住民の皆様の不満解消、観光客の満足度向上に向け、ぜひ地域住民の皆様の具体的なご意見をお聞かせ下さい。

【本調査】

1. 日常生活への影響があった場所

Q1. お住まいの周辺で観光客の混雑等によって日常生活に影響がおきた場所を教えて下さい？（MA）

【回答】 1.観光施設 ／ 2.日用品店舗（スーパー等） ／ 3.飲食施設 ／ 4.幹線道路
5.生活道路 ／ 6.バス・タクシーなど交通機関 ／ 7.その他（ ）

Q２. 観光施設と回答した方、具体的なスポットを教えて下さい？（MA）

【回答】

1.幸喜ビーチ（名護市） ／ 2.喜瀬ビーチ（名護市） ／ 3.ブセナ海中公園（名護市）
4.ネオパークオキナワ（名護市）／ 5.オリオンハッピーパーク（名護市） ／ 6.道の駅・許田（名護市）
7.OKINAWA フルーツランド（名護市） ／ 8.21 世紀の森ビーチ（名護市）
9.名護パイナップルパーク（名護市） ／ 10.嵐山展望台（名護市）
11.DINO 恐竜 PARK やんばる亜熱帯の森 （名護市） ／ 12.名護博物館（名護市）
13.轟の滝（名護市） ／ 14.森のガラス館（名護市） ／ 15.シーサーパーク琉球窯（今帰仁村）
16.八重岳桜の森公園（本部町） ／ 17.沖縄美ら海水族館・海洋博公園（本部町）
18.琉球村（恩納村） ／ 19.万座毛（恩納村）／ 20.今帰仁城跡（今帰仁村）
21.やんばる学びの森（国頭村） ／ 22.茅打バンタ（国頭村）／ 23.辺戸岬（国頭村）
24.大石林山（国頭村） ／ 25.真栄田岬（恩納村） ／ 26.瀬底ビーチ（本部町）
27.備瀬のフクギ並木(本部町) ／ 28.崎本部のゴリラチョップ（本部町）
29.恩納海浜公園ナビービーチ(恩納村) ／ 30.仲泊遺跡（恩納村） ／ 31.比地大滝キャンプ場（国頭村）
32.ヤンバルクイナ展望台（国頭村） ／ 33.ター滝（大宜味村） ／ 34.古宇利大橋（今帰仁村）
35.その他（ ）

2. 影響がある時期（1.で選んだものごとに回答）（SA）

Q３. どの時期で影響がありましたか？

【回答】 ①年間通じて ／ ②3-5 月頃 ／③6-8 月頃 ／ ④9-11 月頃 ／ ⑤12-2 月頃

Q４. 特に影響のある時間帯はどの時間帯ですか？

【回答】 ①9 時前 ／ ②9-12 時頃 ／ ③12-15 時頃 ／ ④15-18 時頃
⑤18 時以降

図表 10 市民アンケート調査票（2/4）

3. 不満経験（1.で選んだものごとに回答）（MA）

Q５．不満の内容について教えて下さい。

【回答】

① 施設周辺の道路の渋滞していた
② 施設の駐車場が混んでいた
③ 施設内が混んでいた
④ 景観や自然環境が悪化した
⑤ 騒音やごみの増加した
⑥ マナーが悪かった・ルールを守らなかった
⑦ 生活地域に観光客が入り込んで治安が悪くなった
⑧ その他（　　）

Q６．不満の要因となった属性について教えて下さい。

【回答】

① 県外客
② 外国人
③ 県内客
④ その他（　　）
⑤ 分からない

Q7.Q6 で②外国人と回答した方にご質問します。外国人の属性について教えて下さい。

【回答】

① アジア系
② 欧米系
③ その他（　　）
④ 分からない

4. 不満を解消するためにあったらよいと思う対策（MA）　※2 つまで回答

Q8. 上記を解消するためにあったらよいと思う対策について教えてください。

【回答】

① 観光地の混雑情報をリアルタイム提供
② 時間帯別の混雑予想の情報の提供
③ 空いているおすすめスポットの情報の提供
④ 施設や駐車場などの事前予約制度
⑤ レンタカー以外の公共交通のアクセスを推奨
⑥ 地域ルール啓発看板の設置
⑦ その他（　　）

図表 11　市民アンケート調査票（3/4）

5. 回答属性情報

Q9. 性別について教えて下さい。

【回答】①男性 ／ ②女性 ／ ③回答しない

Q10. 年齢について教えて下さい。

【回答】①10 代 ／ ②20 代 ／ ③30 代 ／ ④40 代 ／ ⑤50 代
⑥60 代 ／ ⑦70 代以上

Q11.居住経験について教えて下さい。（お答えいただいた内容に関する対象市町村）

【回答】9 市町村から選択

Q12. 職業について教えてください。

【回答】①会社員・公務員 ／ ②自営業 ／ ③非常勤（パート・アルバイト）／ ④学生
⑤主婦・主夫 ／ ⑥無職 ／ ⑦その他（ ）

Q13. 在住歴について教えてください。

【回答】①1 年未満 ／ ②1～5 年 ／ ③6～10 年／ ④11 年以上

以上

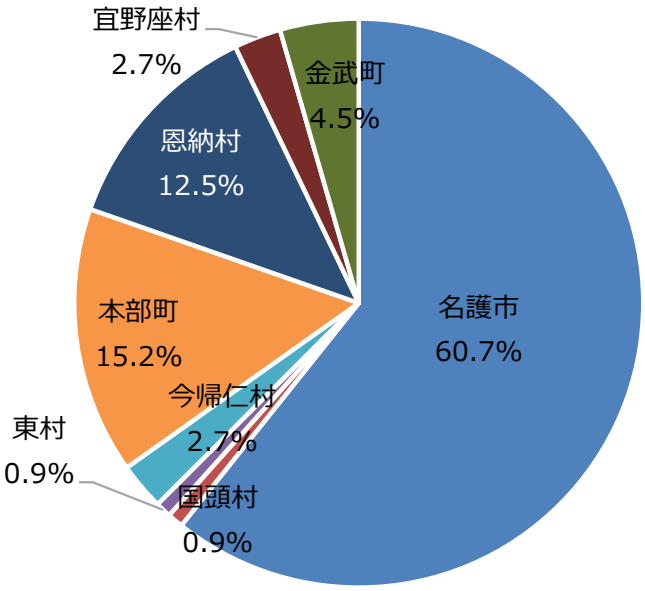
図表 12　市民アンケート調査票（4/4）

（２）実施結果

１）基本属性

①居住場所

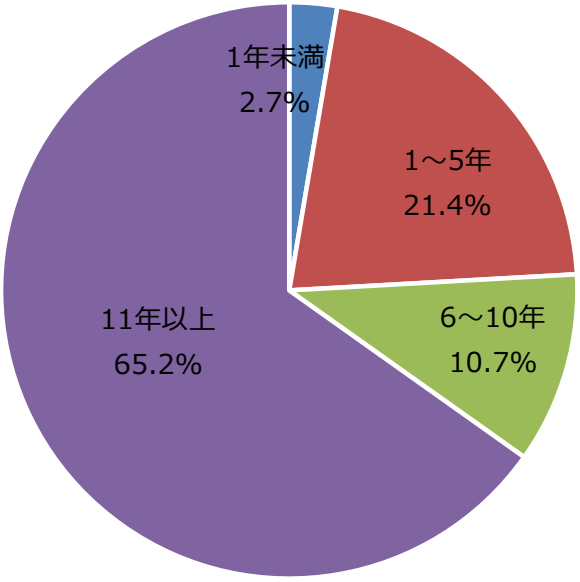
○「名護市」が 60.7%で最も多く、次いで「本部町」が 15.2%となっている。



N＝112

②居住年数

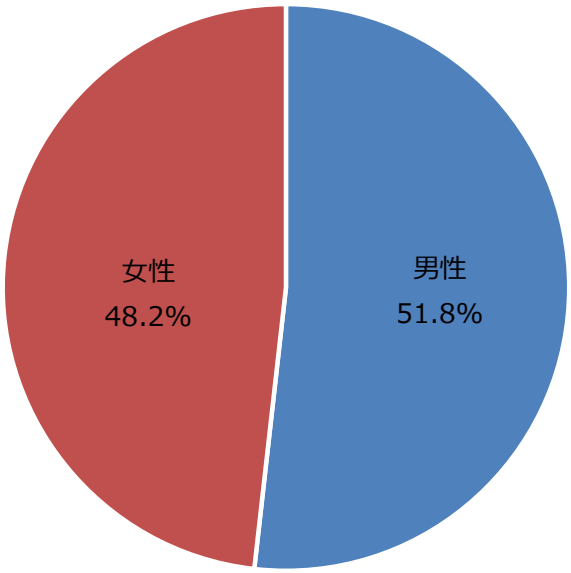
○「11 年以上」が 65.2%で最も多く、次いで「1～5 年」が 21.4%となっている。



N＝112

③性別

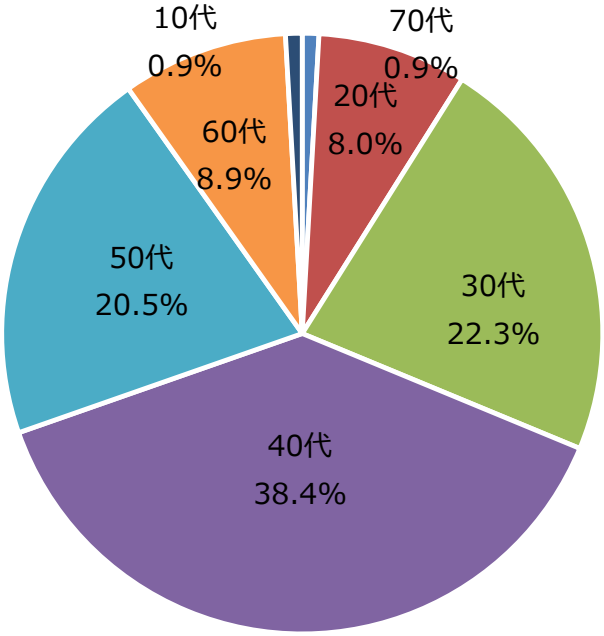
○男性が 51.8%、女性が 48.2%となっている。



N=112

④年代

○「40 代」が 38.4%で最も多く、次いで「30 代」が 22.3%となっている。

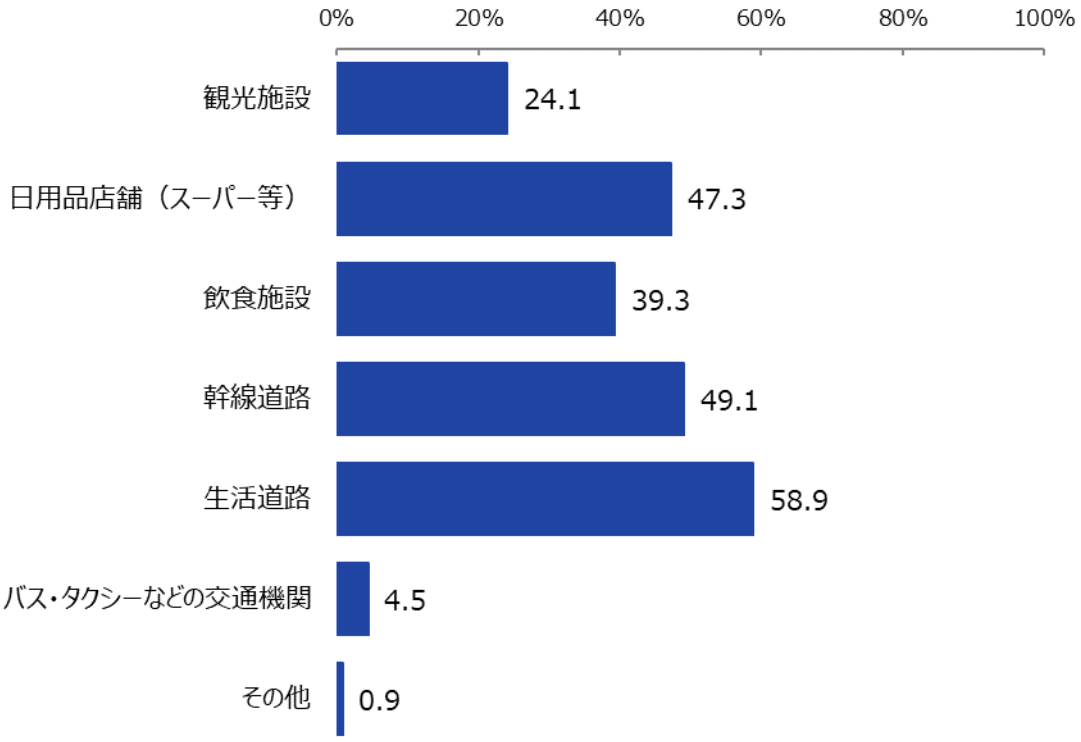


N=112

２）混雑経験状況

①日常生活に影響が起きた場所

○「生活道路」が 58.9%で最も多く、次いで「幹線道路」が 49.1%となっている。

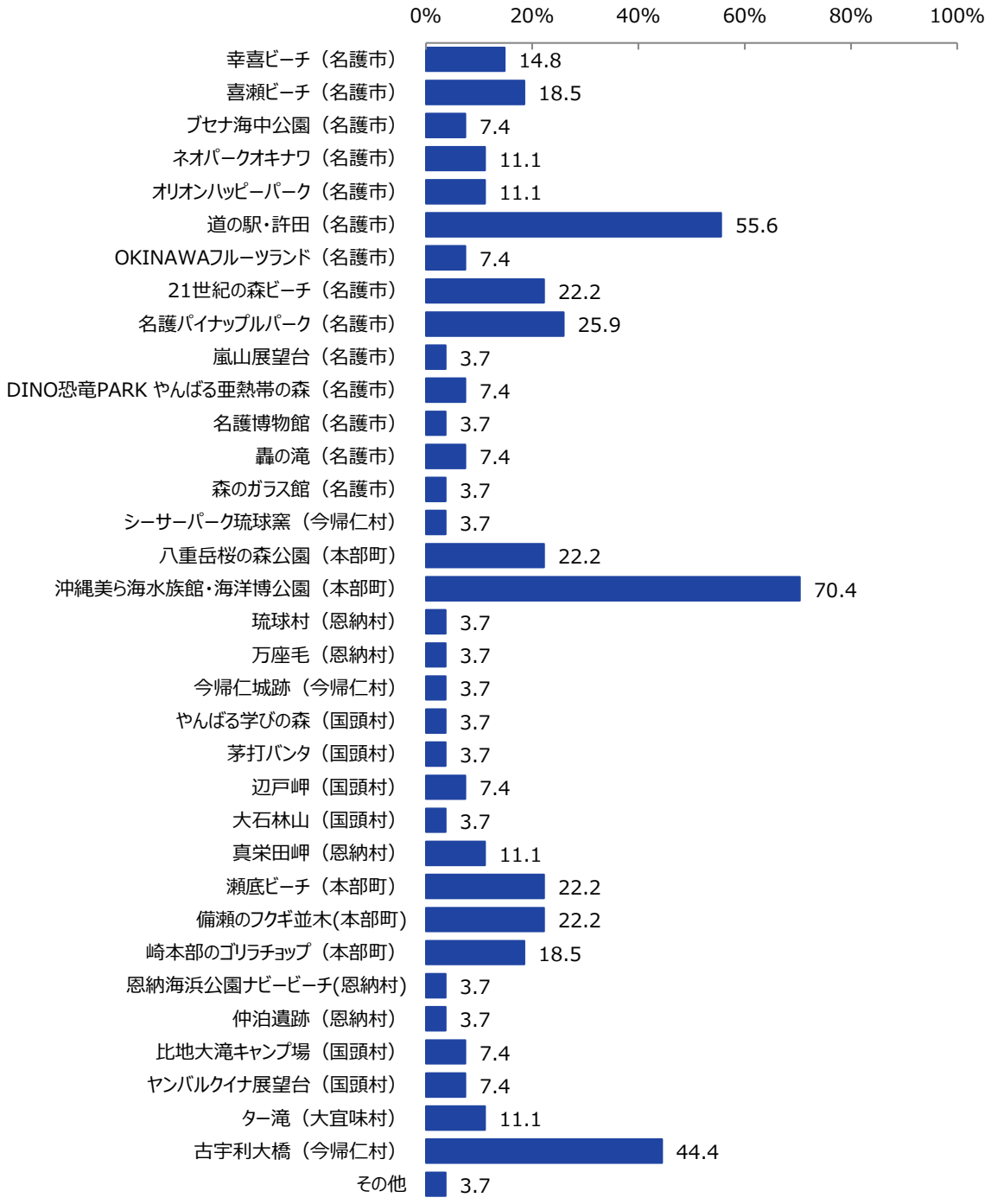


N＝112

※「観光施設」を選んだ 27 人のみ①-2 で具体的な場所を選択

①-2 観光施設の具体的な場所（※①で「観光施設」を選んだ人のみ回答）

○「沖縄美ら海水族館・海洋博公園（本部町）」が 70.4%で最も多く、次いで「道の駅・許田（名護市）」が 55.6%となっている。

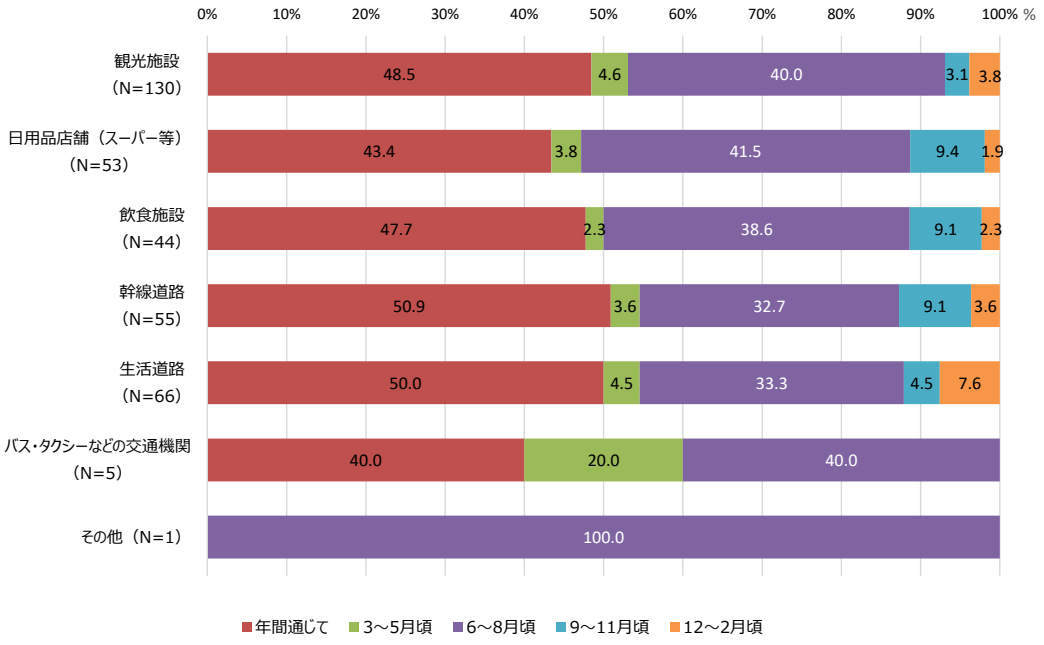


N=27

※①で「観光施設」を選んだ 27 人は、②以降の設問において、本設問で複数選択した具体的な場所ごとに回答している。②以降の「観光施設」の N は、本設問の回答数の合計である。

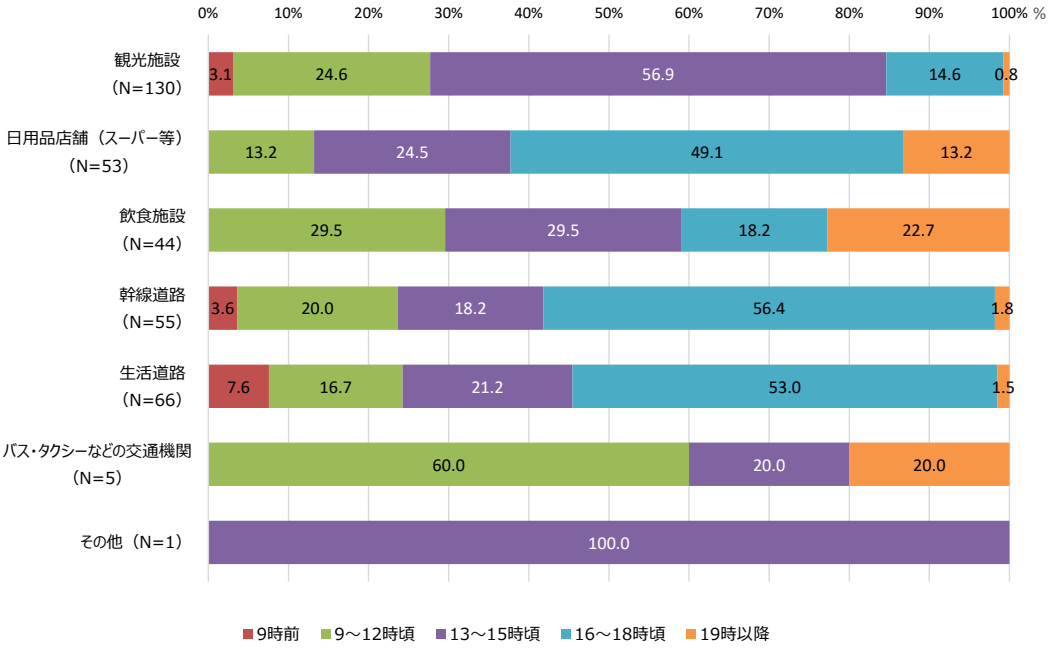
②影響が起きた時期

○すべての場所において、「年間を通じて」が最も多く、次いで「6～8月」となっている。



③影響が起きた時間帯

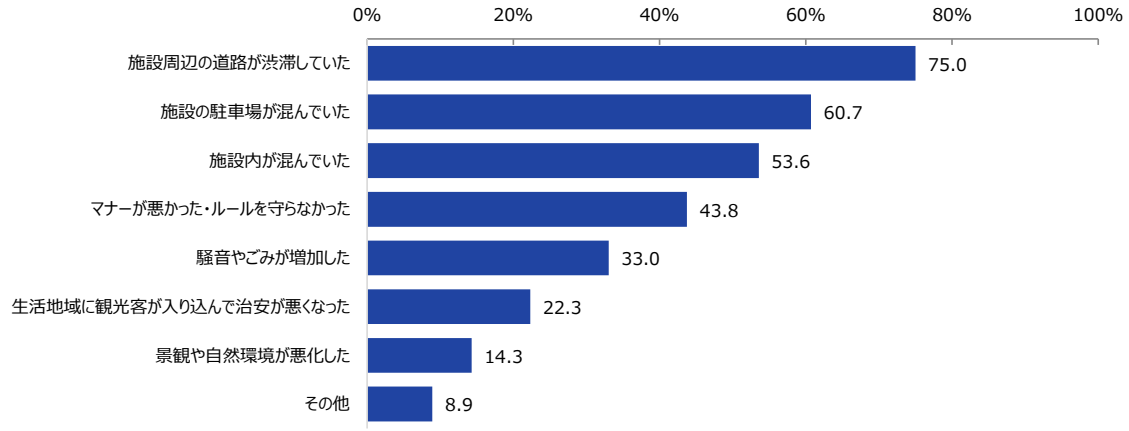
○観光施設では、「13～15時頃」が最も多いが、その他の施設では「16～18時頃」が最も多く、午後に混雑の影響がある。



※「観光施設」のNは具体的な場所ごとの回答数の合計

④影響が起きた内容

○「施設周辺の道路が渋滞していた」が最も多く 75.0%、次いで「施設の駐車場が混んでいた」が多く 60.7%となっている。



N=112

＜その他回答＞

○道路関連（10 件）

・路駐する車が多かった
・道路を使用してイベントをやっていた。
・事故の発生による渋滞、通行止め
・施設に至る道路が混雑した

○物販関連（2 件）

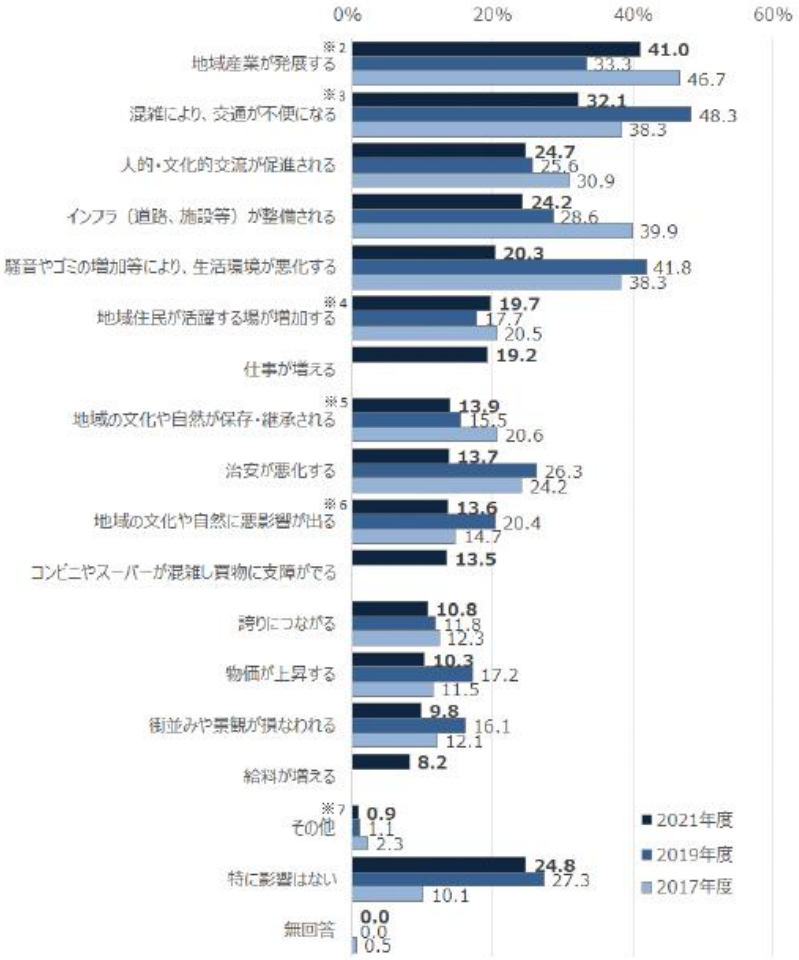
・弁当類が無くなる
・料金が観光客向けに上がる

○マナー関連（2 件）

・集落内の細い道に入り込んで来て迷惑
・レンタカーの煽り運転

■参考_観光客が訪れたことによる影響（令和３年度　沖縄観光に関する県民意識の調査）

○令和３年度に沖縄県居住者を対象に行われた、観光に対する県民意識の調査結果の一部を以下に示す。
○2019 年度と比較して、2021 年度では「地域産業が発展する」では 7.7%、「地域住民が活躍する場が増加する」では 2.0%増加している。
○一方、「混雑により、交通が不便になる」では 16.2%、「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」では 2019 年度より 21.5%減少している。

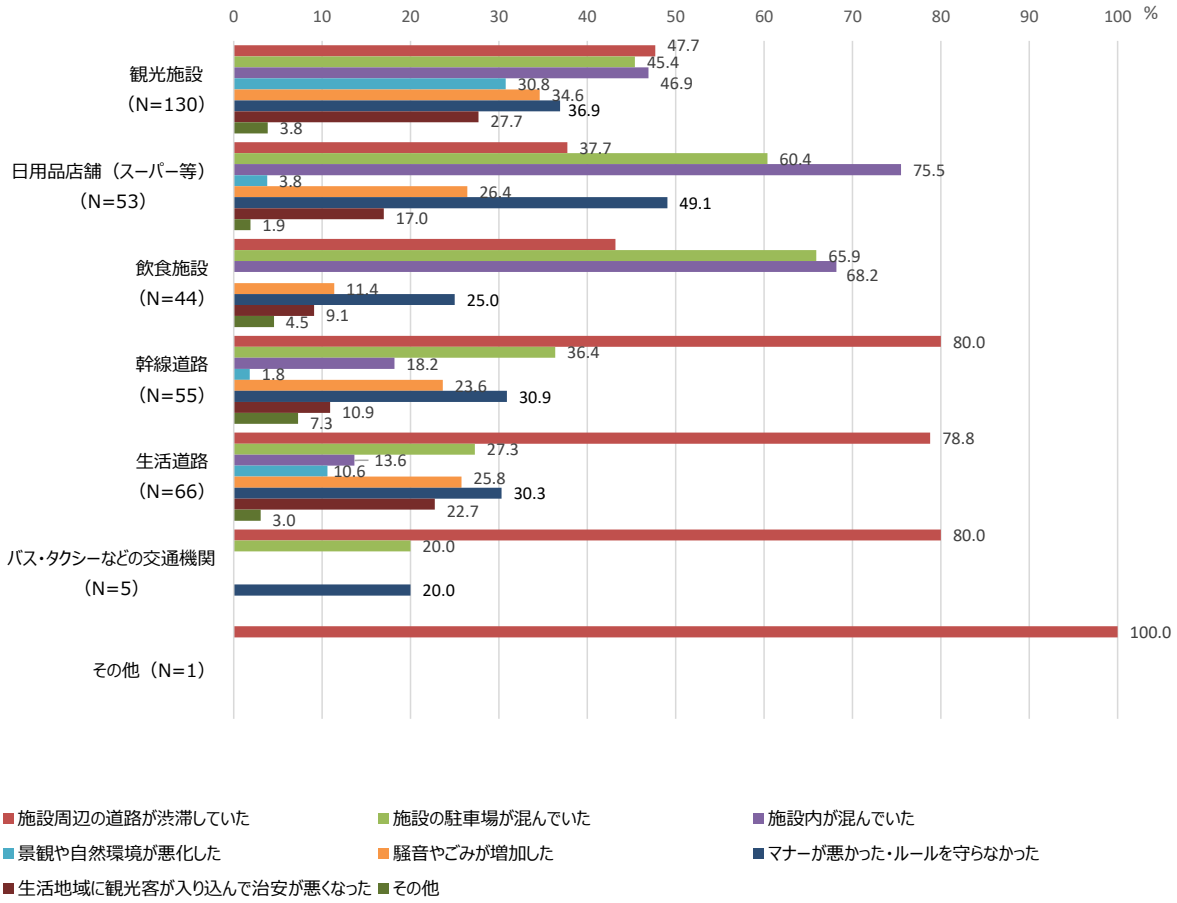


※1：一部の選択肢は 2021 年度調査で新設されたものであるため、2019 年度以前の結果は表示されない。
※2：2019 年度までの調査票では「地域経済、雇用、地域産業が促進される」と表現されていた。
※3：2019 年度までの調査票では「バスや自家用車の混雑等により、交通が不便になる」と表現されていた。
※4：2019 年度までの調査票では「市民が活躍する場が増加する」と表現されていた。
※5：2019 年度までの調査票では「文化資源や自然資源が保存・継承される」と表現されていた。
※6：2019 年度までの調査票では「自然資源や文化資源に悪影響が出る」と表現されていた。
※7：「その他」の自由記述で挙げられた内容：新型コロナウイルスの感染リスクが高まる／マナー違反が増える など

出典：令和３年度沖縄観光に関する県民意識の調査

⑤影響が起きた内容（場所別）

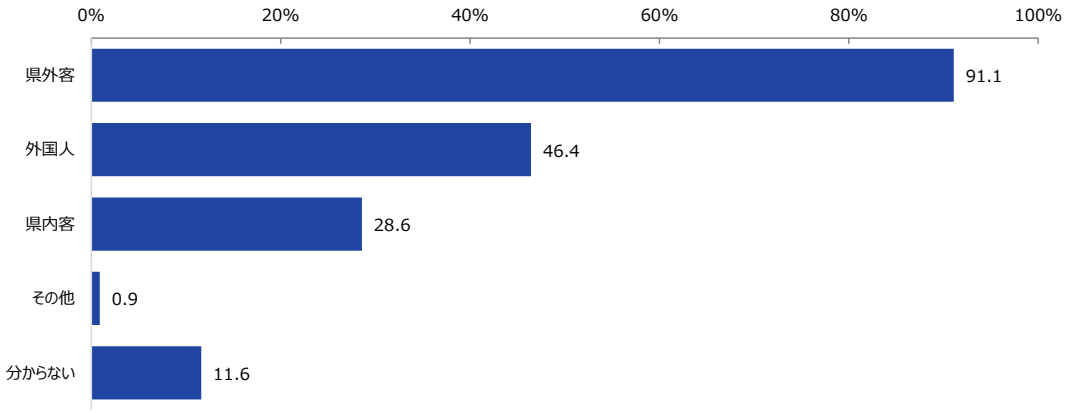
○観光施設や幹線道路、生活道路、バス・タクシーなどの交通機関では「施設周辺の道路が渋滞していた」が最も多く、日用品店舗（スーパー等）や飲食施設では「施設内が混んでいた」が最も多かった。



※「観光施設」のＮは具体的な場所ごとの回答数の合計

⑥影響が起きた要因となった属性

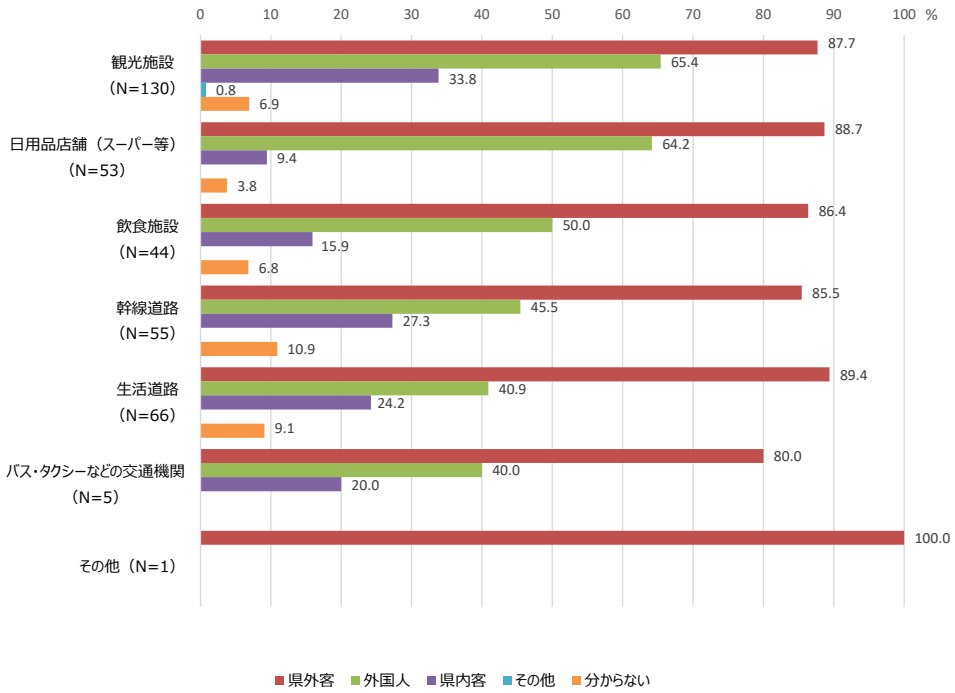
○「県外客」が最も多く 91.1%、次いで「外国人」が 46.4%、「県内客」が 28.6%となっている。



N=112

⑦影響が起きた要因となった属性（場所別）

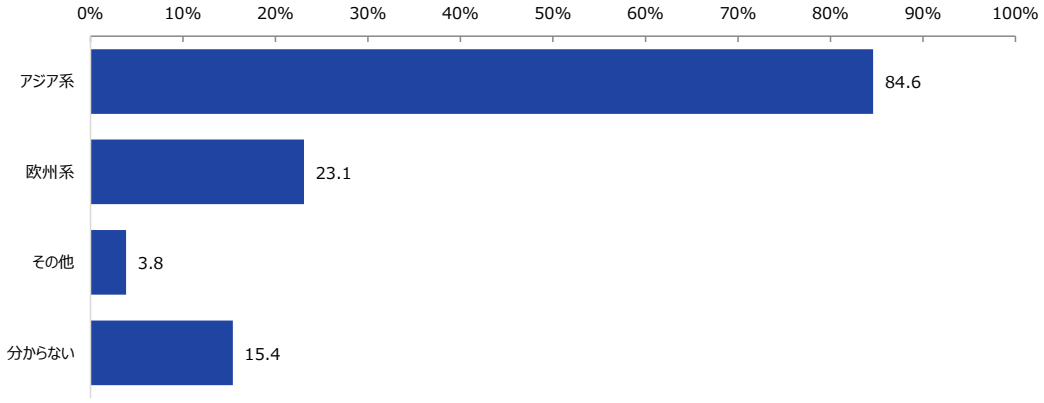
○県外客では、すべての施設において影響があったと回答した割合が高い。
○外国人では、観光施設が最も多く、次いで日用品店舗（スーパー等）となっている。
○県内客では、観光施設が最も多く、次いで幹線道路となっている。



※「観光施設」のＮは具体的な場所ごとの回答数の合計

⑧日常生活に影響が起きた要因となった外国人の属性

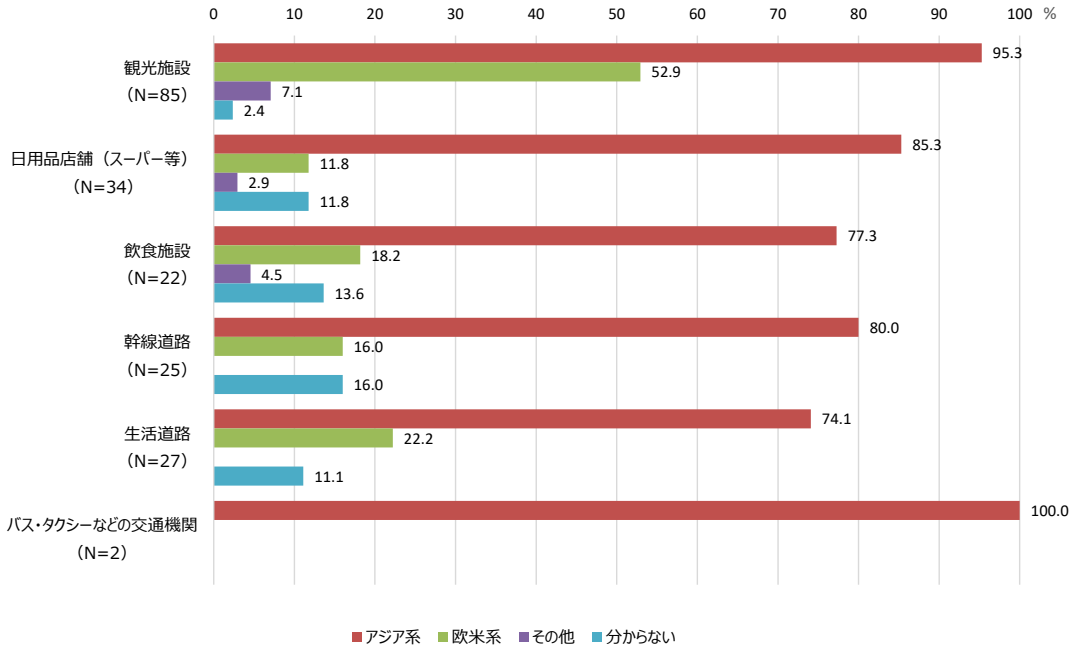
○「アジア系」が最も多く 84.6%、次いで「欧州系」が 23.1%となっている。



N=52

⑨影響が起きた要因となった外国人の属性（場所別）

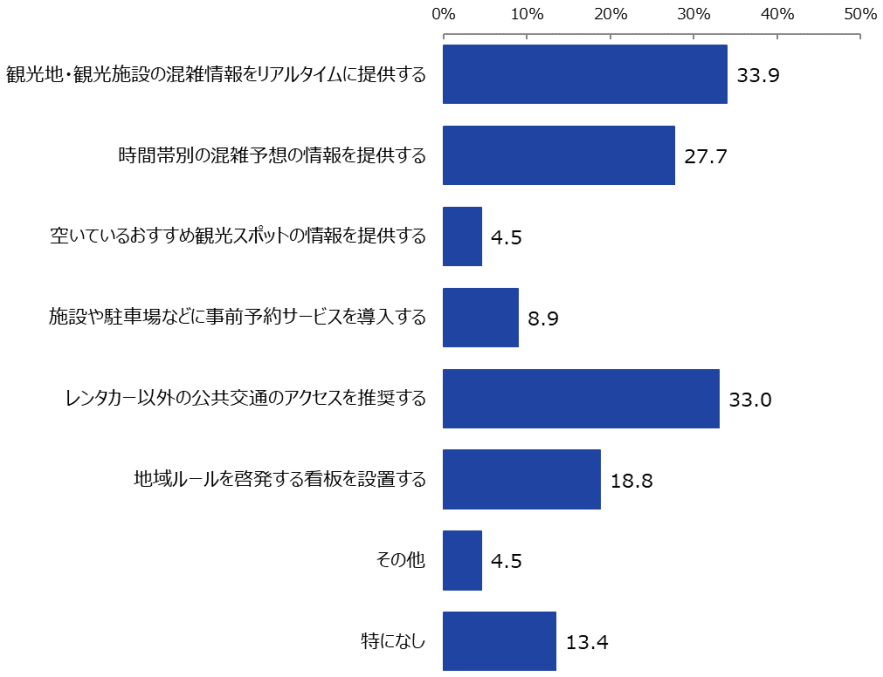
○「アジア系」ではすべての場所において多いが、「欧米系」では観光施設が最も多かった。



※「観光施設」のＮは具体的な場所ごとの回答数の合計

⑩あったらよいと思う対策

○「観光地・観光施設の混雑情報をリアルタイムに提供する」が 33.9%で最も多く、次いで「レンタカー以外の公共交通のアクセスを推奨する」が 33.0%となっている。



N=112

＜その他回答＞

○道路関連（2 件）

・車道の拡幅及び高速道路の延伸。

・道路の拡張、高速の延伸

○駐車場関連（1 件）

・駐車場の整備

○その他（2 件）

・入域制限

２．３ 観光客アンケート調査

（１）実施概要

観光地・観光施設等における混雑に対する意識（利用状況への影響など）や問題・課題について把握するためアンケートを実施した。

調査概要を以下に示す。

図表 13　観光客アンケートの実施概要

項目	内容
調査目的	・観光地における駐車場や施設等の混雑状況、課題について把握・分析
調査対象	・コロナ禍前（2018 年～2019 年）に沖縄県に来訪したことのある国内観光客 ※北部地域 9 市町村に在住者は対象外
調査方法	・WEB リサーチ会社のモニターのうち、沖縄県に来訪したことある国内観光客を対象に混雑経験有無を把握し、その後、北部地域での駐車場等の混雑を経験したことのある対象者に対して詳細調査を実施。
調査項目	・沖縄県及び沖縄県本島北部地域における混雑経験の有無 ・混雑経験内容（場所、時期、時間帯、状況など） ・今後の要望　　など
調査期間	・配信：令和 4 年 12 月 16 日（金） ・回収：令和 4 年 12 月 19 日（月）
回収数	・1,490 票 ※うち、北部地域において駐車場等で混雑を経験したことのある国内観光客 300 人を対象に詳細を把握



図表 14　観光客アンケート調査の WEB 画面

観光客アンケート調査票

【スクリーニング】

1. 本島での混雑経験

SQ1. 2018 年 1 月～2019 年 12 月の期間で沖縄県本島に観光で来たことがありますか。また、駐車場や周辺道路などを含む観光地・観光施設において混雑でお困りになりましたか？

【回答】①沖縄本島に来たことがあり、混雑を経験した
②沖縄本島に来たことがあるが、混雑は経験していない
③沖縄本島に来たことがない

2. 北部来訪経験と混雑経験

SQ2. 2018 年 1 月～2019 年 12 月の期間で沖縄県本島北部エリア（名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町）に観光で来たことはありますか？また、駐車場や周辺道路などを含む観光地・観光施設において混雑経験はしましたか。

【回答】①北部に来たことがあり、混雑を経験した
②北部に来たことがあるが、混雑は経験していない
③北部に来たことがない

①の回答者が本調査に進む

図表 15　観光客アンケート調査票（1/3）

【調査の目的説明】

本調査は沖縄県本島北部地域 9 市町村（名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町）において、各観光地・観光施設における駐車場や施設等の混雑状況、課題を把握し、混雑等の不満の解消に向けた取り組み推進を行うための調査として実施しています。

今後の観光地・観光施における不満解消、満足度向上に向け、ぜひ来沖経験のある皆様の具体的なご意見をお聞かせ下さい。

【本調査】

1. 沖縄県本島への来訪状況について（SA）

Q1. どのような交通手段で観光地・観光施設に訪問されましたか？

【回答】①自家用車 ／ ②レンタカー・友人の車 ／ ③タクシー ／ ③路線バス ／ ④観光バス ⑤その他

Q2. どなたと観光地・観光施設に訪問されましたか？

【回答】①ひとり ／ ②夫婦・カップル ／ ③家族 ／ ④知人・友人 ／ ⑤職場仲間 ／ ⑥その他

Q3. 沖縄県への来訪回数ついて教えてください。（SA）

【回答】①1 回 ／ ②2 回 ／ ③3～5回 ／ ④6～１０回／ ⑤10 回以上

2. 訪問スポット（MA）

Q4. 北部地域のどの観光地・観光施設で混雑を経験されましたか？ （複数回答）

【回答】

1.幸喜ビーチ（名護市） ／ 2.喜瀬ビーチ（名護市） ／ 3.ブセナ海中公園（名護市）
4.ネオパークオキナワ（名護市）／ 5.オリオンハッピーパーク（名護市） ／ 6.道の駅・許田（名護市）
7.OKINAWA フルーツランド（名護市） ／ 8.21 世紀の森ビーチ（名護市）
9.名護パイナップルパーク（名護市） ／ 10.嵐山展望台（名護市）
11.DINO 恐竜 PARK やんばる亜熱帯の森 （名護市） ／ 12.名護博物館（名護市）
13.轟の滝（名護市） ／ 14.森のガラス館（名護市） ／ 15.シーサーパーク琉球窯（今帰仁村）
16.八重岳桜の森公園（本部町） ／ 17.沖縄美ら海水族館・海洋博公園（本部町）
18.琉球村（恩納村） ／ 19.万座毛（恩納村）／ 20.今帰仁城跡（今帰仁村）
21.やんばる学びの森（国頭村） ／ 22.茅打バンタ（国頭村）／ 23.辺戸岬（国頭村）
24.大石林山（国頭村） ／ 25.真栄田岬（恩納村） ／ 26.瀬底ビーチ（本部町）
27.備瀬のフクギ並木(本部町) ／ 28.崎本部のゴリラチョップ（本部町）
29.恩納海浜公園ナビービーチ(恩納村) ／ 30.仲泊遺跡（恩納村） ／ 31.比地大滝キャンプ場（国頭村）
32.ヤンバルクイナ展望台（国頭村） ／ 33.ター滝（大宜味村） ／ 34.古宇利大橋（今帰仁村）
35.その他（ ）

図表 16 観光客アンケート調査票（2/3）

3. 上記、観光地・観光施設への訪問時期（1.で選んだものごとに回答）（SA）

Q5. いつ訪問されましたか？

【回答】①年間通じて ／ ②3-5 月頃 ／③6-8 月頃 ／ ④9-11 月頃 ／ ⑤12-2 月頃

Q6. 訪問した際の時間帯はどの時間帯でしたか？

【回答】①9 時前 ／ ②9-12 時頃 ／ ③12-15 時頃 ／ ④15-18 時頃
⑤18 時以降

4. 不満経験（1.で選んだものごとに回答）（MA）

Q7. 不満の内容について教えて下さい

【回答】

① 観光地・観光施設周辺の道路が渋滞していた
② 観光地・観光施設の駐車場が混んでいた／停められなかった
③ 観光地・観光施設が混雑していた
④ その他（ ）

5. 観光地・観光施設の混雑を解消するためにあったらよいと思う対策（MA） ※2 つまで回答

Q8. 観光地・観光施設の混雑を解消するためにあったらよいと思う対策について教えてください。

【回答】

① 観光地・観光施設の混雑情報をリアルタイムに提供する
② 時間帯別の混雑予報の情報を提供する
③ 空いているおすすめ観光スポットの情報を提供する
④ 施設や駐車場などに事前予約サービスを導入にする
⑤ レンタカー以外の公共交通のアクセスを推奨する
⑥ その他（ ）

6. 回答者属性情報

Q9. 性別について教えて下さい。（SA）

【回答】①男性 ／ ②女性 ／ ③回答しない

Q10. 年齢について教えて下さい。（SA）

【回答】①10 代 ／ ②20 代 ／ ③30 代 ／ ④40 代 ／ ⑤50 代
⑥60 代 ／ ⑦70 代以上

Q11. 居住地について教えて下さい。（SA）

【回答】47 都道府県から選択

Q12. 職業について教えてください。（SA）

【回答】①会社員・公務員 ／ ②自営業 ／ ③非常勤（パート・アルバイト）／ ④学生
⑤主婦・主夫 ／ ⑥無職 ／ ⑦その他（ ）

以上

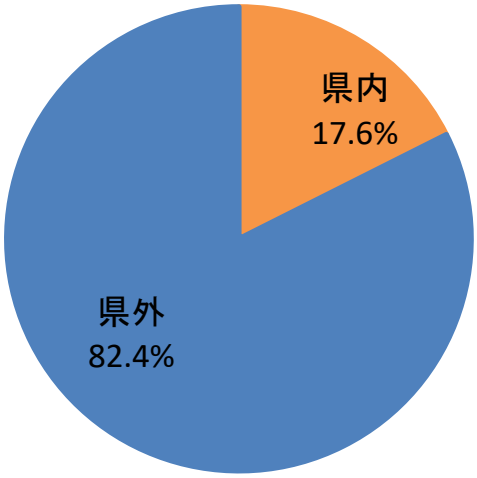
図表 17 観光客アンケート調査票（3/3）

（２）実施結果

１）沖縄県来訪者の混雑経験状況

①居住場所

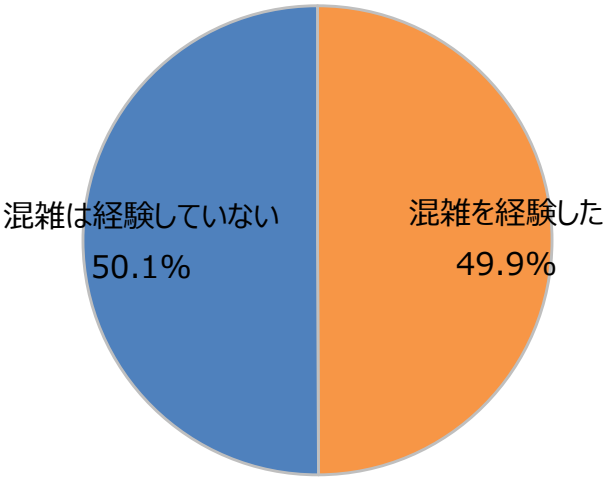
○「県内」が 17.6%、「県外」が 82.4%となっている。



N＝1490

②沖縄県内における混雑経験

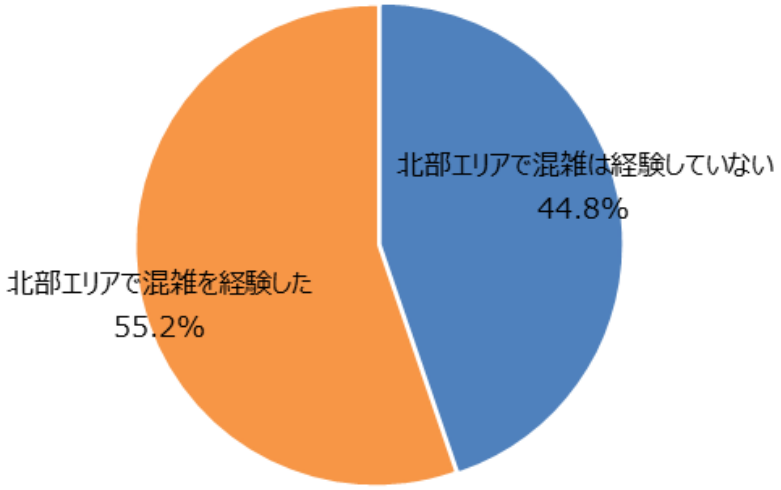
○沖縄本島への来訪者の中で、「混雑を経験していない」が 50.1%、「混雑を経験した」が、49.9%となっている。



N＝1490

③沖縄県北部エリアにおける混雑経験

○沖縄県において混雑を経験した来訪者のうち、「北部エリアで混雑を経験していない人」が 44.8%を占めている。



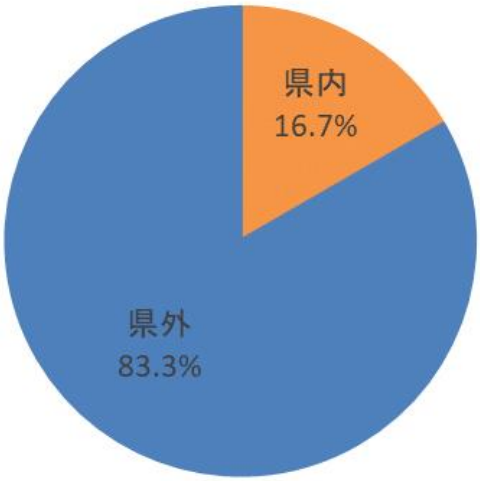
N=744

２）沖縄県北部エリアにおける混雑経験者

【基本情報】

①居住場所

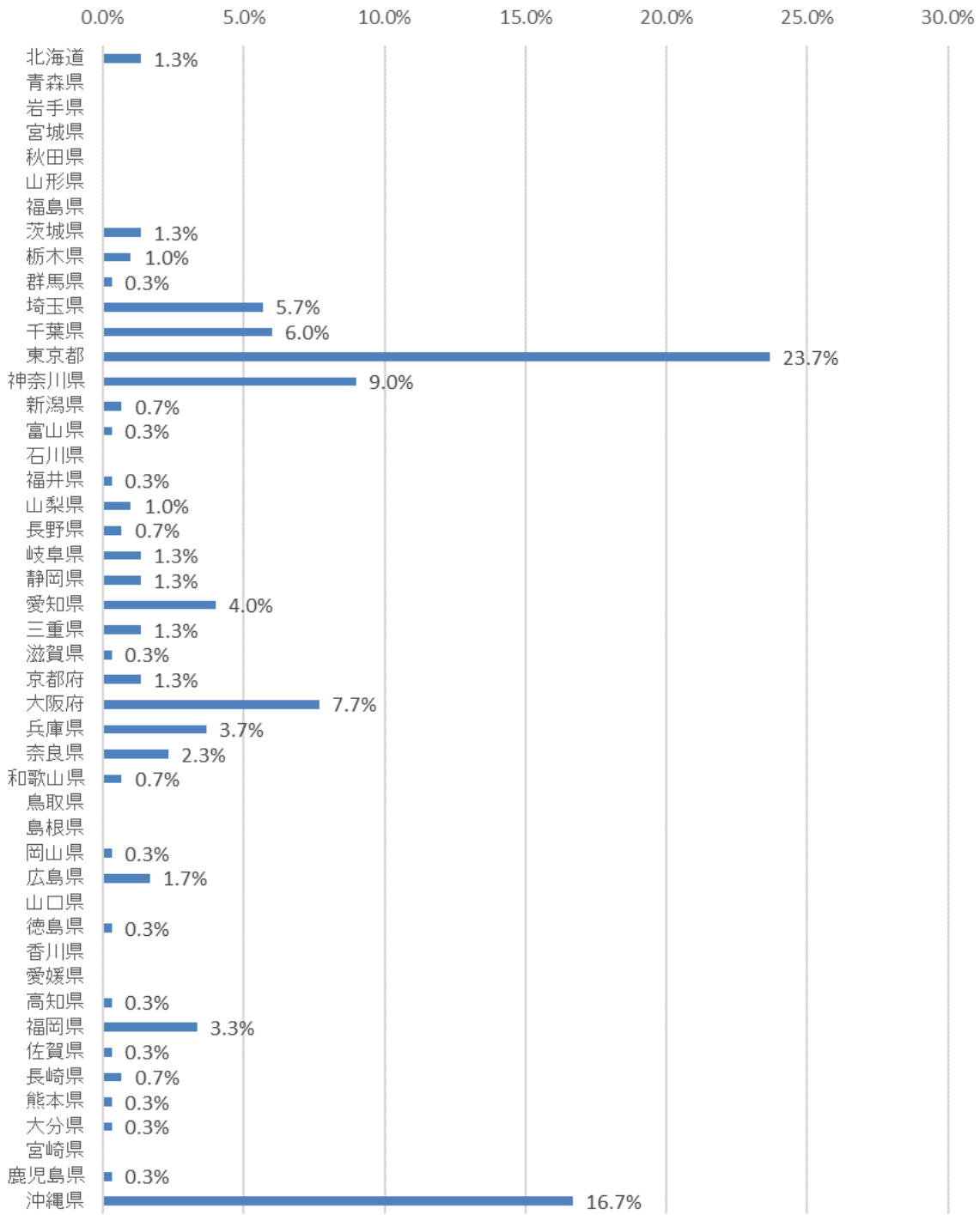
○「県内」が 16.7%、「県外」が 83.3%となっている。



N＝300

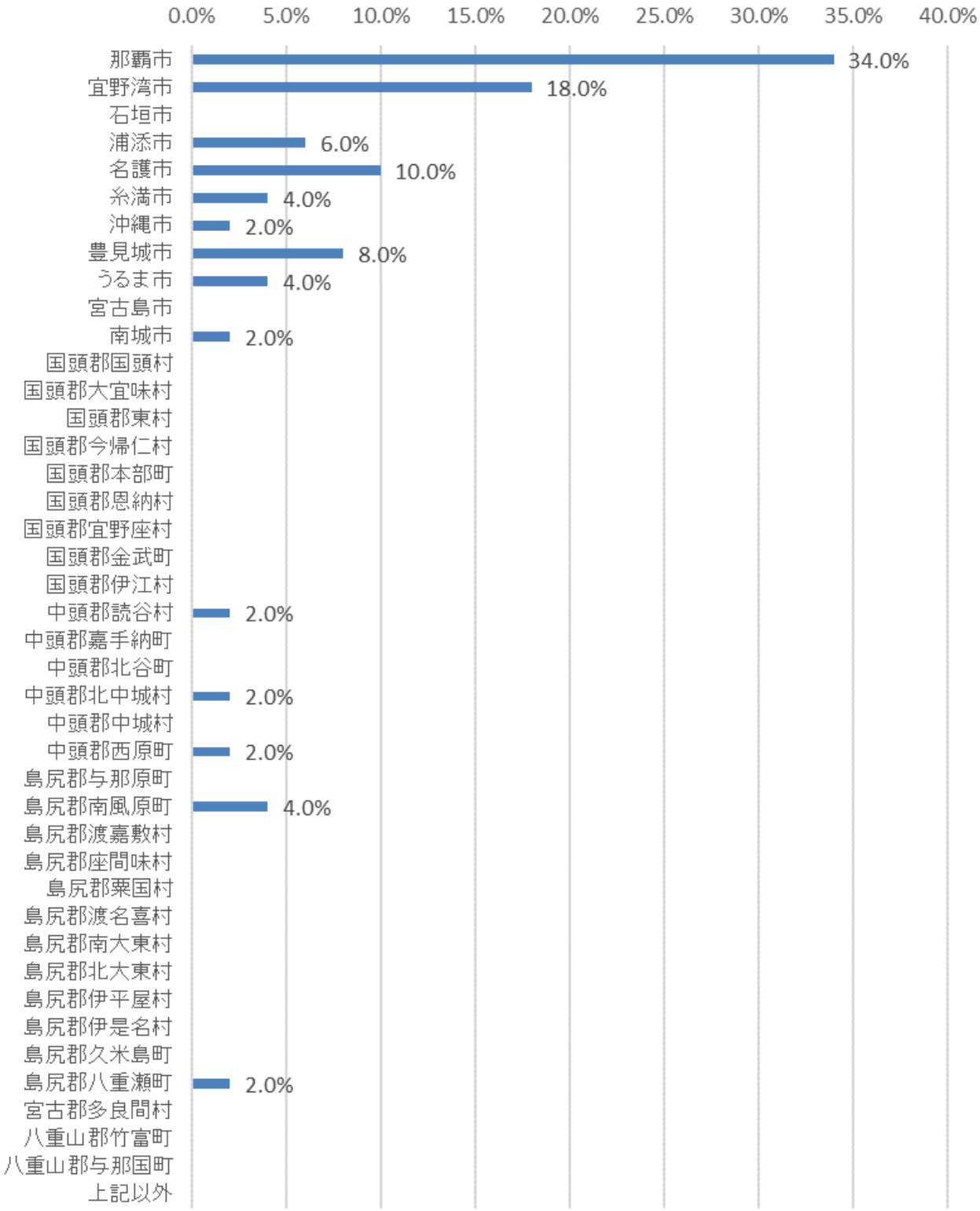
❖県外居住者の詳細

○「県外」では「東京都」が 23.7%と最も多く、次いで「神奈川県」が 9.0%となっている。



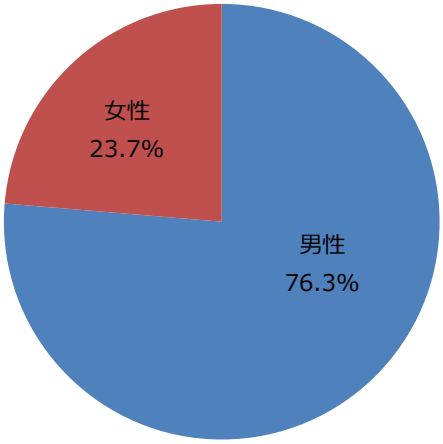
❖県内居住者の詳細

○「県内」では「那覇市」が 34.0%と最も多く、次いで「宜野湾市」が 18.0%となっている。



②性別

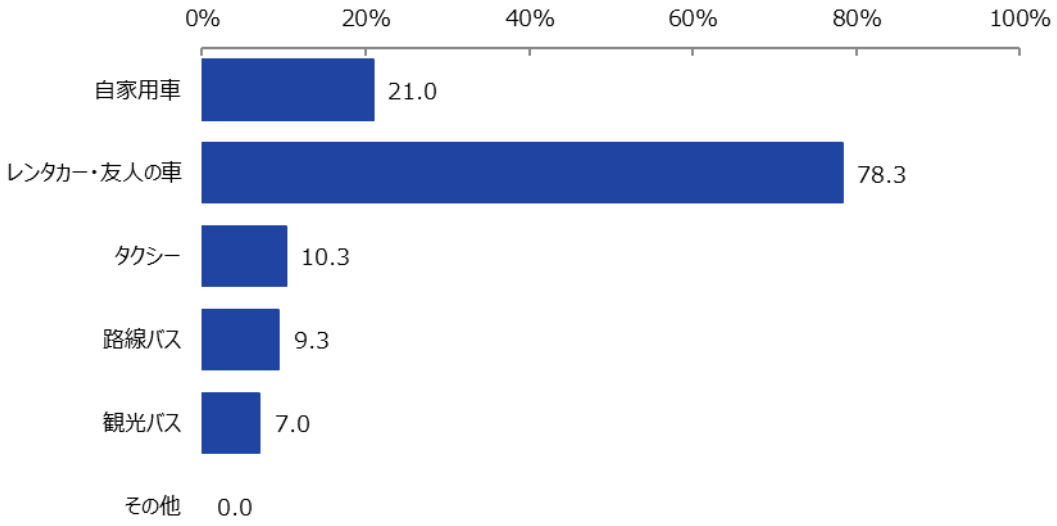
○「男性」が 76.3%、「女性」が 23.7%となっている。



N=300

③交通手段

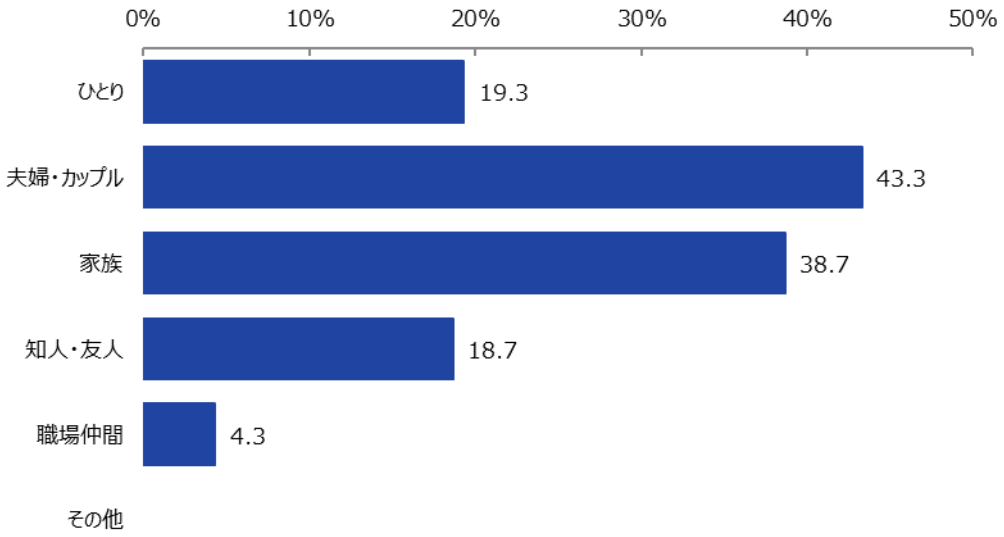
○「レンタカー・友人の車」が 78.3%と最も多く、次いで「自家用車」が 21.0%となっている。



N：300

④同行者属性

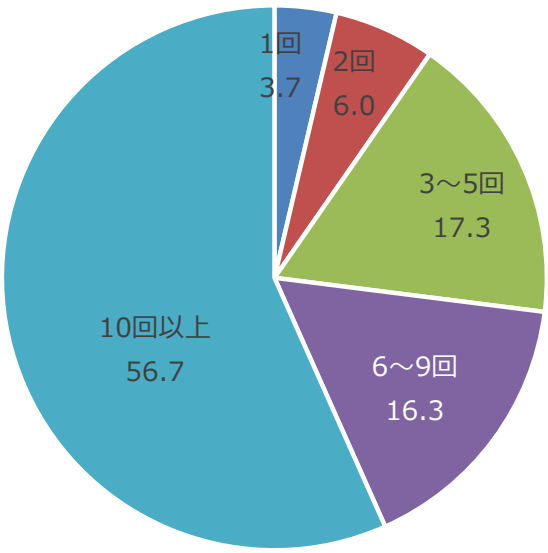
○「夫婦・カップル」が 43.3%と最も多く、次いで「家族」が、38.7%となっている。



N：300

⑤沖縄県への来訪回数

○「10 回以上」が、56.7%と最も多く、次いで「3～5 回」が 17.3%となっている。

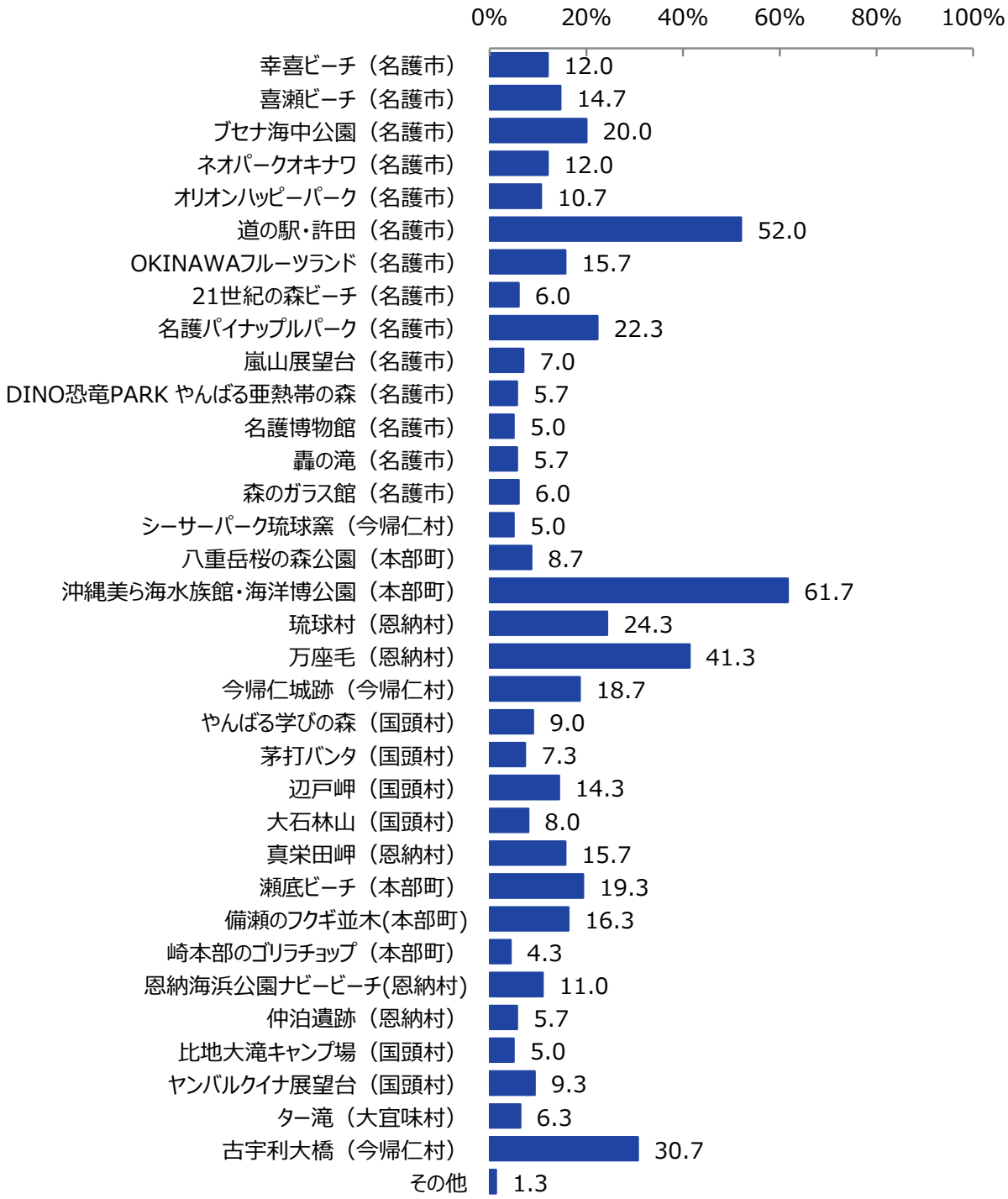


N：300

【混雑経験状況】

①混雑した場所

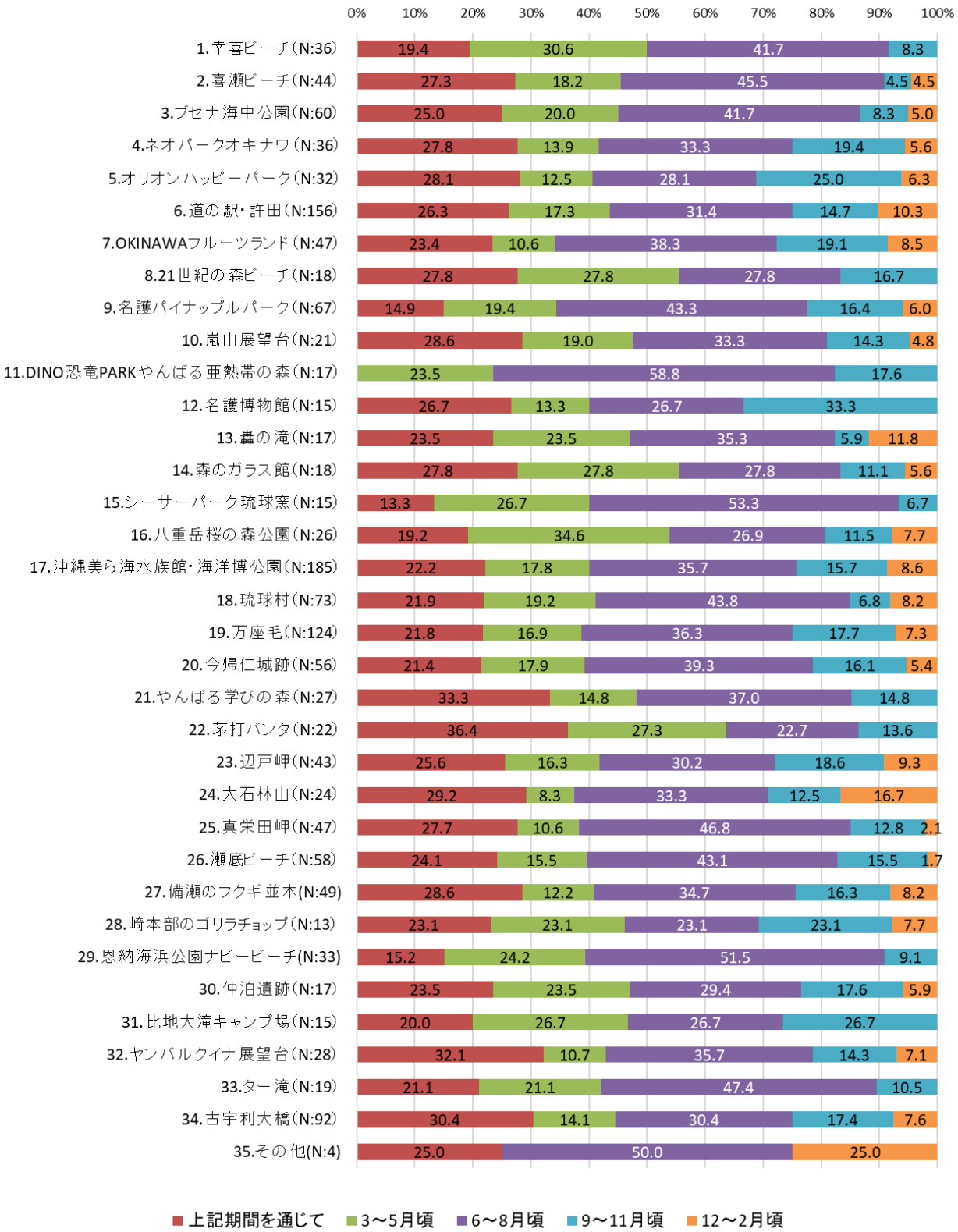
○「沖縄美ら海水族館・海洋博公園（本部町）」が 61.7%と最も多く、次いで「道の駅・許田（名護市）」が 52.0%となっている。



N：300

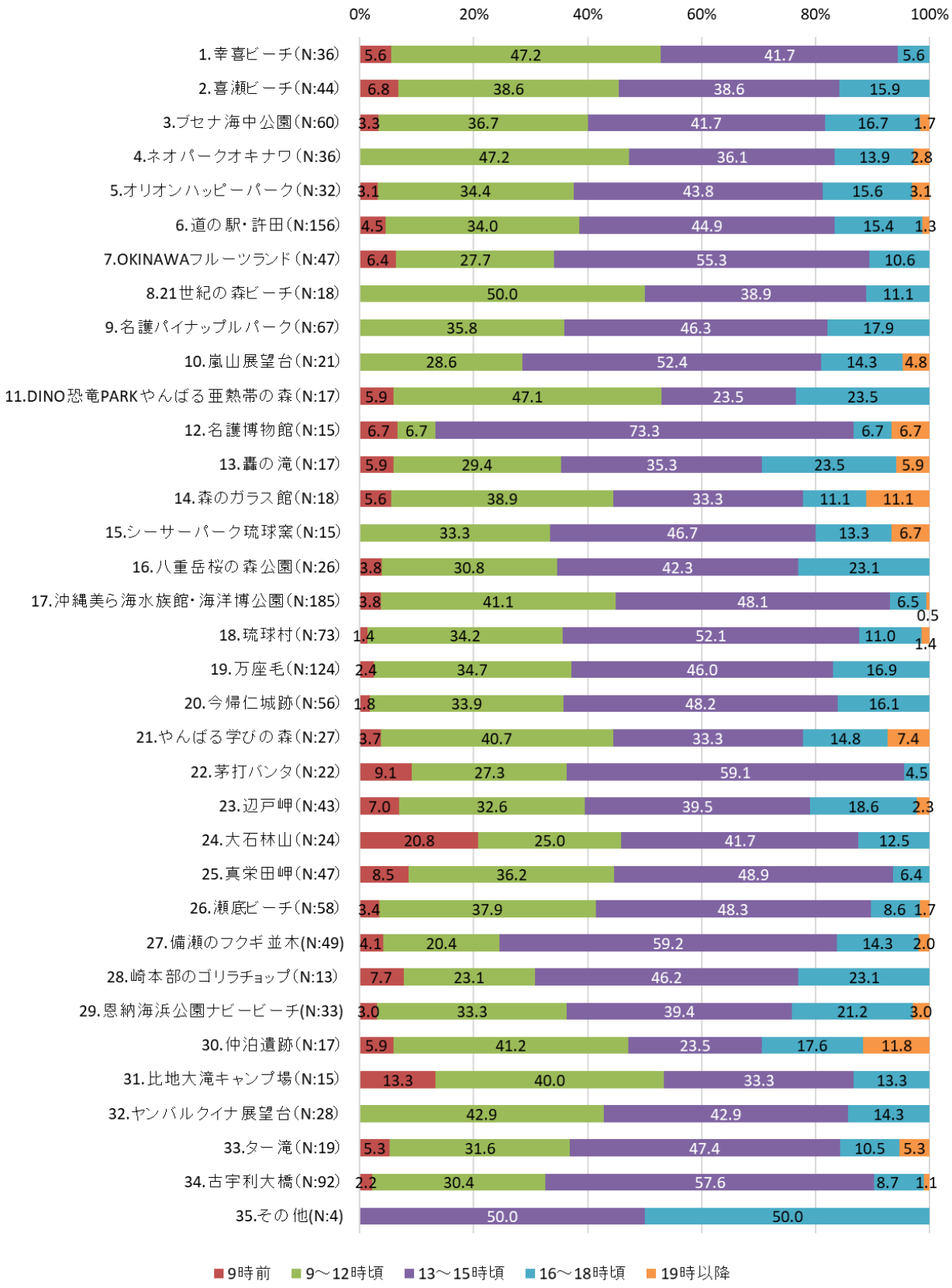
②混雑していた時期

○全体的に、6～8 月の夏季時期に混雑を経験した人が多い。



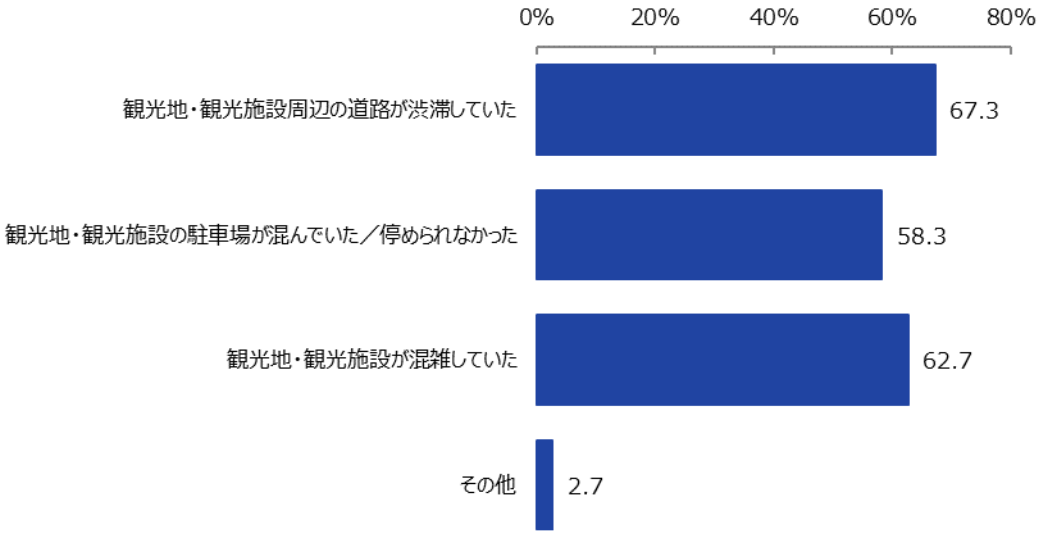
③混雑の時間帯

○混雑の時間帯は、9～15 時が多い。



④訪問された観光地・観光施設の混雑状況

○「道路が渋滞していた」が 67.3%と最も多く、次いで「観光地・観光施設が混雑していた」が 62.7%となっている。



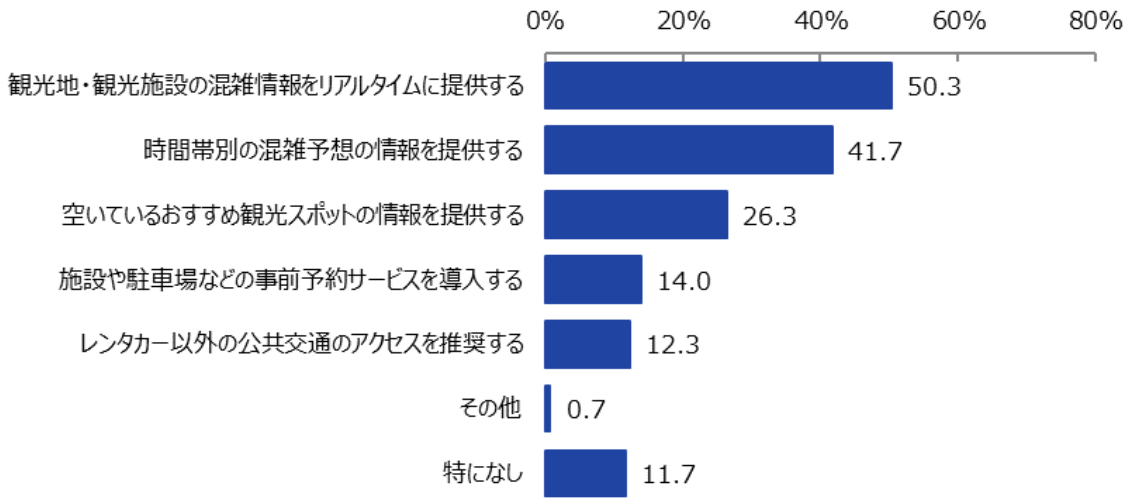
N：300

❖施設ごとの混雑状況の詳細

	観光地・観光施設周辺の道路が渋滞していた	観光地・観光施設の駐車場が混んでいた／停められなかった	観光地・観光施設が混雑していた	その他
1.幸喜ビーチ(N:36)	63.9	61.1	27.8	
2.喜瀬ビーチ(N:44)	54.5	45.5	29.5	
3.ブセナ海中公園(N:60)	53.3	35.0	38.3	
4.ネオパークオキナワ(N:36)	58.3	36.1	50.0	
5.オリオンハッピーパーク(N:32)	37.5	50.0	43.8	3.1
6.道の駅・許田(N:156)	51.9	48.7	41.7	
7.OKINAWAフルーツランド(N:47)	42.6	36.2	55.3	
8.21世紀の森ビーチ(N:18)	61.1	38.9	44.4	
9.名護パイナップルパーク(N:67)	41.8	25.4	46.3	
10.嵐山展望台(N:21)	52.4	42.9	42.9	
11.DINO恐竜PARK やんばる亜熱帯の森(N:17)	29.4	58.8	41.2	
12.名護博物館(N:15)	53.3	33.3	66.7	
13.轟の滝(N:17)	47.1	35.3	41.2	
14.森のガラス館(N:18)	33.3	33.3	55.6	
15.シーサーパーク琉球窯(N:15)	60.0	40.0	46.7	
16.八重岳桜の森公園(N:26)	57.7	42.3	26.9	
17.沖縄美ら海水族館・海洋博公園(N:185)	46.5	35.7	55.7	
18.琉球村(N:73)	41.1	23.3	46.6	4.1
19.万座毛(N:124)	41.9	35.5	41.1	1.6
20.今帰仁城跡(N:56)	44.6	30.4	37.5	1.8
21.やんばる学びの森(N:27)	40.7	40.7	44.4	
22.茅打バンタ(N:22)	31.8	40.9	45.5	4.5
23.辺戸岬(N:43)	44.2	32.6	32.6	7.0
24.大石林山(N:24)	45.8	25.0	45.8	
25.真栄田岬(N:47)	36.2	31.9	46.8	2.1
26.瀬底ビーチ(N:58)	48.3	32.8	31.0	
27.備瀬のフクギ並木(N:49)	36.7	46.9	44.9	2.0
28.崎本部のゴリラチョップ(N:13)	38.5	38.5	46.2	
29.恩納海浜公園ナビービーチ(N:33)	33.3	42.4	36.4	
30.仲泊遺跡(N:17)	17.6	64.7	41.2	
31.比地大滝キャンプ場(N:15)	40.0	53.3	33.3	
32.ヤンバルクイナ展望台(N:28)	32.1	39.3	42.9	3.6
33.ター滝(N:19)	36.8	52.6	21.1	5.3
34.古宇利大橋(N:92)	48.9	33.7	43.5	
35.その他(N:4)	50.0		25.0	25.0

⑤観光地・観光施設の混雑を解消するためにあったらよいと思う対策

○「観光地・観光施設の混雑情報をリアルタイムに提供する」が、50.3%で最も多く、次いで「時間帯別の混雑予想の情報を提供する」が、41.7%となっている。



N：300

３．実証地点における実証

本実証では、各施設の設置したカメラより混雑状況を計測・判定し、観光客に混雑情報を情報発信 WEB サイトで発信するシステムを導入した。

①データ取得

カメラにより駐車場の状況を把握
（車の駐車状況、入庫出庫台数など）



カメラによる状況把握



②データ解析

カメラ情報を基に混雑情報を判定

カメラ情報の解析



混雑判定の表示（例）

空車	混雑
VACANT	CROWDED

③情報発信

混雑判定結果を WEB 上で表示
（スマホ等で来訪者が確認）

混雑状況を来訪者向けに情報発信

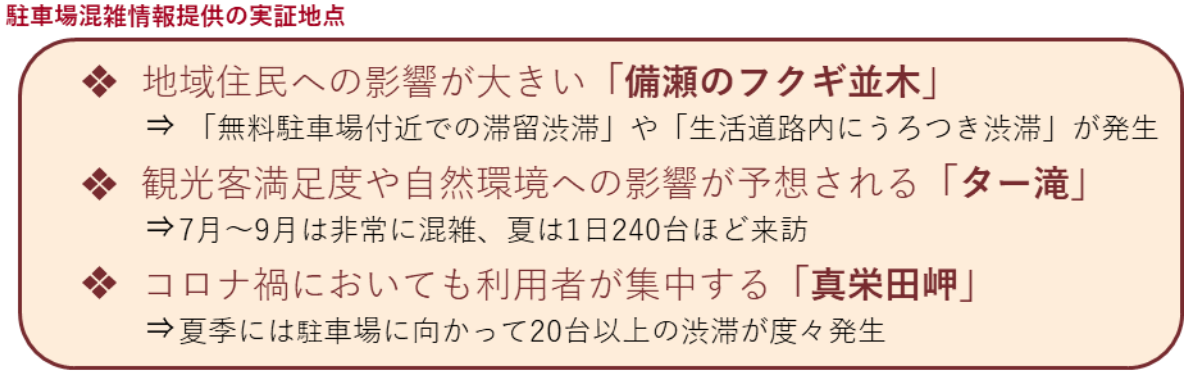




各駐車場の混雑状況を可視化し、観光客の周遊・分散化・現地消費の促進等を図る実証実験を以下の３か所で行った。

ター滝と備瀬のフクギ並木は新規で２台カメラを設置、真栄田岬は既存カメラを活用して混雑状況の把握を行った。

また、今回の実証にあたっては、継続的に混雑情報のデータを蓄積し実施していくことが重要であることから施設管理側と調整・協議をして、持続的に管理できるシステム・設備になるよう工夫した。



図表 18　混雑状況の可視化システム導入の実施概要

項目	内容
調査目的	・各駐車場の混雑状況を可視化し、観光客の周遊・分散化・現地消費の促進等を図るための方法把握・分析
調査地点	①ター滝（大宜味村） ②真栄田岬（恩納村） ③備瀬のフクギ並木（本部町）
実証期間	①ター滝 令和４年12月１日（木）～ 令和５年３月20日（月） ②真栄田岬 令和４年２月１日（火）～令和５年３月20日（月） ③備瀬のフクギ並木 令和４年２月14日（月）～令和５年３月20日（月）
混雑情報の把握方法	①ター滝 ・新たにカメラを２台設置し、駐車場の一部を撮影した結果から全体の混雑状況を推定し発信。 ②真栄田岬 ・駐車場の出入口ゲートに設置されている既存カメラのカウントから混雑情報を発信。 ③備瀬のフクギ並木 ・新たにカメラを２台設置し、駐車場の一部を撮影した結果から全体の混雑状況を推定し発信。

３．１ 実証計画の概要・結果

（１）ター滝

１）実証概要

ター滝では、施設管理者である観光協会の職員が駐車場の混雑情報を手動で発信しており、混雑時には更新ができない場合もあった。

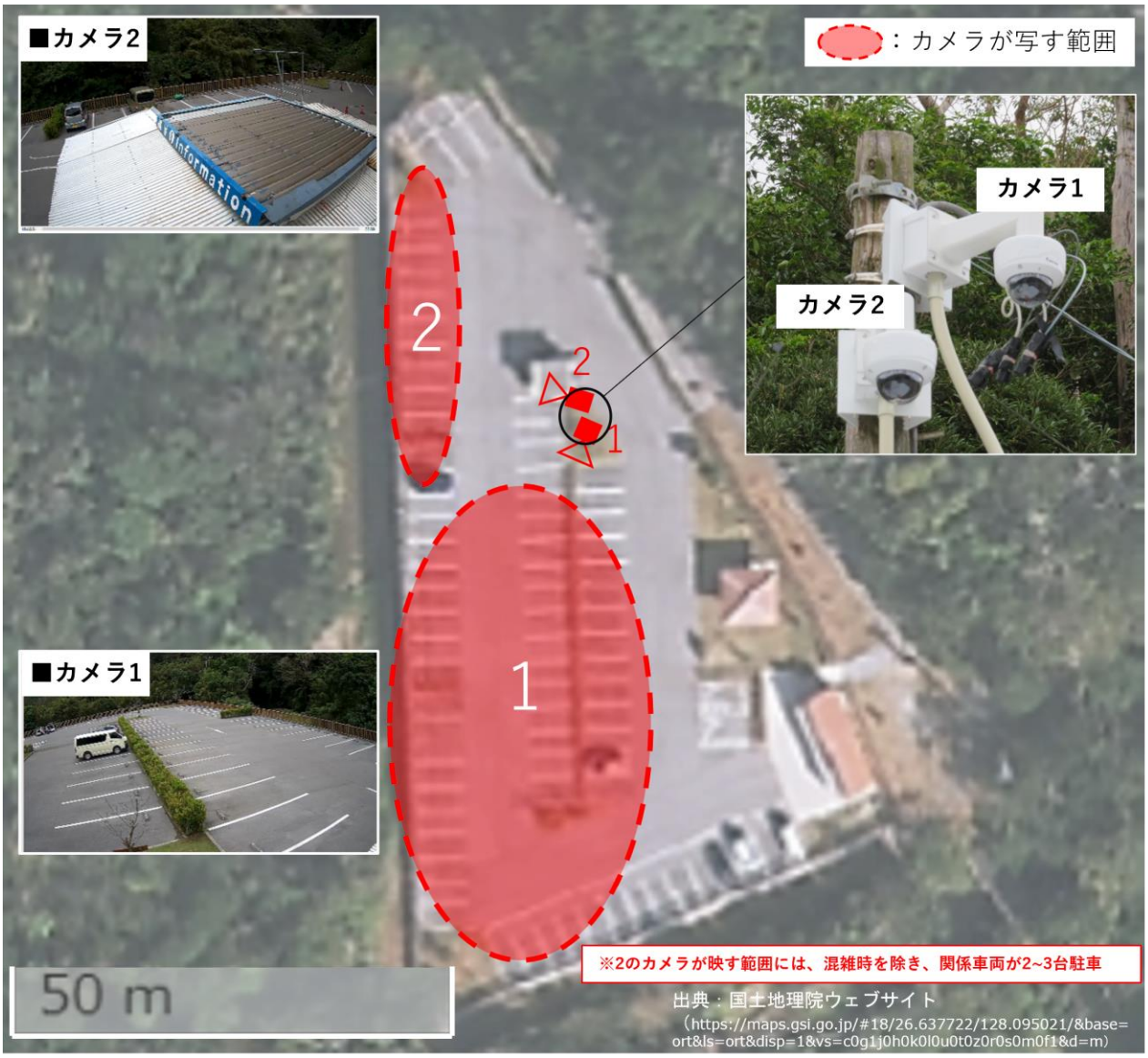
特に７月から９月は非常に混雑しており、夏は１日 240 台ほど訪れる状況にあった。

そのため、新たにカメラを２台設置し、従来の混雑情報の発信を自動化することを目的として実証を行った。

実施概要を以下に示す。

図表 19　ター滝の実施概要

現状・課題	・ター滝では、施設管理者である観光協会が駐車場の混雑情報を手動で発信しており、混雑時には更新ができない場合もあった。（観光協会へのヒアリングより） ・特に７月から９月は非常に混雑しており、夏は１日 240 台ほど訪れる状況にあった。
実証内容	・事務所付近にある木製電柱に新規に２台のカメラを設置し、図表２０の赤色箇所を映した。（電源、通信は、事務所から確保） ・設置した２台のカメラから混雑状況を判定し、これまで手動で行っていた混雑状況の発信の自動化を行った。（※手動、自動の切り替えは可能・一部表示は手動のみ）
実証期間	令和４年 12 月１日（木）～ 令和５年３月 20 日（月）



図表 20　ター滝の駐車場配置

２）混雑状況の判定

①混雑状況の判定方法

混雑状況の判定にあたっては、駐車可能台数 74 台のうち、設置したカメラから検出される車両台数（28 台を想定）の状況により、全体の混雑状況を推察して行った。

②評価判定の区分

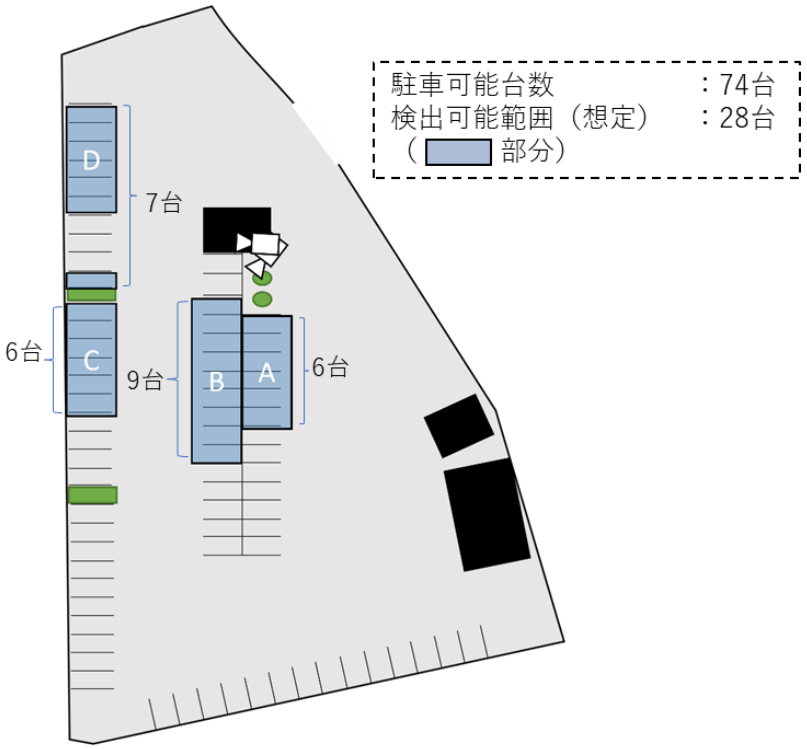
混雑判定の基準は、既存の通り３段階（空車・混雑・満車）＋「閉鎖」（天候不良による場合など）で設定した。（※「閉鎖」は手動）

③閾値設定の考え方

閾値の設定にあたっては、既に管理されている観光協会に対して、概ねどの程度で「混雑」や「満車」に切り替えるのかをヒアリングし、実証開始以前と同様のタイミングで混雑表示が変わるよう閾値を設定した。

図表 21　混雑判定の区分と閾値

表示内容	閾値
空車	22 台以下（イメージ：A～C がほぼ満車、D に 2～3 台）
混雑	23～27 台（イメージ：A～D がほぼ満車）
満車	28 台以上（イメージ：A～D が満車）
閉鎖	台風などの影響により閉鎖する場合



【カメラによる車両の検出が可能な範囲（想定）】

（２）真栄田岬

１）実証概要

真栄田岬では、出入口に設けているゲートシステムにより駐車場内の満空情報を管理しており、駐車内には 11 台の監視カメラが設置されインターネット回線により管理されている。

現状として、駐車場のリアルタイム情報は発信されていないため、ピーク時には駐車場へ入庫する車両待ちの影響（夏季時期には入口に向かって 20 台以上の渋滞が起きている。）で周辺道路が混雑している状況である。

そのため、既存カメラを活用し入口と出口カメラの映像をストリーミング方式で入手し、混雑情報を発信する実証を行った。

実施概要を以下に示す。

図表 22　真栄田岬の実施概要

現状・課題	・真栄田岬では、出入口に設けているゲートシステムにより駐車場内の満空情報を管理しており、駐車内には 11 台の監視カメラが設置（インターネット回線により管理）。 ・現状として、駐車場のリアルタイム情報は発信されていないため、ピーク時には駐車場へ入庫する車両待ちの影響（夏季時期には入口に向かって 20 台以上の渋滞が起きている。）で周辺道路が混雑している状況。
実証内容	・既存カメラを活用し入口と出口カメラの映像をストリーミング方式で入手し、混雑情報を発信する実証を行った。
実証期間	令和５年２月１日（水）～ 令和５年３月 20 日（月）



図表 23　真栄田岬の駐車場配置

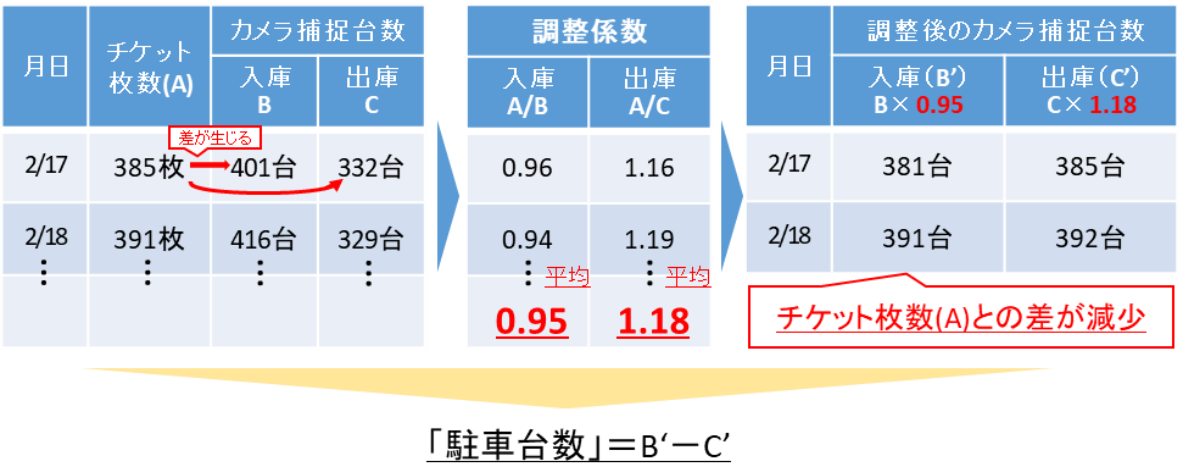
２）混雑状況の判定

①混雑状況の判定方法

本実証実験においては、入口と出口に設置されたカメラの映像から、入庫数と出庫数をカウントし、その差から駐車場内の車両台数を算出する。

※駐車可能台数：180 台（駐車マスのある台数を対象）

その結果、定期券利用車両などの影響により、チケットの枚数（A）とカメラで捕捉する入庫数（B）、出庫数（C）に差が見られたため、入口側・出口側それぞれでその乖離を少なくするような調整係数を乗じることで現状に近い駐車台数を算出した。



図表 24　調整係数および駐車台数の算出の流れ

②評価判定の区分

混雑判定の基準は、３段階（空車・混雑・満車）で設定した。

また、営業時間外、調整中（データ未取得など）、閉鎖（天候不良による場合など）もあわせて表示できるように設定した。

③閾値設定の考え方

閾値の設定にあたっては、閾値は他事例を参考に、70%以下を「空車」、70%～90%を「混雑」、90%以上を「満車」として設定した。（参考事例：VICS の提供する駐車場情報）

図表 25　混雑判定の区分と閾値

表示内容	閾値
空車	126 台以下　　（70%以下）
混雑	127 台～162 台（70%～90%程度）
満車	163 台以上　　（90%以上）
営業時間外	営業時間外の場合（【4 月-9 月】7:00-19:00／【10 月-11 月】7:00-16:00／【12 月-3 月】7:00-17:30）
調整中	データがうまくとれない場合
閉鎖	台風などの影響により閉鎖する場合

（３）備瀬のフクギ並木

１）実証概要

備瀬のフクギ並木では、民間、自治会などを含めて数か所に駐車場が整備されているが、無料駐車場は集落の入口付近の１か所である。そのため、駐車する車両による渋滞や集落内の生活道路内のうろつき渋滞が起きている。

また、無料駐車場は法定外公共物の里道と位置付けられており管理者は自治会であり、電柱やトイレなどは本部町が管理（一部、自治会管理の電柱もある）している。

そのため、町管理の電柱に新たにカメラ２台設置（カメラの電源及び通信は隣接するコンドミニアムの協力を得て配線・接続）し、混雑情報を発信する実証を行った。

実施概要を以下に示す。

図表 26　備瀬のフクギ並木の実施概要

現状・課題	・備瀬のフクギ並木の入口に位置する無料駐車場付近において、滞留する渋滞や集落内の生活道路内のうろつき渋滞が発生している。 ・現状、備瀬のフクギ並木周辺の無料駐車場は１か所であり、日中は常に混雑している。
実証内容	・備瀬のフクギ並木無料駐車場内にある防災カメラ電柱（町管理）を利用し、カメラ２台を設置。（カメラの設置場所は、既存の防災無線や街灯を避けた位置に設置） ・また、カメラの電源及び通信は、隣接するコンドミニアム（アダンリゾート風）の協力を得て配線・接続した。
実証期間	令和５年２月 14 日（火）～ 令和５年３月 20 日（月）

【備瀬のフクギ並木周辺　駐車場等状況】



No.	名称	管理	備考
①	備瀬崎駐車場	老人クラブ	有料
②	備瀬区事務所	自治会	有料
③	**備瀬のフクギ並木無料駐車場**	**町営**	**無料**
④	駐車場	民間	有料

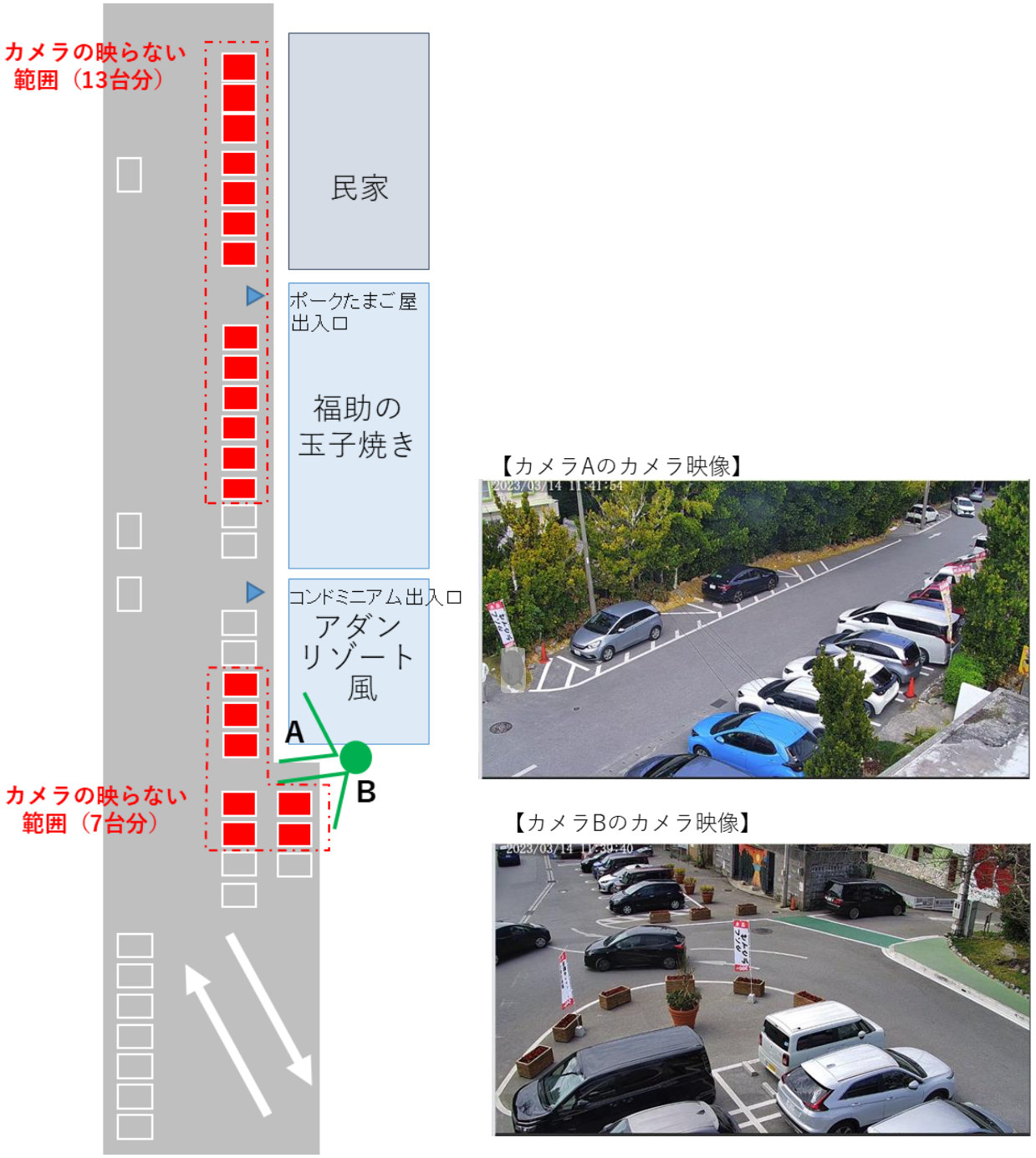


図表 27　備瀬のフクギ並木無料駐車場の配置

２）混雑状況の判定方法

①混雑状況の判定方法

備瀬のフクギ並木無料駐車場の駐車可能台数（駐車マス台数）は 37 台であるが、入口部分に設置した２方向のカメラより駐車場の一部場所の混雑状況を把握し、それらを全体の混雑状況と想定して発信した。



図表 28　備瀬のフクギ並木無料駐車場カメラの映す範囲

②評価判定の区分

混雑判定の基準は、３段階（空車・混雑・満車）で設定した。

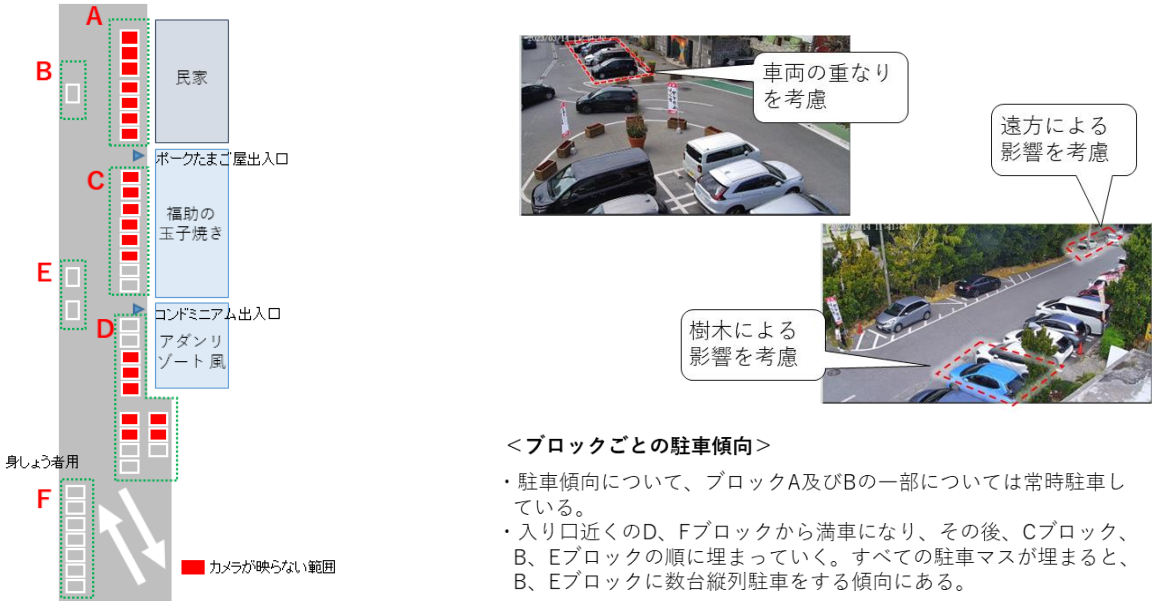
また、調整中（データ未取得など）、閉鎖（緊急時の閉鎖する場合など）もあわせて表示できるように設定した。

③閾値設定の考え方

閾値の設定にあたっては、カメラが映る範囲の 17 台を対象として、事前の現地調査により状況を把握した。その結果、B ブロックは遠方による影響、D ブロックは樹木の影響、F ブロックは車両の重なりにより、カメラの車両認識がされないことが懸念されるため、車両認識が想定される計 10 台で閾値の検討を行った。

カメラ２台による合計値が、 10 台以上（C、E ブロック、D ブロックの下側、F ブロック 1 台置き駐車を想定）を「満車」 、5 台以上（満車の半分の台数を想定）を「混雑」、と設定した。

以上より、５台未満を「空車」、5～9 台未満を「混雑」、10 台以上を「満車」として設定した。



＜ブロックごとの駐車傾向＞

・駐車傾向について、ブロックA及びBの一部については常時駐車している。
・入り口近くのD、Fブロックから満車になり、その後、Cブロック、B、Eブロックの順に埋まっていく。すべての駐車マスが埋まると、B、Eブロックに数台縦列駐車をする傾向にある。

図表 29　備瀬のフクギ並木無料駐車場　駐車状況

図表 30　混雑判定の区分と閾値（カメラが映る範囲の駐車マス台数：17 台）

表示内容	閾値
空車	５台未満　　（30%未満）
混雑	５台～10 台未満（30%~59%未満）
満車	10 台以上　　（59%以上）
調整中	データがうまくとれない場合
閉鎖	緊急時の閉鎖する場合

３．２ 情報発信・周知広報

（１）情報発信 WEB サイトの開設

各実証地点における混雑情報と合わせて、混雑時の分散化や他施設への周遊等を促進するため、周辺の観光スポット等を紹介した情報発信 WEB サイトを開設した。

情報発信 WEB サイトは、駐車場の混雑情報、実証対象施設周辺の観光スポット、沖縄本島北部の観光スポット、その他（関係団体等のリンク、アンケートなど）のコンテンツを掲載した。また、多言語化（英・繁体・簡体・韓国）や周遊促進を図るため掲載施設の中で協力の得られた施設についてはインセンティブとしてクーポンの設置を行った。

情報発信 WEB サイトの掲載内容を以下に示す。

図表 31　情報発信 WEB サイトのコンテンツ内容

コンテンツ	内容
１．駐車場の混雑状況	混雑状況の表示（満車、混雑、空車、営業時間外、調整中、閉鎖） ※ター滝については既存のサイトで混雑状況を発信
２．実証対象施設周辺の観光スポット	・周辺の観光スポットの紹介 ＜ター滝＞ 道の駅おおぎみ　やんばるの森ビジターセンター、大宜味村シークワーサーパーク、芭蕉布会館 ＜真栄田岬＞ おんなの駅　なかゆくい市場、万座毛、恩納村博物館／恩納村文化情報センター ＜備瀬のフクギ並木＞ 海洋博公園、ゴリラチョップ、今帰仁城跡
３．沖縄本島北部の観光スポット	・沖縄本島北部の観光スポットを紹介 ➢　道の駅　サンライズひがし ➢　辺戸岬 ➢　大石林山 ➢　やんばる学びの森 ➢　東村ふれあいヒルギ公園 ➢　道の駅　ゆいゆい国頭 ➢　道の駅　パイナップルの丘　安波
４．その他	・混雑情報を発信しているター滝 HP への誘導 ・沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトとの連携 ・アンケートのご協力リンクの掲載



図表 32　情報発信 WEB サイト（HOME 画面）



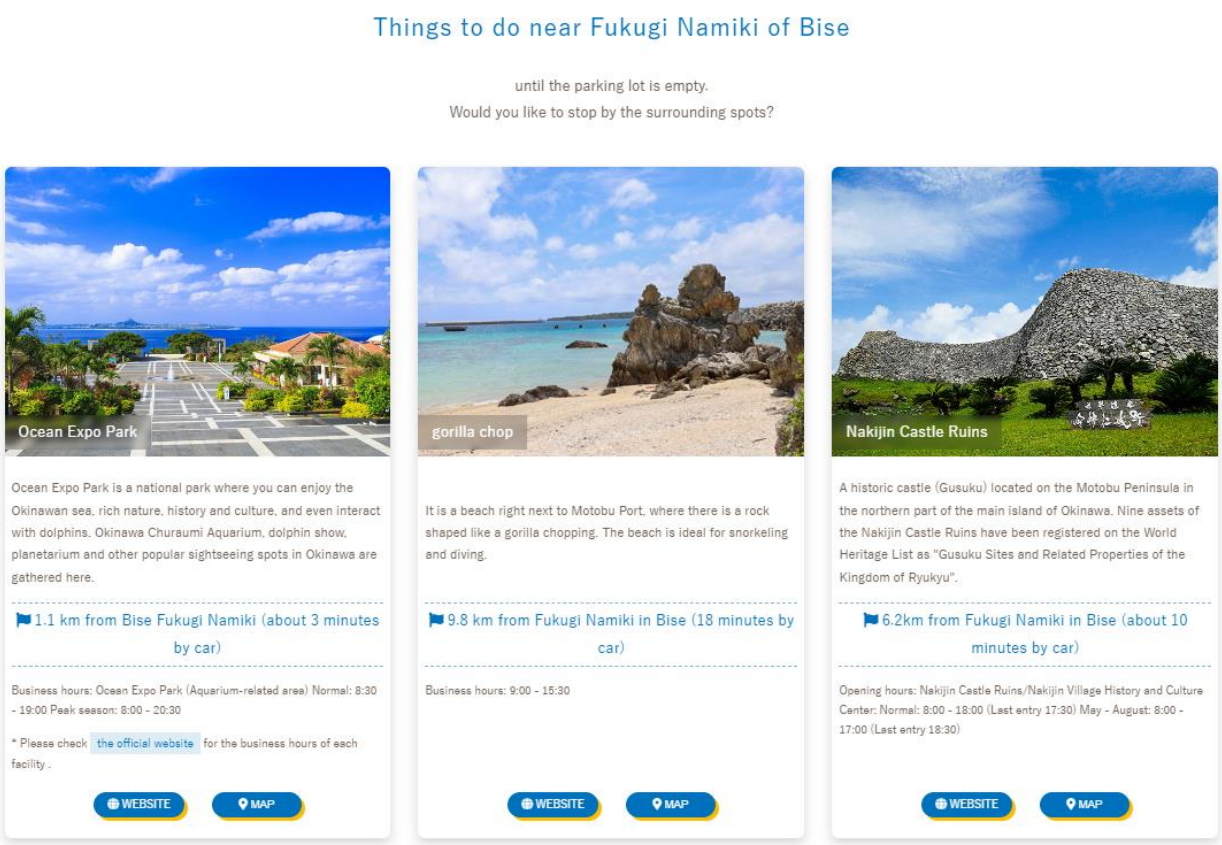
図表 33　情報発信 WEB サイト　備瀬のフクギ並木例（1/3）



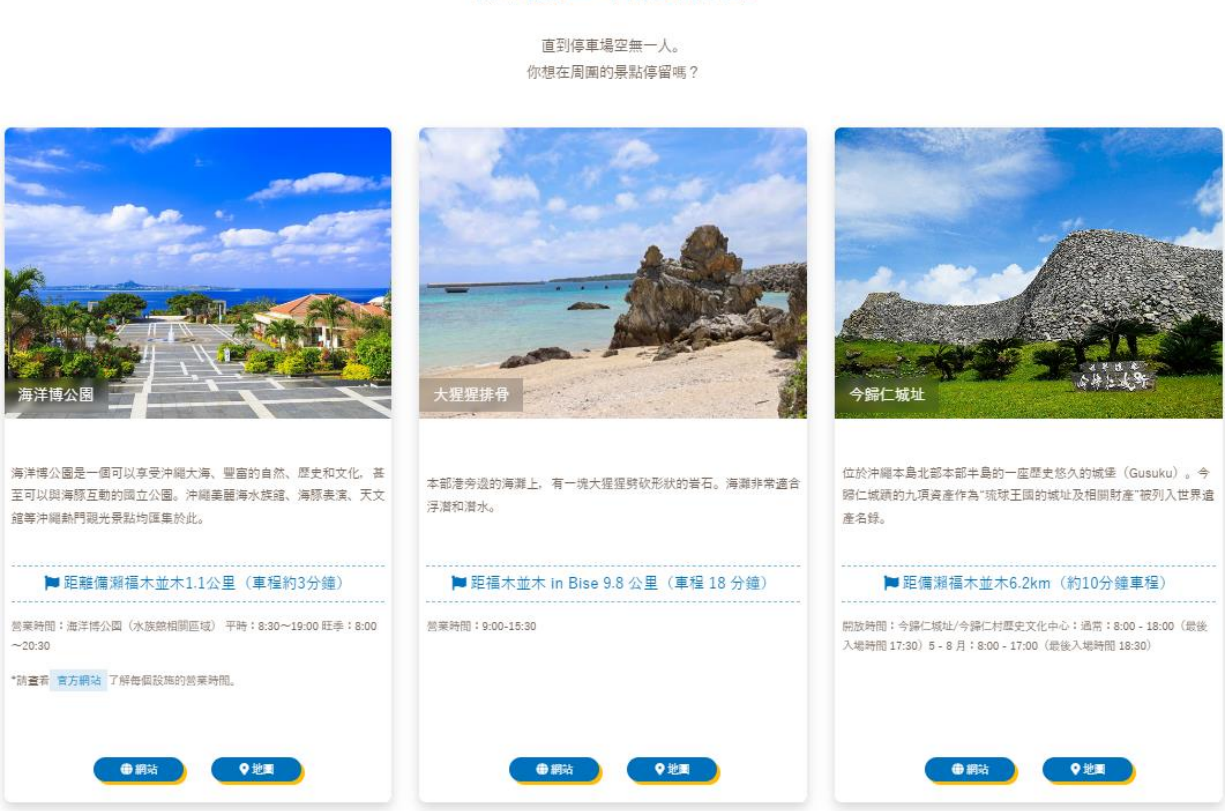
図表 34　情報発信 WEB サイト　備瀬のフクギ並木例（2/3）



図表 35　情報発信 WEB サイト　備瀬のフクギ並木例（3/3）



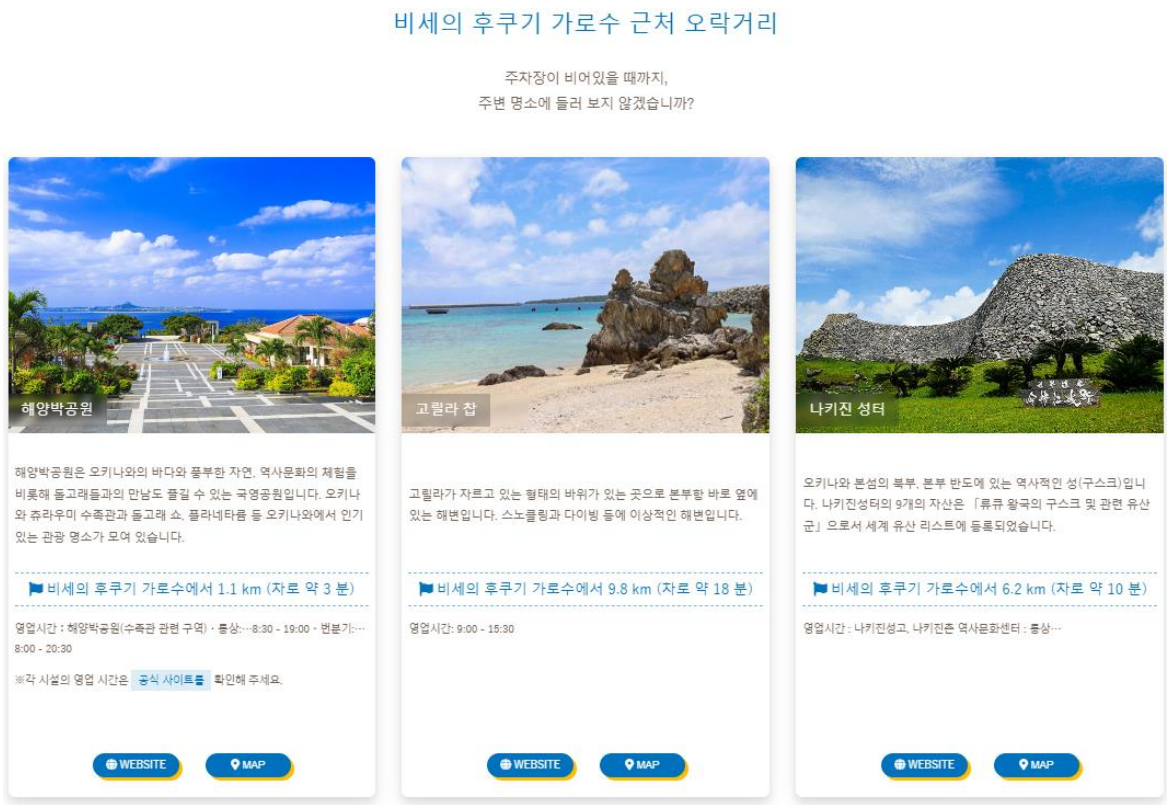
図表 36　情報発信 WEB サイト　多言語（英語）　備瀬のフクギ並木例



図表 37　情報発信 WEB サイト　多言語（繁体）　備瀬のフクギ並木例



図表 38　情報発信 WEB サイト　多言語（簡体）　備瀬のフクギ並木例



図表 39　情報発信 WEB サイト　多言語（韓国）　備瀬のフクギ並木例

（２）周知・広報

本事業の周知広報を行うため、情報発信 WEB サイトの案内について沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトやおきなわ物語、また施設の HP、観光協会、Google マイビジネス※などにリンクを掲載した。

また、本事業の内容及び情報発信 WEB サイトの紹介を行うチラシを作成した。（沖縄の玄関口である那覇空港の１F 観光案内所に配布）

周知・広報の掲載内容を以下に示す。

※各施設情報を Google 検索エンジン・Google マップに登録できる無料の PR ツール

図表 40　周知・広報の内容

周知・広報先	内容
１．関連団体	・各施設 HP にリンクを掲載（真栄田岬 HP、ター滝 HP など） ※備瀬のフクギ並木は施設 HP がないため、観光協会と連携を図った。 ・沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト、おきなわ物語に本事業に関する実証概要を掲載
２．Google マイビジネス	・本事業に関する概要説明を掲載
３．その他	・チラシ作成、配布



内閣府 沖縄総合事務局では、観光地等の混雑やレンタカーの利用の増加による交通渋滞等の発生による地域負担が懸念されることに対して、観光客の周遊・分散化等を図ることを目的として、駐車場の混雑状況を発信する実証実験を12月1日より開始いたしました。実証実験は、沖縄県本島北部エリアの3か所（真栄田岬・備瀬のフクギ並木・ター滝）で実施しており、各観光地の駐車場の混雑情報や周辺のおすすめスポット等を紹介する専用サイトを開設しました。本島北部観光にぜひご活用ください。



〔実証実験に関するお問合せ〕
事務局：株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社
メール：oki_kon@oriconsul.com

図表 41　事業案内チラシ



図表 42　おきなわ物語　掲載内容



図表 43　沖縄北部観光情報サイト掲載内容



図表 44　Google マイビジネス掲載内容（ター滝例）

４．効果検証及び次年度以降の取組の検討

４．１　効果検証

（１）混雑状況の可視化の効果検証

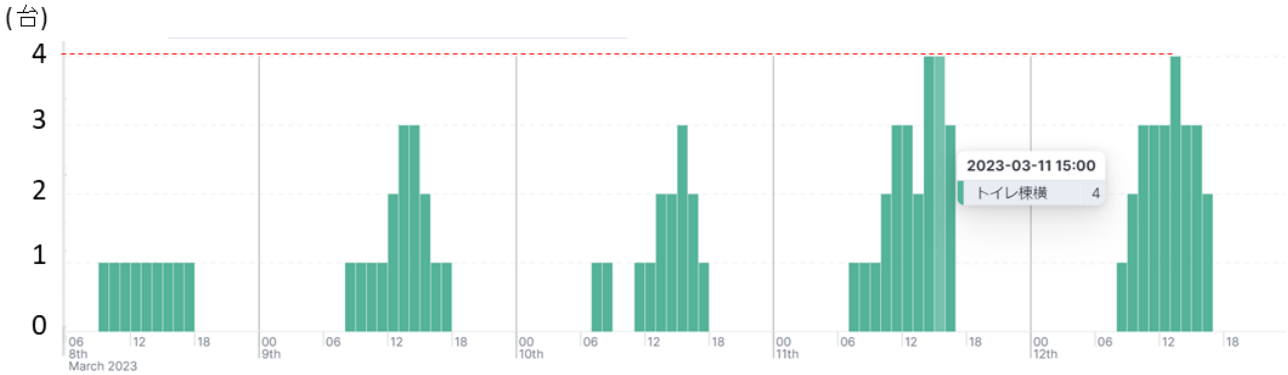
１）ター滝

混雑判定の検証にあたっては、カメラカウントの状況を把握して精度の検証を行った。

①カメラのカウント状況

令和５年３月８日（水）～12日（日）にてカウントした時間帯別の駐車台数を以下に示す。

上記期間では最も多い時間帯のカウント数が４台であり、２月後半以降から徐々に増加してはいるものの、閑散期であったため駐車台数は少ない状態であり、混雑表示も常に「空車」の状態が続いていた。



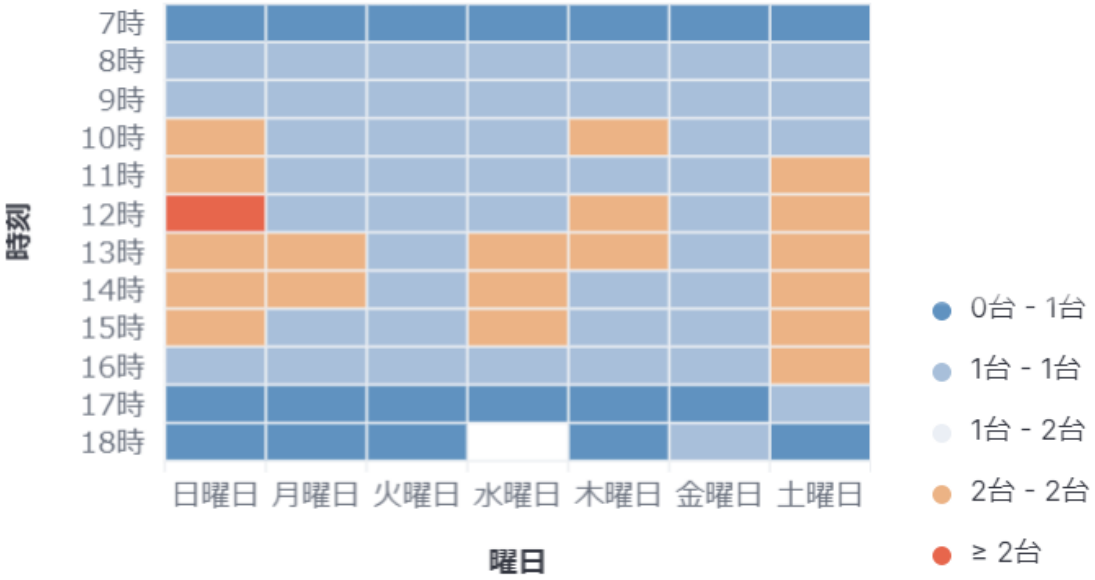
図表 45　時間別のカメラカウントの状況（3/8～3/12）



図表 46　カメラ映像（3/8～3/12）

②曜日別の駐車台数

実証期間内（令和４年 12 月１日～令和５年３月 20 日）における曜日別・時間別の混雑状況について確認した。カメラでのカウント台数から曜日別の駐車状況を見ると、駐車台数は少ないが、平日と比較すると休日の台数が多かった。



図表 47　曜日別の駐車台数の状況（12/1～3/20）

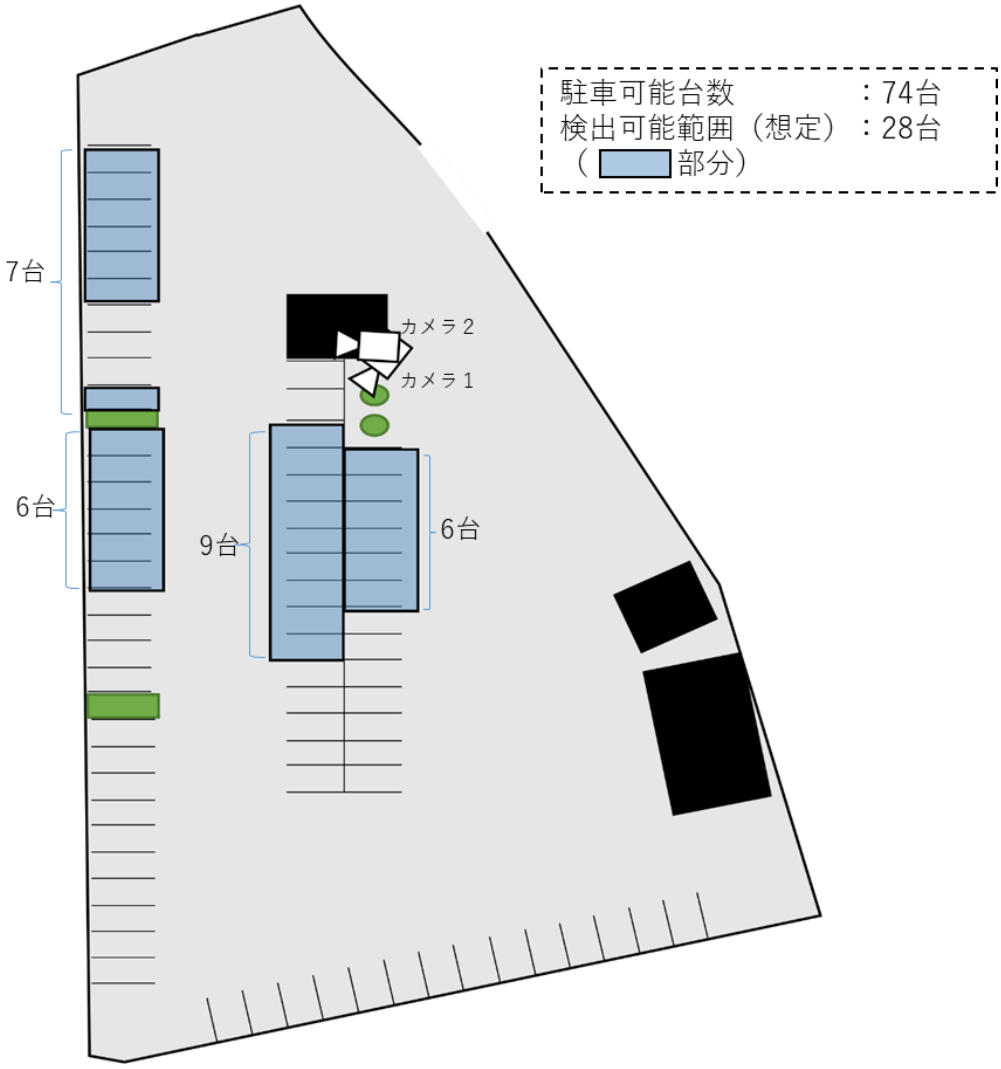
③混雑判定の精度の検証

実証期間中は閑散期であり混雑する様子は見受けられず、混雑表示も「空車」表示が続いていたため、間違った情報が発信されることはなかった。しかし、GW や夏季などの混雑する時期において、適切に「混雑」や「満車」を表示するため、カメラでの検出可能範囲（想定）や、検出できない場合の条件などについて検証を行った。

そのため、実証期間中のカメラの映像と混雑判定システムにより検出される駐車台数を比較し、車両の検出状況を確認した。

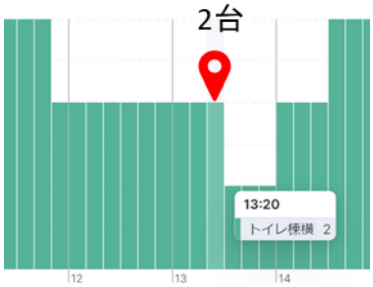
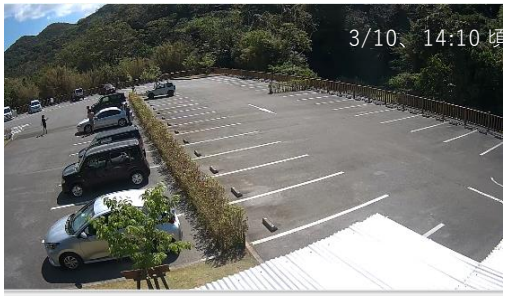
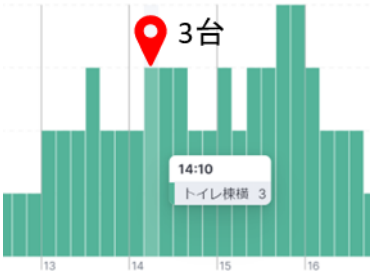
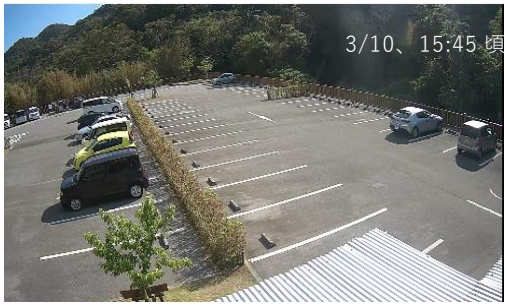
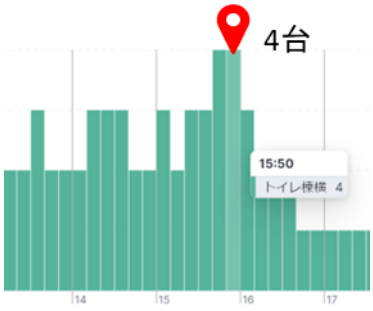
結果として、カメラ１については想定していた範囲における検出ができているものの、障害物や隣の車両により車体が隠れる場合には検出が難しい可能性があることが分かったため、今後継続的に検証していくことが必要である。

カメラ２については、検出可能範囲に駐車される台数が少ないことや車両形状などから現状では検出できておらず、引き続き検証を行う必要がある。



図表 48　カメラによる車両の検出が可能な範囲（想定）

（参考）カメラの映像と混雑判定システムにより検出される駐車台数の検証結果

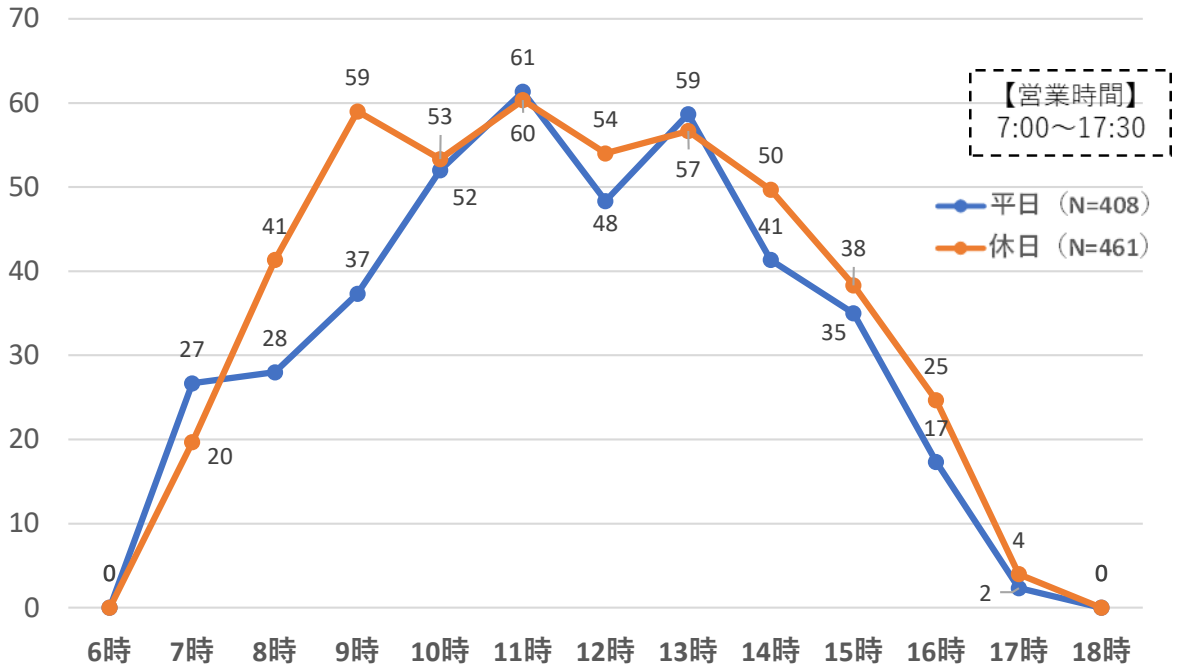
<table>
<tr><th>No</th><th>カメラ映像</th><th>カウント数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">①
（カメラ１）</td><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">２台の車両が検出できており、想定していた検出可能範囲において問題なくカウントが行えている（２月中旬頃までこのような状況が多数）。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">②
（カメラ１）</td><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">実際の駐車台数とカウント数に乖離があり、木や隣の車両により車体が隠れている場合にはうまく検出ができていない可能性が考えられる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③
（カメラ１）</td><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">実際の駐車台数とカウント数に乖離があり、木や隣の車両により車体が隠れている場合にはうまく検出ができていない可能性が考えられる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">④
（カメラ２）</td><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">現状車両が検出できておらず、想定していた検出可能範囲に車が少ない他、車両形状（軽トラック）や色、屋根で車体の一部が隠れていることなどが原因と考えられる。</td></tr>
</table>

２）真栄田岬

混雑判定の検証にあたっては、カメラカウントの状況を把握して精度の検証を行った。

①カメラのカウント状況

平日、休日の時間帯別の入庫数が多かった日平均入庫数を見ると、休日は ９ 時～15 時頃に多く、平日は 10 時～13 時頃に入庫数が多い。

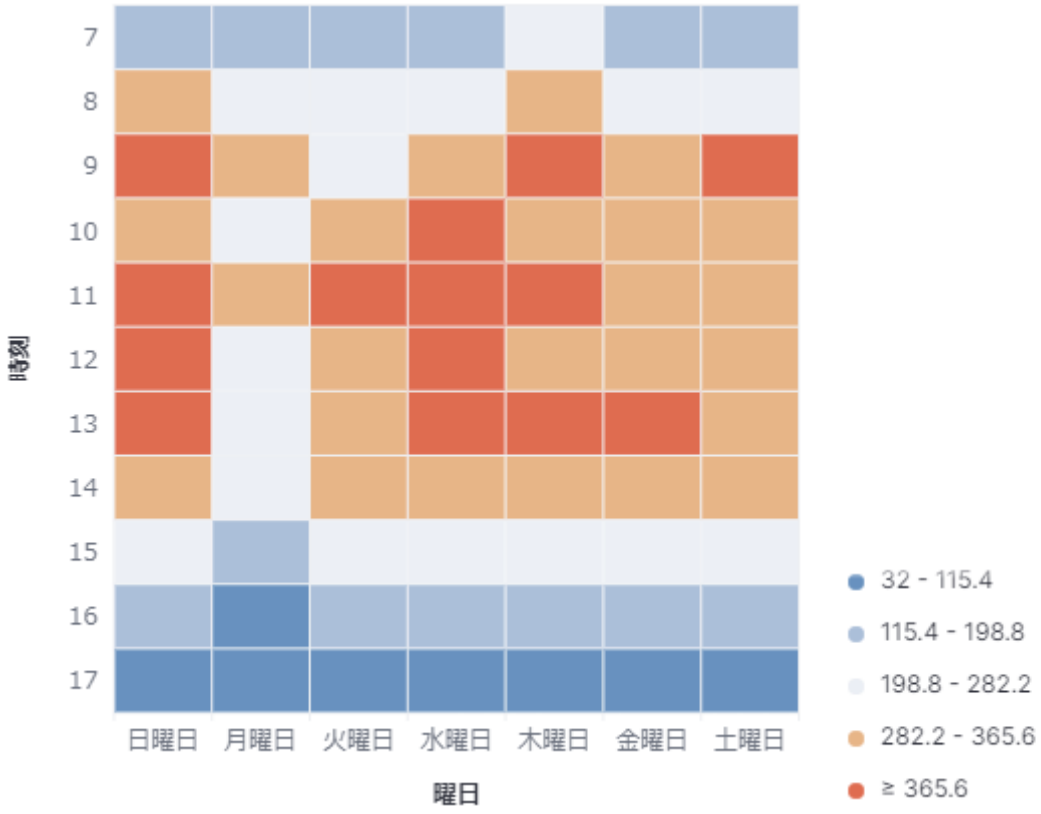


※平日、休日ともに、入庫数が多かった３日の平均
（平日：2/13（月）・21（火）・22（水）、休日：2/12（日）・18（土）・19（日））

図表 49　時間帯別の平均入庫数（平日／休日）

②曜日別の入庫台数

実証期間内（令和５年２月１日～令和５年３月20日）における曜日別・時間別の入庫台数について確認した。カメラでのカウント台数から曜日別の入庫状況を見ると、日曜日及び水曜日の昼頃が多く、月曜日の入庫数は少なかった。



図表 50　曜日別の入庫台数の状況（2/1～3/20）

③混雑判定の精度の検証

現地調査（2 日間、約 30 分間隔目視で駐車台数数え上げ）を行い、カメラの捕捉台数から算出される駐車台数との比較により、混雑情報判定の精度の検証を行った。また、その際の混雑表示も合わせて確認を行った。

結果として、ばらつきはあるものの、10 台以上の乖離は見られず、混雑表示も問題ないことは把握できた。

現状として、乖離率は 0～10%程度を推移しているため一定程度の精度は確保できているが、今後も継続的に精度の向上をしていく必要がある。

図表 51　混雑判定システムの精度検証（2/18、2/25）

	No	時刻	駐車台数		③差（②－①）	乖離率	混雑表示
			①目視カウント	②カメラカウント			
2/18（土）	1	10:00	81台	75台	-6	-7%	空車
	2	10:30	88台	79台	-9	-10%	空車
	3	11:00	91台	90台	-1	-1%	空車
	4	11:30	109台	106台	-3	-3%	空車
	5	12:00	117台	113台	-4	-3%	空車
	6	12:30	108台	101台	-7	-6%	空車
	7	13:00	105台	97台	-8	-8%	空車
2/25（土）	8	9:30	56台	50台	-6	-11%	空車
	9	10:00	67台	63台	-4	-6%	空車
	10	10:30	76台	70台	-6	-8%	空車
	11	11:00	80台	74台	-6	-8%	空車
	12	11:30	86台	81台	-5	-6%	空車
	13	13:00	86台	83台	-3	-3%	空車
	14	14:00	79台	78台	-1	-1%	空車
	15	15:00	68台	68台	0	0%	空車

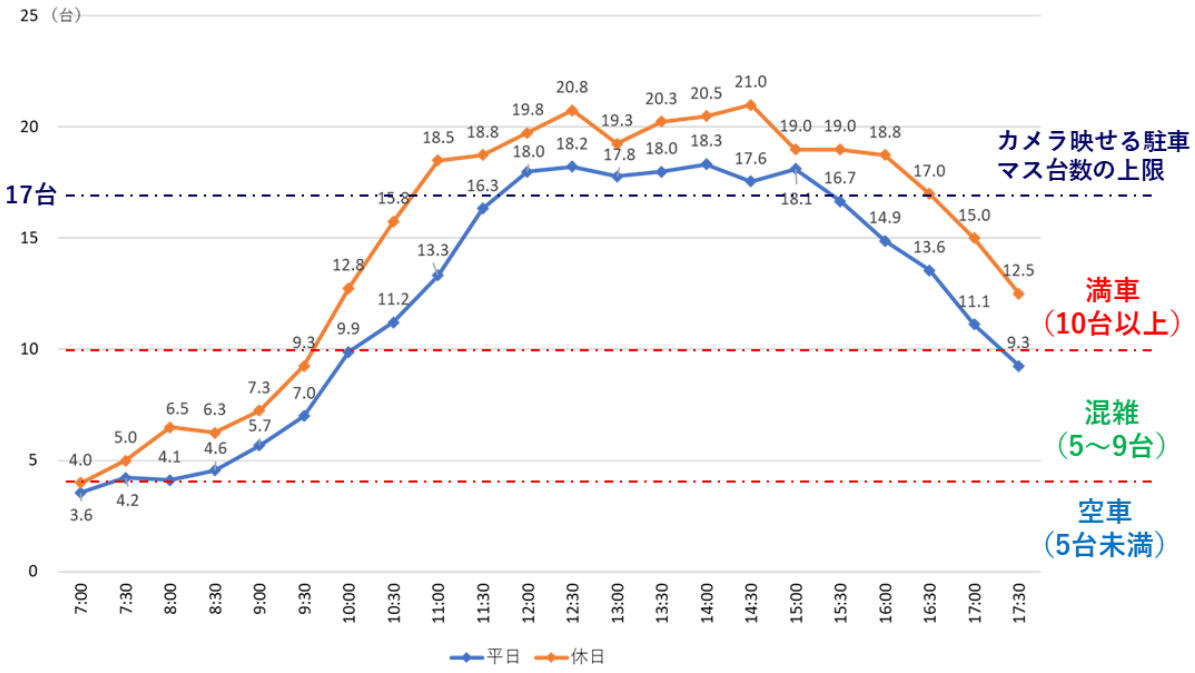
３）備瀬のフクギ並木

混雑判定の検証にあたっては、カメラカウントの状況を把握して精度の検証を行った。

①カメラのカウント状況

平日、休日のカメラによる時間帯別の平均駐車台数をみると、10 時頃から満車になり 15 時頃まで満車が続いている。特に、昼頃からは駐車マス以外に駐車している車両が増加している。

また、カメラの映せる駐車マス台数以上のカウントもされており、駐車マス以外での駐車や駐車場の満車による待ち車両などの影響だと考えられる。



※数値は、実証期間の平均値
※カメラによるカウントできる最大台数は、17 台

図表 52　時間帯別の平均駐車台数（平日／休日）



図表 53　駐車場の待ち車両の状況



図表 54　駐車マス以外での駐車状況

（参考）カメラ映像とカウント台数の状況整理

【空車の表示】　5台駐車

◆9：00頃

＜カメラA＞　カメラカウント数：1台



＜カメラB＞　カメラカウント数：4台



【混雑の表示】　11台駐車

◆10：00頃

＜カメラA＞　カメラカウント数：3台



＜カメラB＞　カメラカウント数：8台



【満車の表示】　20台駐車

◆12：30頃

＜カメラA＞　カメラカウント数：11台

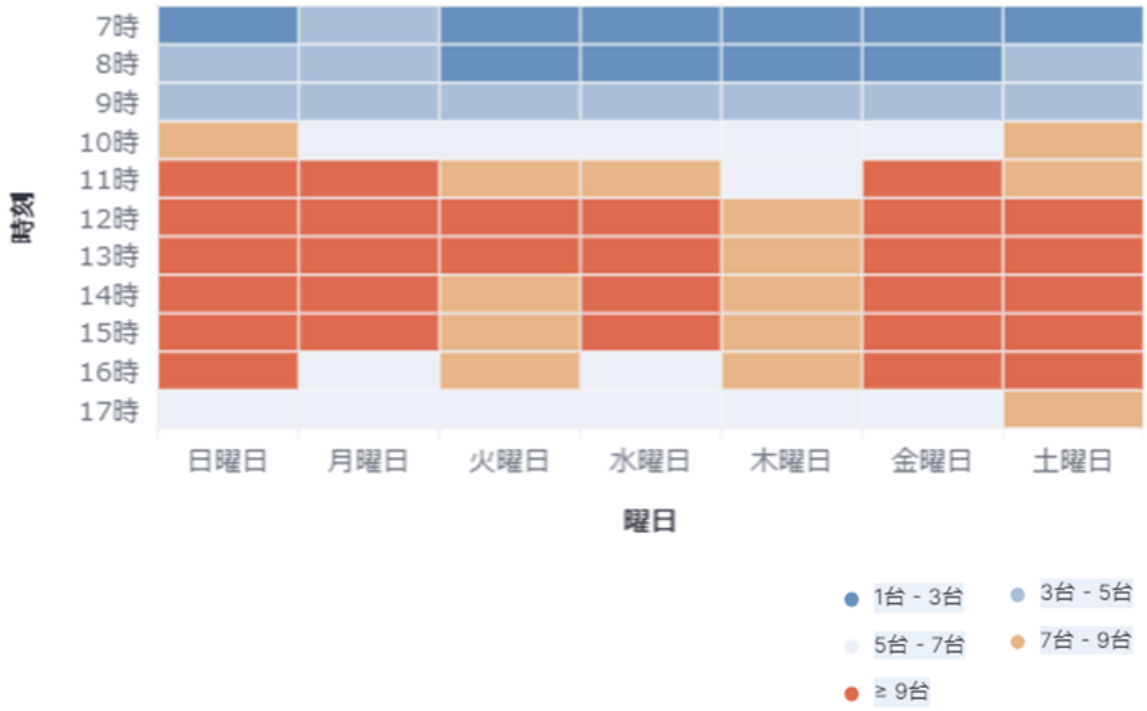


＜カメラB＞　カメラカウント数：9台



②曜日別の入庫台数

実証期間内（令和５年２月 14 日～令和５年３月 20 日）における曜日別・時間別の入庫台数について確認した。平日・休日ともに昼間の時間帯で駐車が多い。特に土日は、10 時台から混雑している。



図表 55　曜日別の入庫台数の状況（2/14～3/20）

③混雑判定の精度の検証

カメラカウントと動画から台数の差異について把握した。調査は、平日 2 日間（3/1・3/2）を対象として行った。

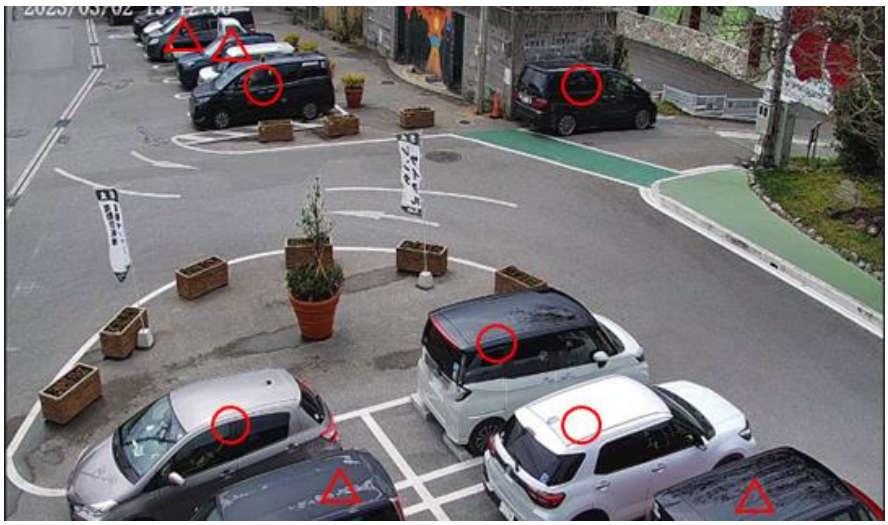
その結果、カメラカウントでは当初想定していた 10 台以上の台数がカウントできていることが分かった。また、車両台数が少ない時間帯においては、カメラカウント台数と現状の乖離はないが、ピーク時間帯になると、車両同士の重なりなどの影響でカメラカウント台数と現状で乖離が出ていることが分かった。

引き続き、車両同士の重なり、車種や色など様々なケースのデータの蓄積を行い精度の改善を図っていく必要がある。

図表 56　カメラカウントと映像による台数の比較（3/1 調査結果）

時間	カメラA方向			カメラB方向			全体		
	カメラカウント	映像による確認	乖離状況	カメラカウント	映像による確認	乖離状況	カメラカウント	映像による確認	乖離状況
9:00	1	0	1	4	4	0	5	4	1
10:00	3	4	-1	8	8	0	11	12	-1
11:00	6	6	0	8	8	0	14	14	0
13:00	8	10	-2	8	9	-1	16	19	-3
14:00	10	10	0	8	9	-1	18	19	-1
15:00	10	11	-1	8	9	-1	18	20	-2
16:00	9	9	0	8	8	0	17	17	0
17:30	3	3	0	7	7	0	10	10	0

＜カメラ B＞　カメラカウント数：８台



○は、カメラによるカウントができている。

△の 4 台のうち 3 台はカウントできている。

（参考）その他の検証結果

❖カメラの映らないブロックにおける混雑状況の把握による検証

現地調査で台数のカウントを行い、カメラが映らない A・C ブロックの駐車状況とその他ブロックでの駐車状況について把握した。その結果、A・C ブロックの満車時には、それ以外のブロックにおいても満車状況だった。特に、A ブロックには駐車マス以外に駐車する台数も多かった。（下表、赤枠部分）

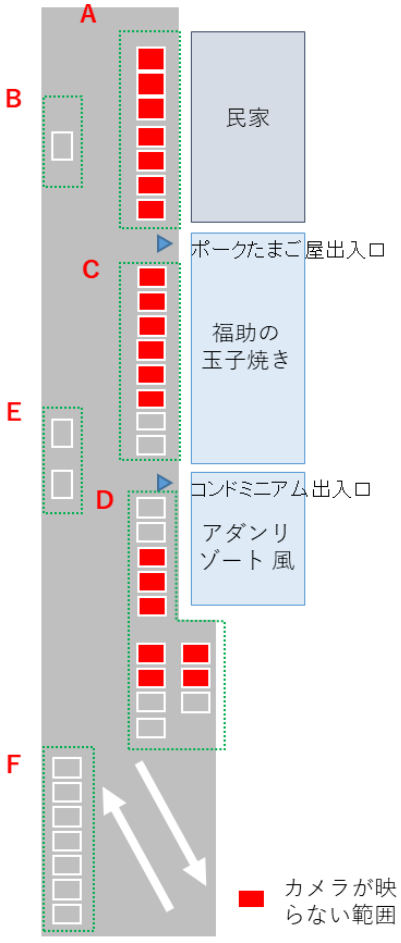
以上より、今回の部分的な駐車状況の把握方法については概ね効果があったと考える。

❖駐車マス以外に駐車する台数の把握による検証

備瀬のフクギ並木の無料駐車場は、日中は満車状況が続いており、駐車場全体で約 10 台が駐車マス以外に駐車している状況（3/12（日）の 12：00～16：00 の現地調査結果）である。

特に、カメラの映る B、E ブロックについては、駐車マス以外に駐車する車両が約 2～3 台いることが把握できた。

そのため、駐車場のカメラカウントが駐車マス以上の台数になったことが確認できた。



ブロック	A		B		C		D		E		F		合計
駐車マス	7台	マス外	1台	マス外	8台	マス外	12台	マス外	2台	マス外	7台	マス外	（台）
12:00	7	5	1	3	8	1	12	0	2	1	7	1	48
12:30	7	4	1	3	8	1	12	0	2	3	7	1	49
13:00	7	4	1	2	8	1	12	0	2	2	7	1	47
13:30	7	4	1	1	8	1	12	0	2	2	7	1	46
14:00	7	5	1	3	8	1	12	0	2	2	7	1	49
14:30	7	4	1	2	8	1	12	0	2	2	7	1	47
15:00	7	4	1	3	8	1	12	0	2	2	7	1	48
15:30	7	4	1	3	8	1	12	0	2	2	7	1	48
16:00	7	4	1	2	8	1	12	0	2	2	7	1	47
マス外平均(台)	-	4.2	-	2.4	-	1.0	-	0.0	-	2.0	-	1.0	10.7
30分当たりの平均駐車台数（台）	7.0	4.2	1.0	2.4	8.0	1.0	12.0	0.0	2.0	2.0	7.0	1.0	47.6

図表 57　備瀬のフクギ並木無料駐車場の時間帯別・ブロック別の駐車台数

（２）観光客の周遊促進の仕組みの効果検証

情報発信 WEB サイトについて、Google アナリティクス※を用いて閲覧数（表示回数、ユーザー数）や属性などの閲覧状況について把握した。

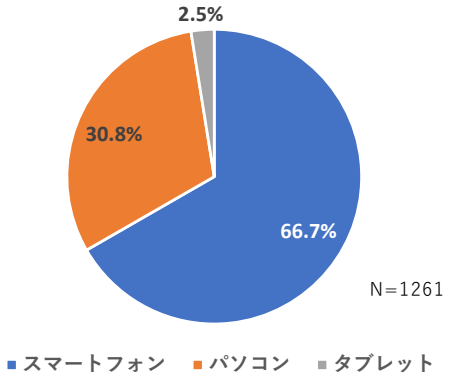
※Google アナリティクスは、Google が無料で提供する Web ページのアクセス解析サービス

１）情報発信 WEB サイト閲覧状況の概要

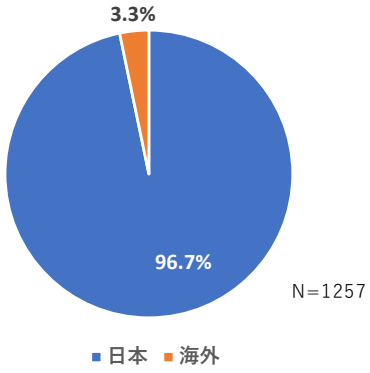
各情報発信 WEB サイトの PV 数（サイトで表示されたページの閲覧数）及び UU 数（サイトを訪問したユーザーの数）、利用媒体、利用属性（国籍、性別、年齢）について以下に整理した。

図表 58　情報発信 WEB サイトの PV 数・UU 数

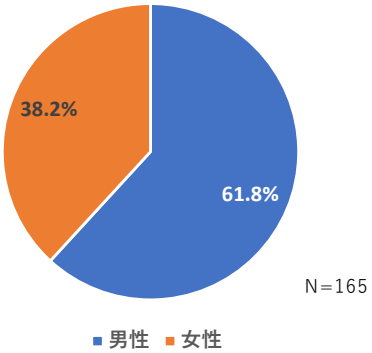
サイト名	PV 数	UU 数
１．HOME	482 回（平均 7.2 回/日）	255 人（平均 3.8 人/日）
２．ター滝	534 回（平均 4.9 回/日）	248 人（平均 2.3 人/日）
３．真栄田岬	1,867 回（平均 38.9 回/日）	952 人（平均 19.8 人/日）
４．備瀬のフクギ並木	544 回（平均 15.5 回/日）	80 人（平均 4.1 人/日）



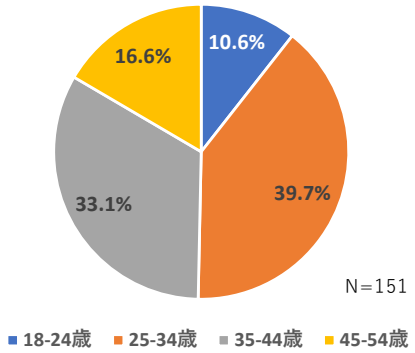
図表 59　利用媒体



図表 60　国籍



図表 61　性別



図表 62　年齢

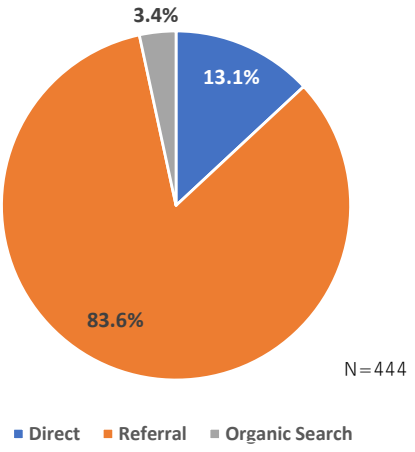
※性別、年齢の情報登録者が少ないため、N も少なくなっている

２）情報発信 WEB サイト別の閲覧状況の把握

①ター滝

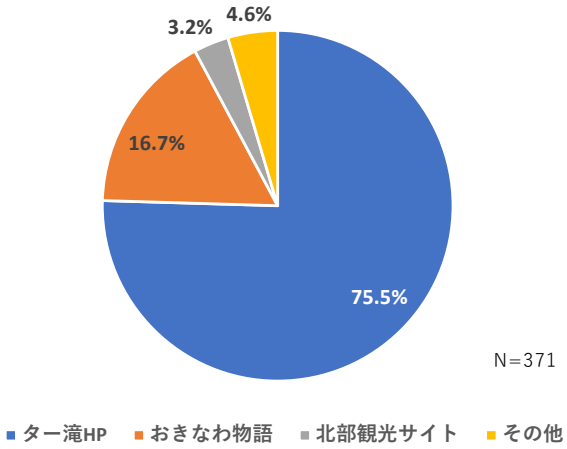
閲覧経路は、別サイトのリンクからの流入（Referral）が 83.6%を占め、その内訳としてはター滝 HP が 75.5%、おきなわ物語が 16.7%、北部観光サイトが 3.2%であった。

また、情報発信 WEB サイト（ター滝）内に掲載した外部リンク（施設情報やおすすめの観光スポット情報など）のクリック率は 19.5%であり、うちター滝 HP が 65.4%と最も多かった。

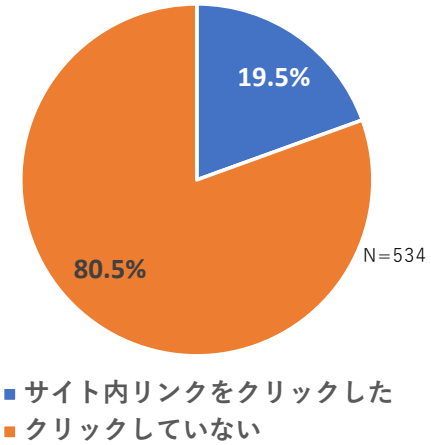


※Direct：直接 URL 入力やブックマークからの流入
※Referral：別サイト経由からの流入
※Organic　Search：自然検索での流入

図表 63　閲覧経路



図表 64　「Referral」の内訳



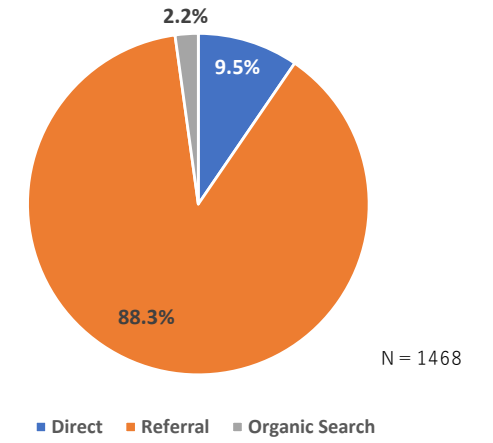
サイト名	クリック数(割合)
ター滝 HP	68（65.4%）
道の駅おおぎみ やんばるの森ビジターセンター	4（3.8%）
シークワーサーパーク	5（4.8%）
大宜味村　芭蕉布の里	1（1.0%）
辺戸岬	2（1.9%）
やんばる学びの森	2（1.9%）
ゆいゆい国頭	3（2.9%）
大石林山	4（3.8%）
パイナップルの丘　安波	2（1.9%）
東村ヒルギ公園	5（4.8%）
道の駅　サンライズひがし	2（1.9%）
沖縄北部観光情報 コミュニケーションサイト	6（5.8%）
合計	104

図表 65　情報発信 WEB サイト（ター滝）内に掲載した外部リンクの閲覧状況

②真栄田岬

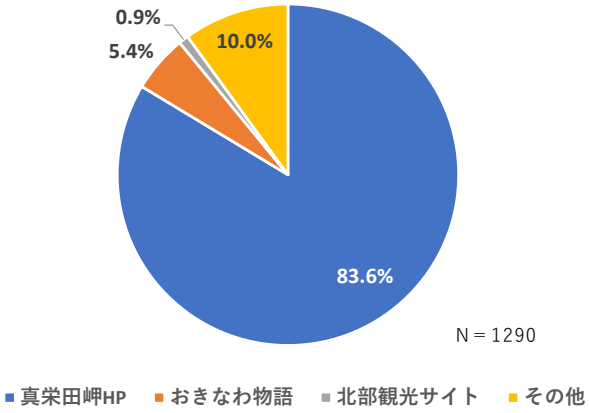
閲覧経路は、別サイトのリンクからの流入（Referral）が 88.3%を占め、その内訳としては真栄田岬の HP が 83.6%、おきなわ物語が 5.4%、北部観光サイトが 0.9%であった。

また、情報発信 WEB サイト（真栄田岬）内に掲載した外部リンク（施設情報やおすすめの観光スポット情報など）のクリック率は 5.0%であり、うち真栄田岬 HP が 40.9%と最も多かった。

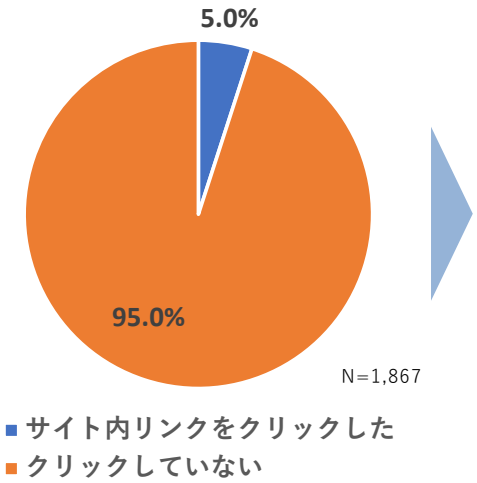


※Direct：直接 URL 入力やブックマークからの流入
※Referral：別サイト経由からの流入
※Organic　Search：自然検索での流入

図表 66　閲覧経路



図表 67　「Referral」の内訳



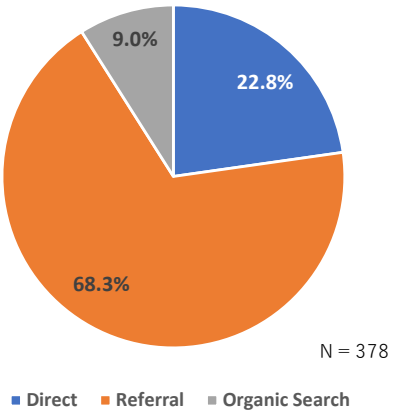
サイト名	クリック数(割合)
真栄田岬 HP	38（40.9%）
万座毛	5（5.4%）
恩納村博物館	5（5.4%）
おんなの駅　なかゆくい市場	14（15.1%）
やんばる学びの森	3（3.2%）
ゆいゆい国頭	3（3.2%）
大石林山	5（5.4%）
パイナップルの丘　安波	6（6.5%）
東村ヒルギ公園	3（3.2%）
道の駅サンライズひがし	2（2.2%）
沖縄北部観光情報 コミュニケーションサイト	9（9.7%）
合計	93

図表 68　情報発信 WEB サイト（真栄田岬）内に掲載したリンクの閲覧状況

③備瀬のフクギ並木

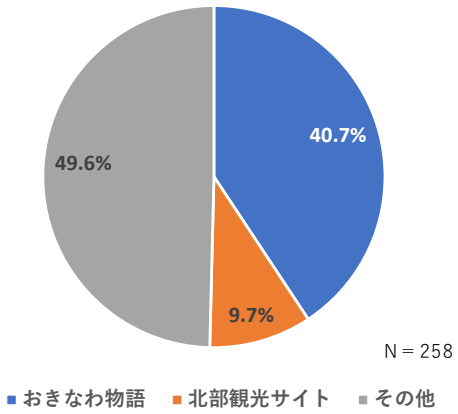
閲覧経路は、別サイトのリンクからの流入（Referral）が 68.3%を占め、その内訳としてはおきなわ物語が 40.7%、北部観光サイトが 9.7%であった。

また、情報発信 WEB サイト（備瀬のフクギ並木）内に掲載した外部リンク（施設情報やおすすめの観光スポット情報など）のクリック率は 6.4%であり、うち備瀬のフクギ並木を紹介するサイトが 60.0%と最も多かった。

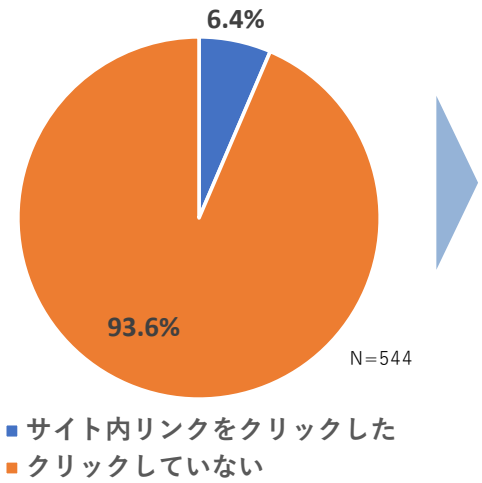


※Direct：直接 URL 入力やブックマークからの流入
※Referral：別サイト経由からの流入
※Organic　Search：自然検索での流入

図表 69　閲覧経路



図表 70　「Referral」の内訳



サイト名	クリック数(割合)
備瀬のフクギ並木紹介サイト（北部コミュニケーションサイト、本部町観光協会 HP）	21（60.0%）
海洋博公園	3（8.6%）
辺戸岬	2（5.7%）
ゆいゆい国頭	2（5.7%）
パイナップルの丘　安波	5（14.3%）
沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト	2（5.7%）
合計	35

図表 71　情報発信 WEB サイト（備瀬のフクギ並木）内に掲載したリンクの閲覧状況

３）外国人の閲覧状況の把握

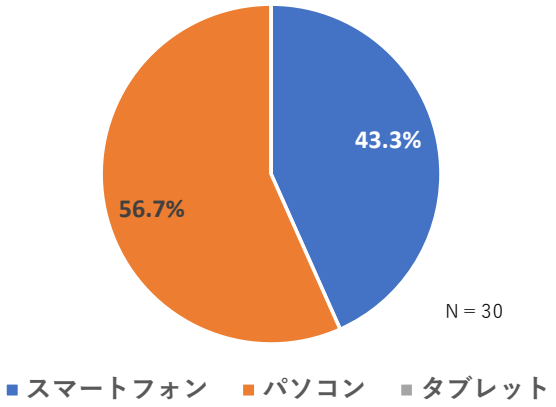
①外国人の閲覧状況の概要

外国人による各情報発信 WEB サイトの PV 数（サイトで表示されたページの閲覧数）及び UU 数（サイトを訪問したユーザーの数）、利用媒体、国籍を以下に整理した。

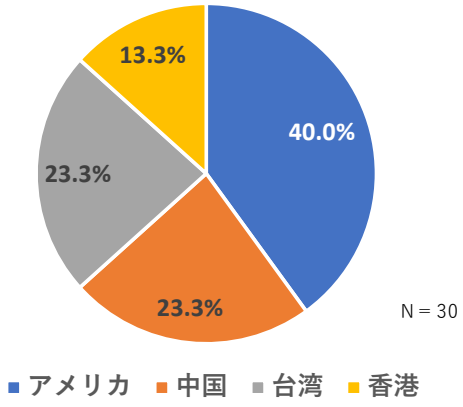
実証地点の３施設の中では真栄田岬が PV 数、UU 数ともに最も多かった。

図表 72　情報発信 WEB サイトの PV 数・UU 数（外国人）

サイト名	PV 数	UU 数
１．HOME	12 回（平均 0.2 回/日）	12 人（平均 0.2 人/日）
２．タ一滝	１回（平均０回/日）	１人（平均０人/日）
３．真栄田岬	17 回（平均 0.4 回/日）	17 人（平均 0.4 人/日）
４．備瀬のフクギ並木	０回（平均０回/日）	０人（平均０人/日）



図表 73　利用媒体



図表 74　国籍

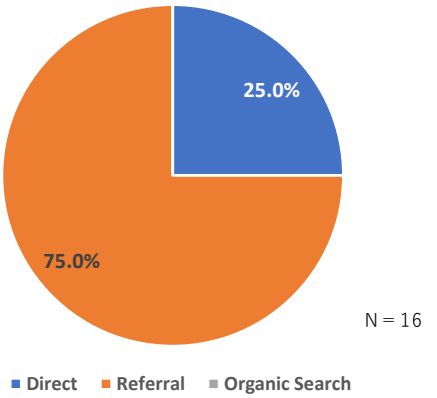
※年齢・性別はデータなし

②真栄田岬（外国人）

３施設のうち外国人のアクセスが最も多かった真栄田岬にて、外国人のサイト閲覧経路などを確認した。

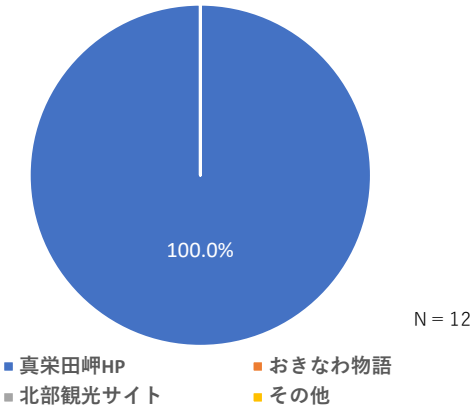
外国人の閲覧経路は、別サイトのリンクからの流入（Referral）が 75.0%を占め、その内訳としては真栄田岬 HP が 100%であった。

また、情報発信 WEB サイト内に掲載した外部リンク（施設情報やおすすめの観光スポット情報など）のうち、外国人により大石林山のサイトリンクが １ 回クリックされていた。

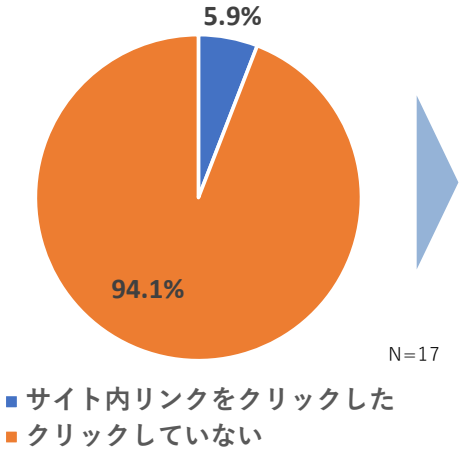


※Direct：直接 URL 入力やブックマークからの流入
※Referral：別サイト経由からの流入
※Organic　Search：自然検索での流入

図表 75　閲覧経路



図表 76　「Referral」の内訳



サイト名	クリック数(割合)
大石林山	１（100%）

図表 77　真栄田岬のサイト内に掲載したリンクの閲覧状況（外国人）

（３）実証地点における来訪者アンケート調査による効果検証

駐車場の混雑状況の可視化及び観光客の周遊促進の仕組みに対する利便性や満足度等について把握するため、各実証地点においてアンケート調査を実施した。

調査概要を以下に示す。

図表 78　来訪者アンケート調査の実施概要

項目	内容
調査目的	・オーバーツーリズムに関する現状、課題について把握・分析
調査対象	・実証地点に訪れた観光客
調査方法	・対面によるアンケート
調査項目	・回答属性 ・情報発信 WEB サイトの有効性 ・今後の利用・改善について
調査期間	令和５年２月 18 日（土）：真栄田岬 令和５年２月 25 日（土）：真栄田岬、ター滝 令和５年３月 12 日（日）：備瀬のフクギ並木
回収数	・167 票 ＜内訳＞ **〇国籍** ・日本人：156 票 ・外国人：11 票 **〇情報発信 WEB サイトの閲覧有無** ・閲覧した人　　：６票 ・閲覧していない人：161 票

【設問内容】

1. 混雑情報提供サイトの閲覧有無についてお伺いいたします。

Q１.混雑情報提供サイトを事前に閲覧しましたか。

【回答】 ①閲覧した ／ ②閲覧していない ⇒①と回答の人は Q2 へ、②と回答の人は Q9 へ

2. 混雑情報提供サイトの利用状況についてお伺いいたします。（Q1 で「①閲覧した」と回答した人のみ）

Q2.どこに向かう／向かおうとした際に利用しましたか。

【回答】 ①ター滝 ／ ②真栄田岬 ／ ③備瀬のフクギ並木 ／ ④たまたま見ていた

Q3.どのような交通手段で訪問されましたか。

【回答】 ①自家用車 ／ ②レンタカー・友人の車 ／ ③タクシー ／ ③路線バス ／ ④観光バス
⑤その他

Q4.いつサイトを見ましたか。（MA）

【回答】 ①旅行に行く前や出発の前日 ／ ②当日の出発前 ／ ③目的地に向かう途中
④その他

Q5.駐車場の混雑情報を参考にしましたか。

【回答】 ①参考にした ／ ②参考にしていない ／ ③見ていない ⇒③の場合 Q8 へ

Q6.閲覧時の混雑状況はどのような状況でしたか。

【回答】 ①「満車」 ／ ②「混雑」 ／ ③「空車」 ／ ④それ以外

Q7.混雑状況提供サイトの混雑情報や周辺のスポット情報を把握した上で、どのような行動をとりましたか。（MA）

【回答】①そのまま目的地に向かった
②少し時間をずらして、目的地に向かった
③他の施設を周遊してから、目的地に向かった
④目的地に行くのをやめた
⑤目的地に行った帰りにサイトに掲載されているおすすめスポットに行った
⑥その他（ ）

Q8.混雑情報提供サイト内にある周辺のおすすめスポット情報を参考にしましたか。

【回答】 ①参考にし、実際に訪れた ／ ②参考にしたが、訪れていない ／
③おすすめスポット情報を見ていない

図表 79 アンケート内容（1/3）

2．混雑情報提供サイトの利用状況についてお伺いいたします。（Q1で「②閲覧していない」と回答した人のみ）

Q9.本日訪れた場所を選んでください。

【回答】 ①ター滝 ／ ②真栄田岬 ／ ③備瀬のフクギ並木

Q10.どのような交通手段で訪問されましたか。

【回答】 ①自家用車 ／ ②レンタカー・友人の車 ／ ③タクシー ／ ③路線バス ／ ④観光バス
⑤その他

Q11. 駐車場の混雑情報提供サイトを事前に閲覧し、参考にしたいと思いますか。

【回答】 ①非常に思う ／ ②思う ／ ③あまり思わない ／ ④思わない

Q12. 駐車場の混雑情報提供サイトについて、どのようなタイミングで見たいと感じますか。（MA）

【回答】 ①旅行に行く前や出発の前日 ／ ②当日の出発前 ／ ③目的地に向かう途中
④その他

Q13. サイトで閲覧した際の混雑情報が「混雑」または「満車」の場合、どのような行動をとりますか。

【回答】①そのまま目的地に向かう
②少し時間をずらして、目的地に向かう
③他の施設を周遊してから、目的地に向かう
④目的地に行くのをやめる
⑤目的地に行った帰りにサイトに掲載されているおすすめスポットに行く
⑥その他（ ）

Q14. 混雑情報提供サイト内にある周辺のおすすめスポット情報を参考にしたいと思いますか。

【回答】 ①非常に思う ／ ②思う ／ ③あまり思わない ／ ④思わない

図表 80 アンケート内容（2/3）

3．混雑情報提供サイトの満足度や改善点についてお伺いいたします。（全員）

Q15.混雑情報提供サイトを今後利用したいと思いますか。

【回答】 ①今後も利用したい ／ ②機会があれば利用したい
③今後は利用したくない ／ ④わからない

Q16. 混雑情報提供サイトを今後改善するにあたって、具体的な機能や欲しい情報の要望を教えて下さい。

【回答】

① 時間帯別の混雑予報の情報
② 空いているおすすめ観光スポットの情報
③ 施設や駐車場などに事前予約サービスとの連携
④ レンタカー以外の公共交通のアクセス情報
⑤ その他（ ）

Q17.その他、ご要望等があれば教えてください。

【回答】 自由記述

4．属性情報（全員）

Q18.性別について教えて下さい。

【回答】 ①男性 ／ ②女性 ／ ③回答しない

Q19.年齢について教えて下さい。

【回答】 ①10 代 ／ ②20 代 ／ ③30 代 ／ ④40 代 ／ ⑤50 代
⑥60 代 ／ ⑦70 代以上

Q20.国籍について教えてください

【回答】 ①日本 ／ ②海外（ ）

Q21.居住地について教えて下さい。

【回答】 47 都道府県から選択

Q22.職業について教えてください。

【回答】 ①会社員・公務員 ／ ②自営業 ／ ③非常勤（パート・アルバイト）／ ④学生
⑤主婦・主夫 ／ ⑥無職 ／ ⑦その他（ ）

Q23.沖縄県への来訪回数について教えてください。

【回答】 ①今回が初めて ／ ②2～５回 ／ ③6～１０回／④10 回以上／⑥沖縄県に在住している

以上

図表 81 アンケート内容（3/3）

１）情報発信 WEB サイトを閲覧した人（6 人）集計結果

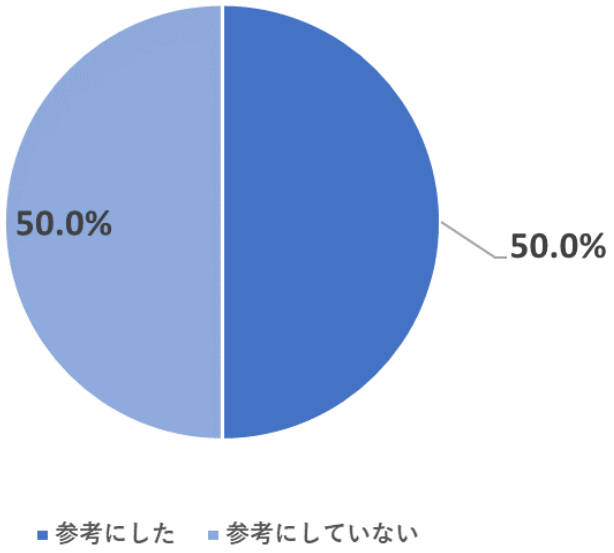
■回答者の属性

国籍	日本人（6 人）
性別	男性（6 人）
年代	20 代（2 人）、30 代（2 人）、40 代（2 人）
沖縄県への来訪回数	今回が初めて（1 人）、2～5 回（4 人）、10 回以上（1 人）

■混雑情報発信 WEB サイトの有効性

①混雑情報発信を参考にしたかどうか

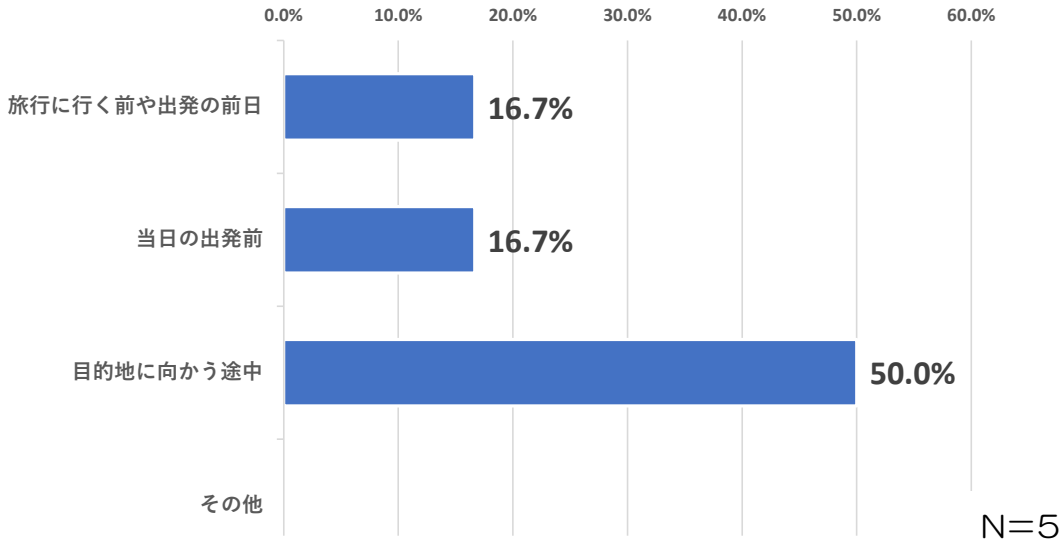
○参考にした人は、50%であった。



N=6

②情報発信 WEB サイトを閲覧したタイミング

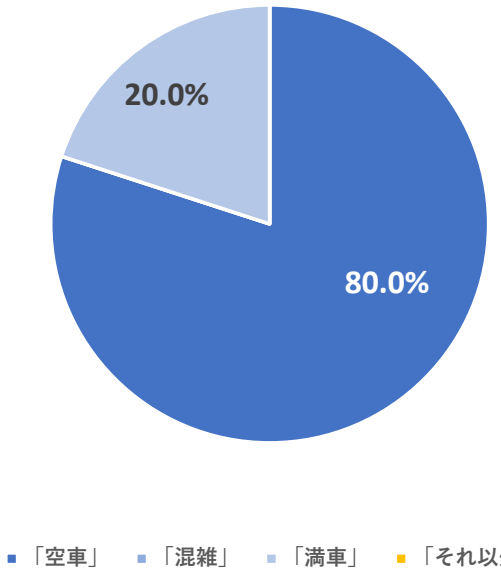
○「目的地に向かう途中」が 50.0%と最も多かった。



N=5

③情報発信 WEB サイト閲覧時の混雑表示

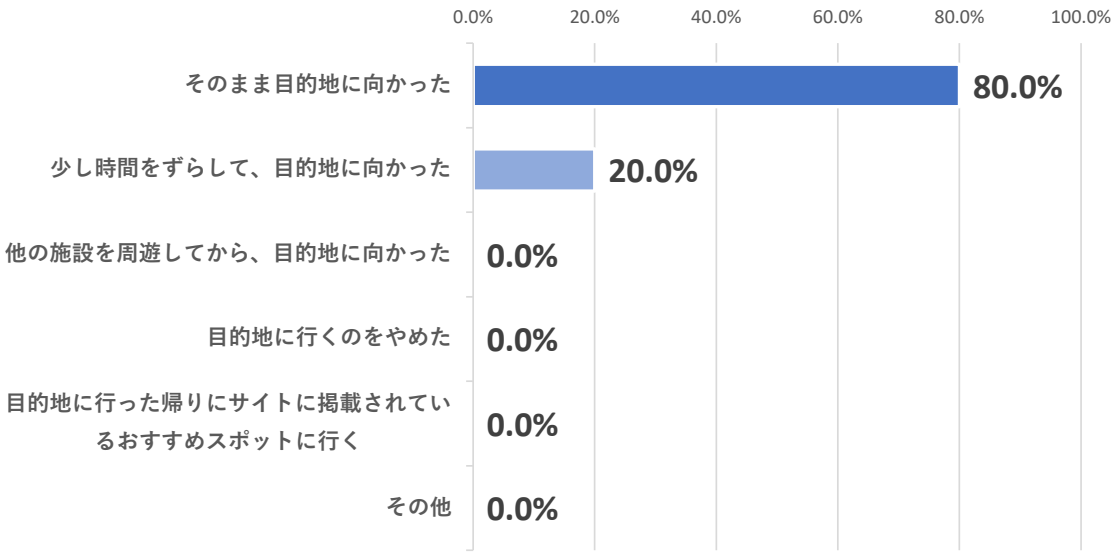
○「空車」が 80.0%、「満車」が 20.0%であった。



N=5

④情報発信 WEB サイトを閲覧した上でとった行動

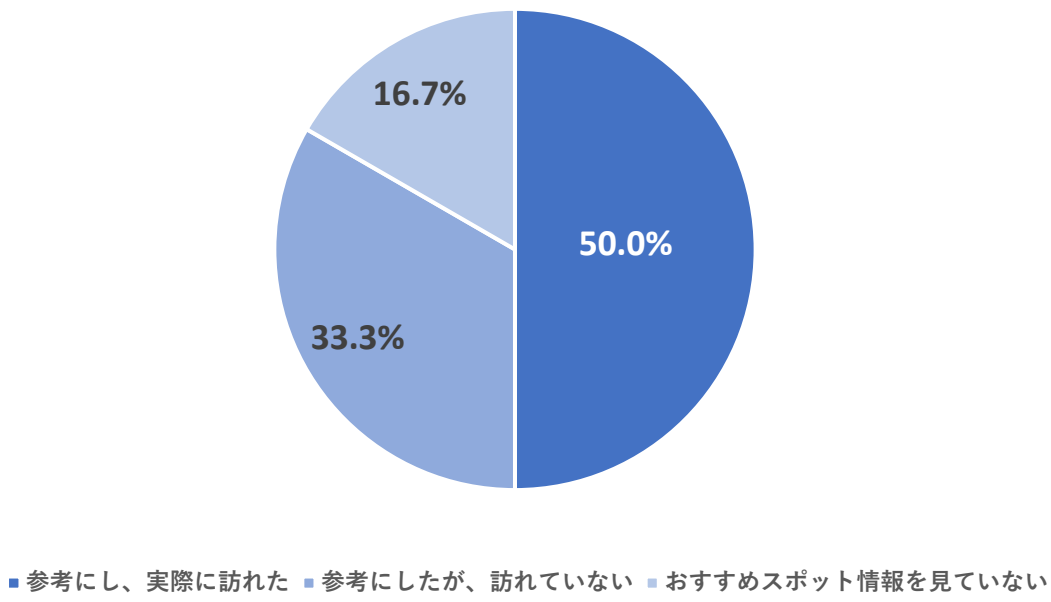
○「そのまま目的地に向かった」が 80.0%、「少し時間をずらして目的地に向かった」が 20.0%であった。



N=5

⑤周辺のおすすめスポット情報を参考にしたか

○「参考にし、実際に訪れた」が 50.0%、「参考にしたが、訪れていない」が 33.3%、「おすすめスポット情報を見ていない」が 16.7%であった。

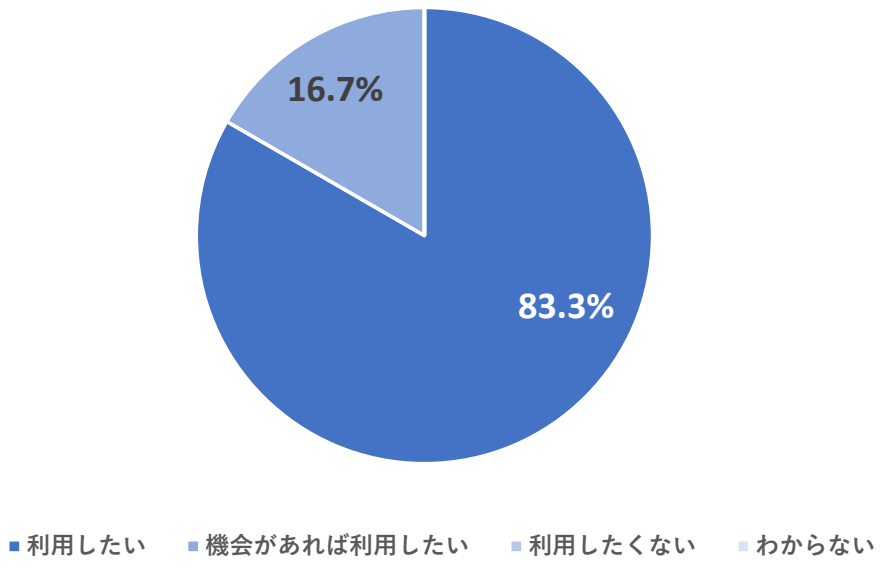


N=6

■今後の利用・改善について

①情報発信 WEB サイトを今後利用したいと思うか

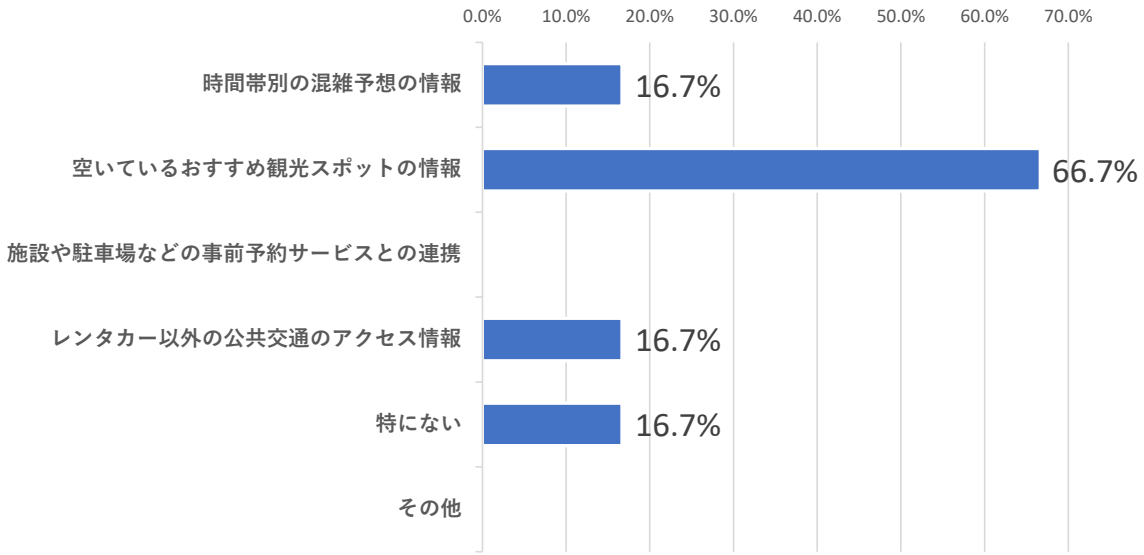
○今後の利用意向について、サイトを利用したい（利用したい、機会があれば利用したい）と回答した人が全員であり、サイトの周知を促進することで閲覧者の増加が見込まれると考えられる。



N=6

②情報発信 WEB サイトに追加でほしい機能や情報

○追加でほしい情報としては、「空いているおすすめ観光スポットの情報」（66.7%）が最も多かった。



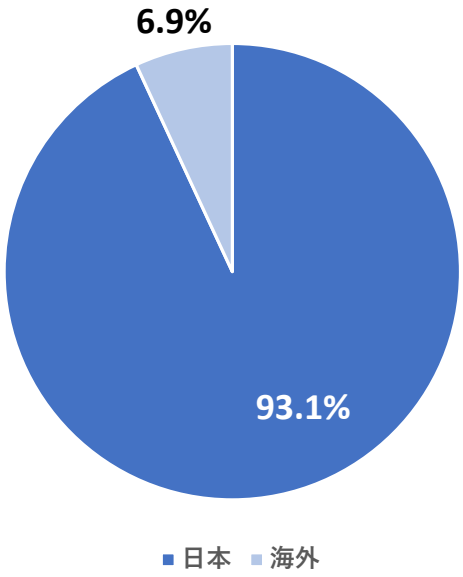
N=6

２）情報発信 WEB サイトを閲覧していない人（161 人）の集計結果

■回答者の属性

①国籍

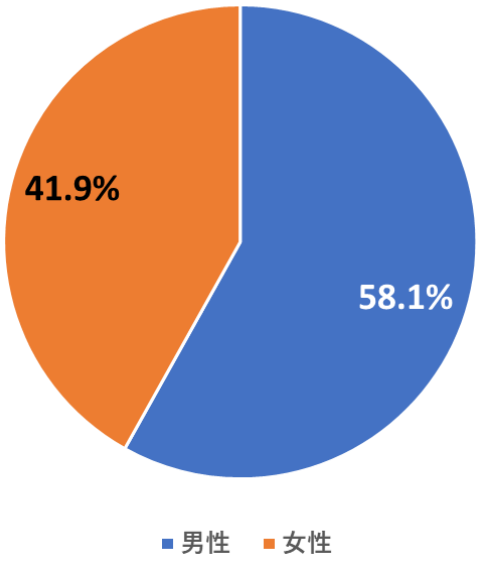
○「日本」が 93.1%、「海外」が 6.9%となっている。



N＝161

②性別

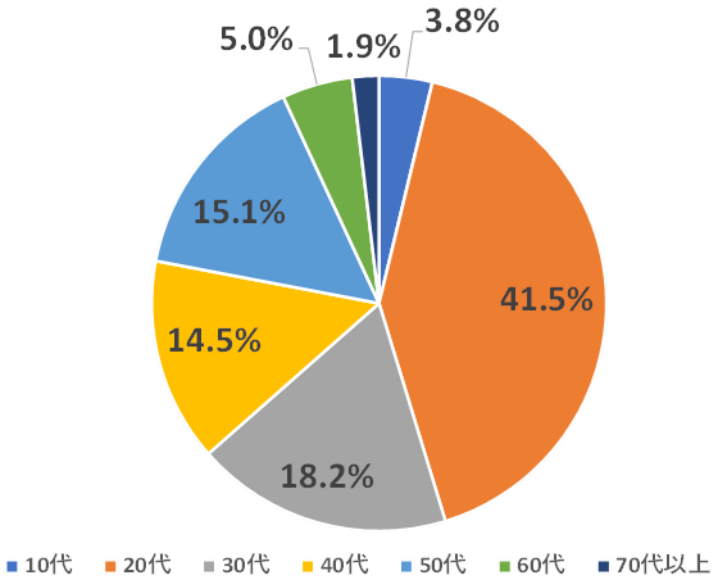
○「男性」が 58.1%、「女性」が 41.9%となっている。



N＝161

③年代

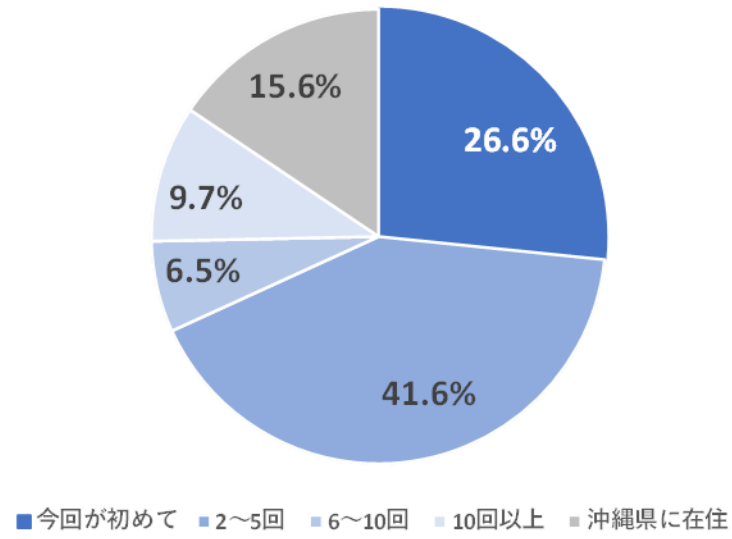
○「20 代」が 41.5%と最も多く、次いで「30 代」が 18.2%となっている。



N＝161

④沖縄県への来訪回数

○「2～5 回」が 41.6%と最も多く、次いで「今回がはじめて」が 26.6%となっている。

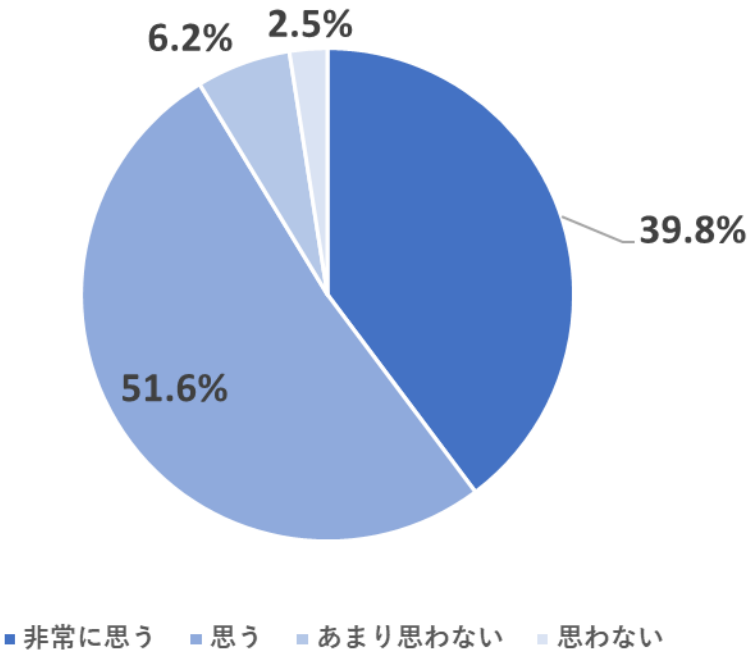


N＝161

■情報発信 WEB サイトの有効性

①混雑情報発信を参考にしたいと思うか

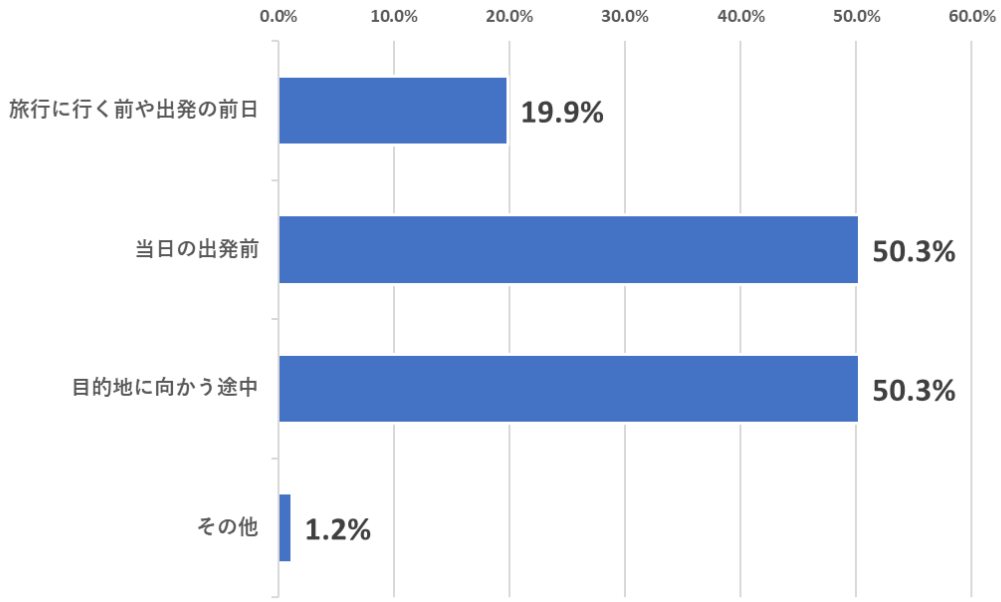
○「非常に思う」「思う」が９割を占めている。



N＝161

②情報発信 WEB サイトを閲覧したいタイミング

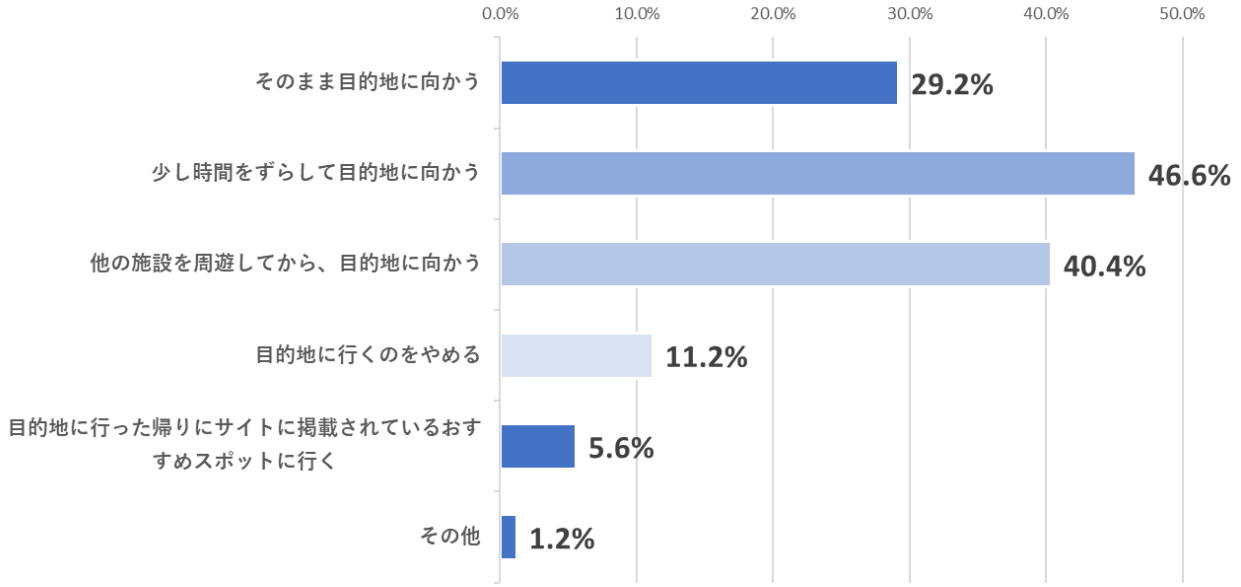
○閲覧したいタイミングは、「当日の出発前」「目的地に向かう途中」が 50.3%と最も多かった。



N＝161

③「混雑」「満車」表示だった場合にとる行動

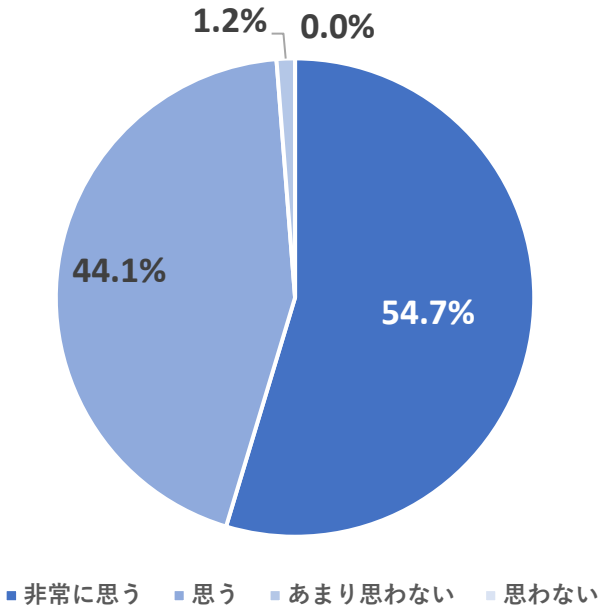
○閲覧時に「混雑」または「満車」と表示されていた場合、「時間をずらして向かう」（46.6%）や「他の施設を周遊してから向かう」（40.4%）など、行動変容する人が多かった。



N＝161

④周辺のおすすめスポット情報を参考にしたいと思うか

○「非常に思う」「思う」が９割以上を占めている。

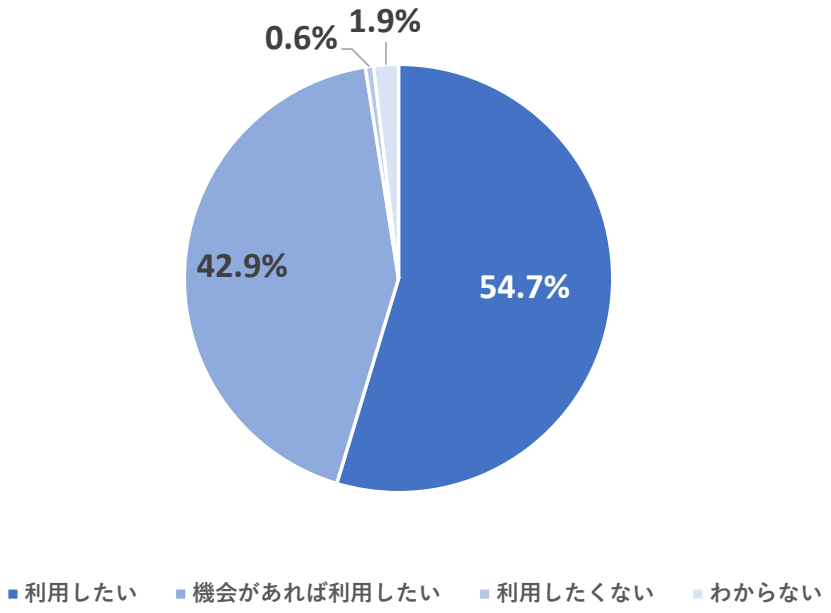


N＝161

■今後の利用・改善について

①情報発信 WEB サイトを今後利用したいと思うか

○今後の利用意向について、サイトを利用したい（利用したい、機会があれば利用したい）と回答した人は 97.6%であり、サイトの周知を促進することで閲覧者の増加が見込まれると考えられる。

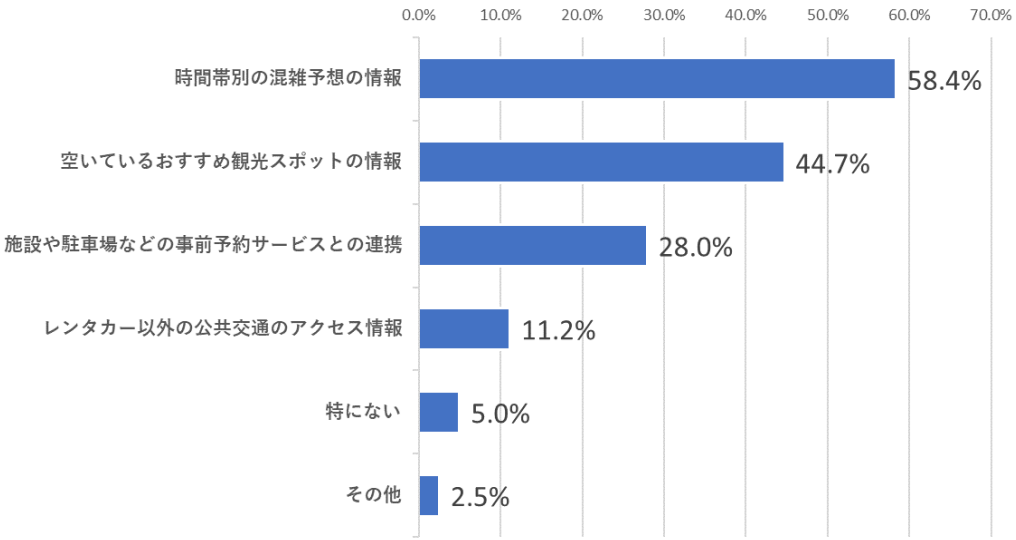


N＝161

②情報発信 WEB サイトに追加でほしい機能や情報

○追加でほしい情報としては、「時間帯別の混雑予想の情報」（58.4%）や「空いているおすすめ観光スポットの情報」（44.7%）などの意見が多かった。

○今後、継続的な混雑情報のデータ蓄積や混雑情報発信の対象施設の増加などが課題としてあがった。



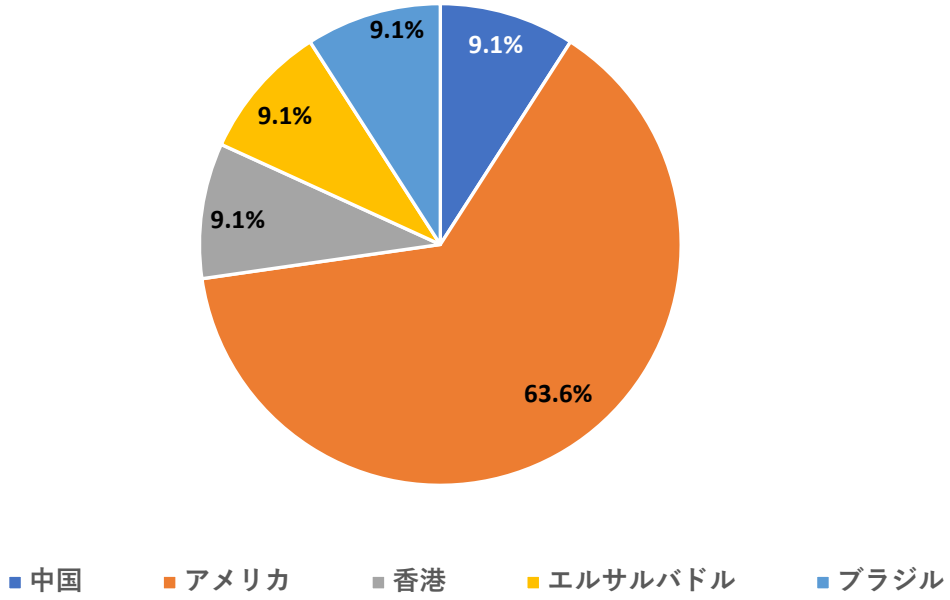
N＝161

３）外国人（11 人）集計結果

■回答者の属性

①国籍

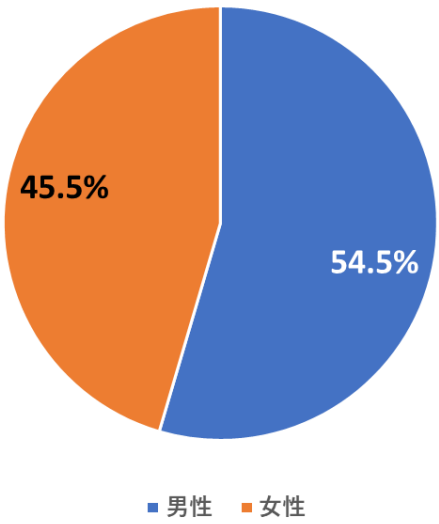
○「アメリカ」が 63.6%と最も多かった。



N＝11

②性別

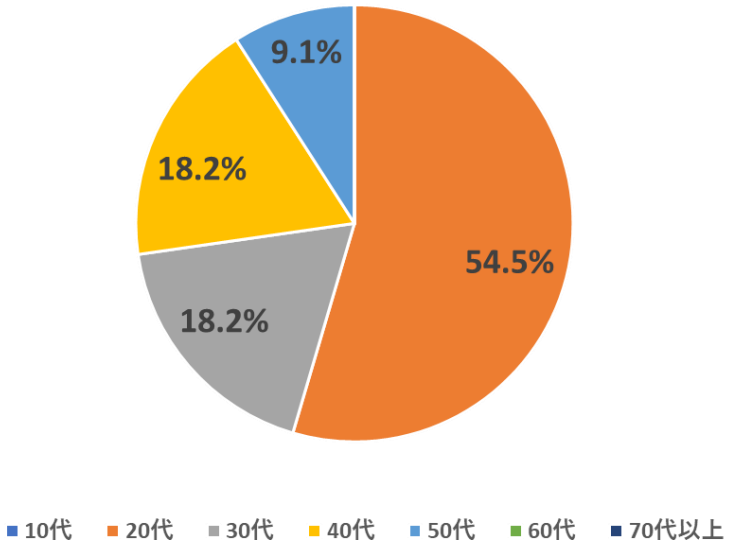
○「男性」が 54.5%、「女性」が 45.5%となっている。



N＝11

③年代

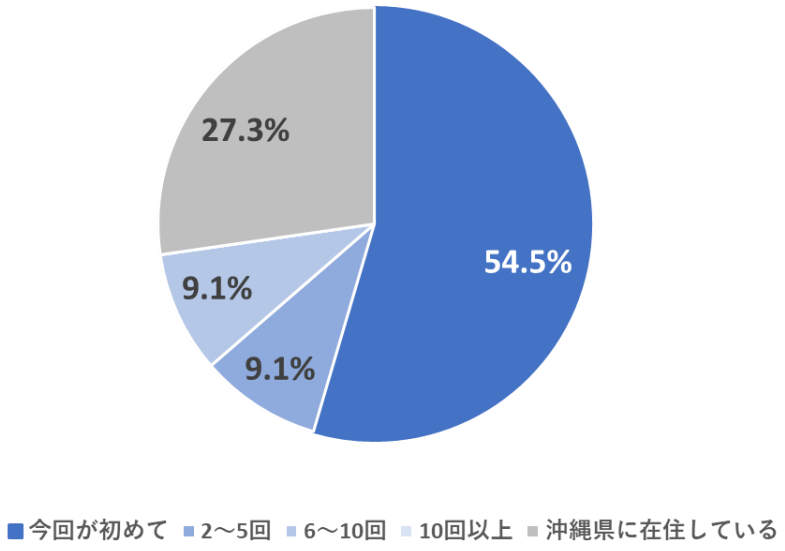
○「20 代」が 54.5%と最も多かった。



N＝11

④沖縄県への来訪回数

○「今回がはじめて」が 54.5%と最も多く、次いで「沖縄県に在住している」が 27.3%となっている。

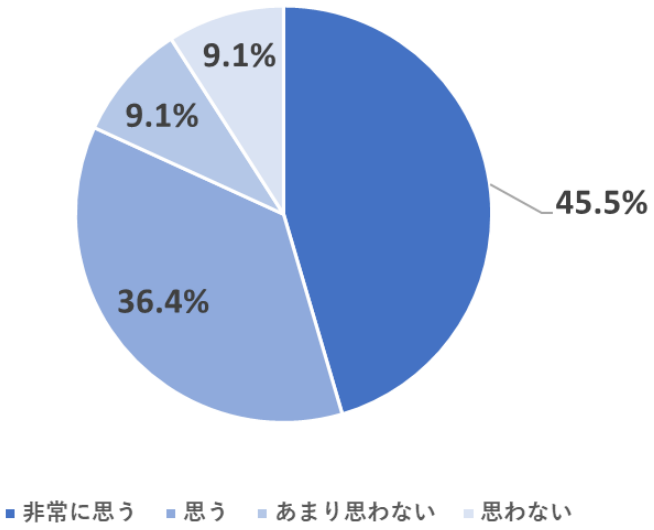


N＝11

■情報発信 WEB サイトの有効性

①混雑情報発信を参考にしたいと思うか

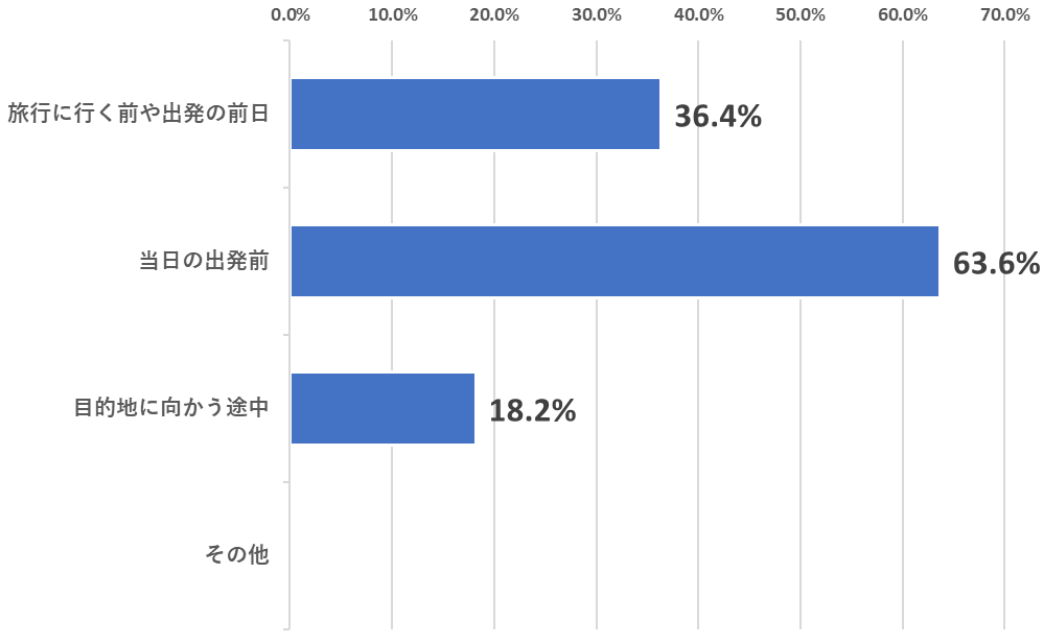
○「非常に思う」「思う」が８割を占めている。



N＝11

②情報発信 WEB サイトを閲覧したいタイミング

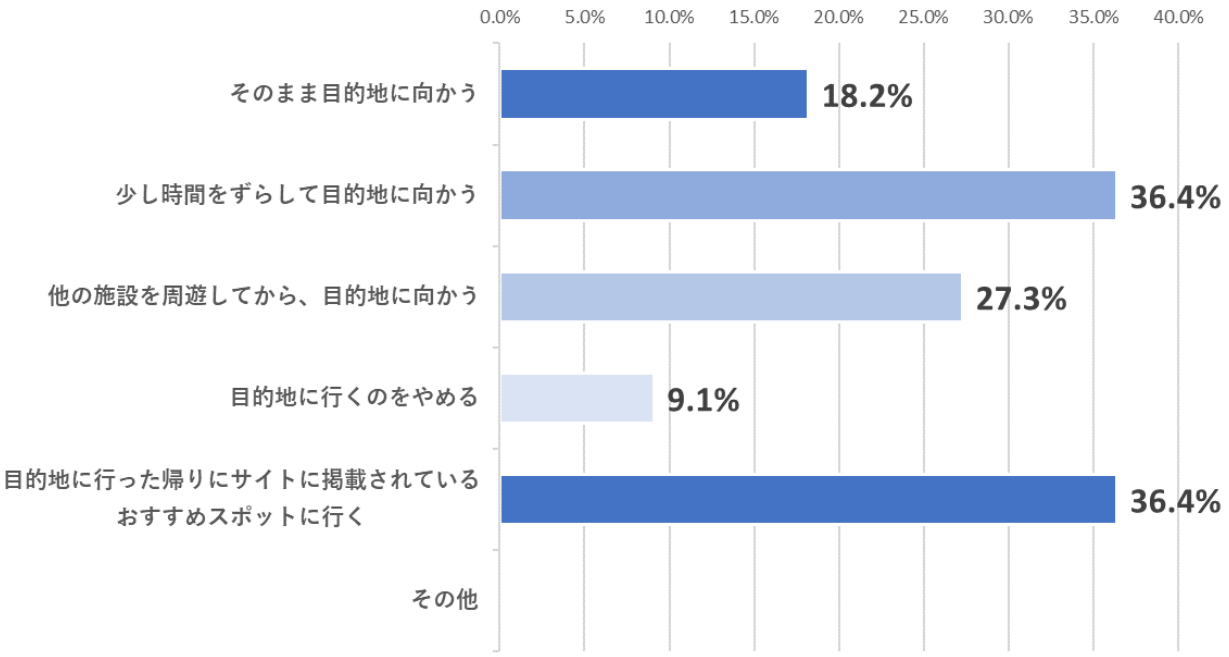
○閲覧したいタイミングは、「当日の出発前」が 63.6%と最も多かった。



N＝11

③「混雑」「満車」表示だった場合にとる行動

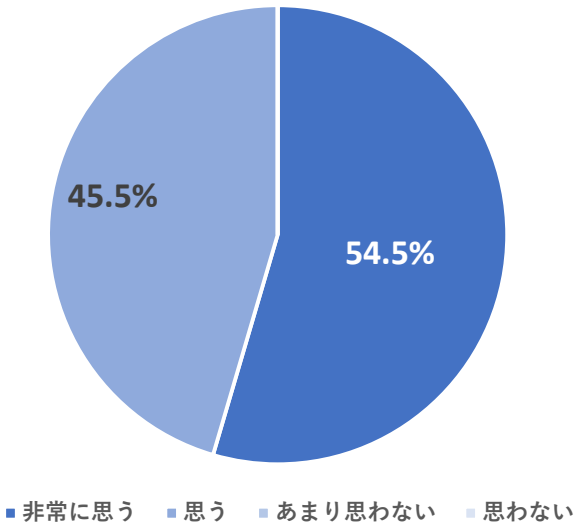
○閲覧時に「混雑」または「満車」と表示されていた場合、「時間をずらして向かう」や「目的地に行った帰りにサイトに掲載されているおすすめスポットに行く」がともに 36.4%と最も多かった。



N＝11

④周辺のおすすめスポット情報を参考にしたいと思うか

○「非常に思う」が 54.5%、「思う」が 45.5%であった。

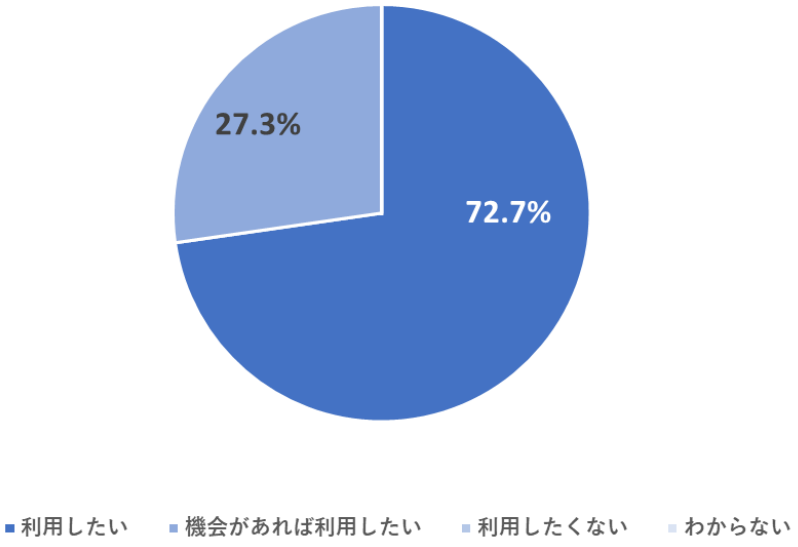


N＝11

■今後の利用・改善について

①情報発信 WEB サイトを今後利用したいと思うか

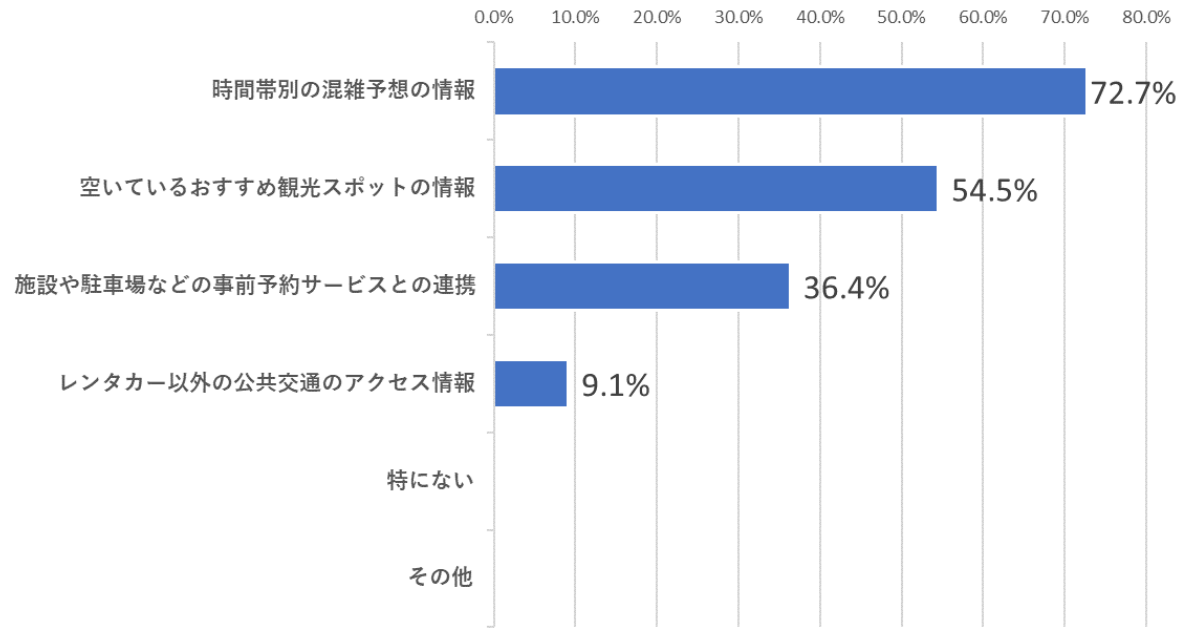
○今後の利用意向について、サイトを利用したい（利用したい、機会があれば利用したい）と回答した人が全員であり、サイトの周知を促進することで閲覧者の増加が見込まれると考えられる。



N＝11

②情報発信 WEB サイトに追加でほしい機能や情報

○追加でほしい情報としては、「時間帯別の混雑予想の情報」（72.7%）や「空いているおすすめ観光スポットの情報」（54.5%）などの意見が多かった。



N＝11

４．２ 次年度以降の取組の検討

（１）本業務の実施結果のまとめ

・自治体アンケートや地域住民アンケート、観光客アンケートより、北部地域において、夏休み等の長期休暇期間における観光施設等の駐車場や道路の交通渋滞、生活圏への侵入などが問題となっていることを把握した。その要因としては、県外だけでなくインバウンド客も要因となっていることが分かった。

・今後は、北部テーマパークの建設、本部港のクルーズ船の受入、世界自然遺産登録などの影響により、来訪者が多くなることで、違法駐車や交通渋滞の増加が問題としてあがっており、地域住民の生活環境の悪化や海域環境への負荷などが懸念されている。

・そのような状況の中で、本業務にて混雑状況の可視化システムを導入し、効果検証を行った結果のポイントを以下に整理した。

①沖縄本島北部地域の３か所において混雑状況の可視化システム導入

・沖縄本島北部地域のター滝（大宜味村）、備瀬のフクギ並木（本部町）、真栄田岬（恩納村）において、混雑状況の可視化システムの導入を行った。

・今回の可視化システムでは、実証後も継続的に運用できるものとするため、施設管理者等のご協力の下で、既存電柱やカメラ、ネットワークを最大限に活用する構成とした。

・また、混雑判定にあたっては、各施設の駐車場の埋まり状況を把握した上で、駐車場の一部に設置したカメラ映像の混雑状況から、駐車場全体の混雑状況を推定し発信した。（真栄田岬については、ゲート管理のため出入口カメラによる入出庫数から駐車場内台数を推定し、混雑状況を把握した）

・本業務では、沖縄本島北地域の自治体をまたぐ 3 地点で混雑状況の可視化システムを導入したことで、今後の北部地域での周遊促進につながる取組となった。

・その中で、一部の混雑状況から全体の混雑状況の推定する混雑状況の判定方法については乖離も少なく一定程度の効果が得られた。一方で、車両の重なりなどカメラの画角により台数が検知されないケースもあったため、継続的な取組によりケースなどデータの蓄積による精度の向上が課題となった。

・今後は、混雑状況の可視化システムの向上を図りながら混雑情報発信の精度を向上していくことが望ましい。

②混雑情報の発信に対する観光客からの有効性を確認

・混雑情報の発信について、情報発信 WEB サイトを開設するとともに各自治体や施設管理者、観光協会と連携して観光客に対して周知・啓発を行った。また、実証地点において効果検証アンケートを実施し、混雑情報の発信の有効性について確認した。

・情報発信 WEB サイトについて、実証地点により期間や閑散期など状況は異なっていたが、実証期間が長く、来訪者が多かった真栄田岬では、PV 数：38.9 回/日、UU 数：19.8 人/日おり、混雑情報の発信に対する観光客の有効性を確認できた。
・また、効果検証アンケートにおいても、各実証地点に来訪した観光客の中で、情報発信サイトを利用したいとの意向が 9 割以上おり、リアルタイムでの情報発信の必要性を確認した。また、満車や混雑だった場合、時間をずらして向かうなど行動変容する意向も把握できた。

・今後は、周辺施設などを含めて混雑情報発信サイトの周知・広報を拡充していくとともに、時間帯別の混雑予想や空いている観光スポットの情報など情報発信 WEB サイトのコンテンツの拡充を期待している人が多いため、今後も検討していく必要がある。

③地域関係者と協力した体制の構築

・混雑状況の可視化システムの導入にあたっては、各実証地点で２回ずつ地域部会を開催して、地域関係者と協力する体制を構築した。

・地域部会内においても、混雑状況の可視化システムの状況や各種アンケート結果の共有を図りながら意見交換を進めてきたが、本取組について地域からも継続していきたい意見があがった。

・今後は、地域が継続して運営できる体制の構築を検討していく必要がある。

（２）今後の課題と方向性

今後、取組を継続していくための課題及び方向性について以下に整理した。

①混雑情報のモニタリングの継続とさらなる精度向上、効果検証

・今年度は、駐車場の特性（駐車場の埋まる箇所や順番など）を踏まえてカメラを設置したことで、駐車場の一部のカメラでも全体の混雑判定の乖離はあまりみられなく一定程度の効果があったと考えられる。
・一方で、実証期間が限定されていたことでデータの蓄積が十分にできず、観光客の行動変容に必要な情報の提供まで行えなかった。

・今後、混雑判定のさらなる精度の向上に向けて、満車時の状況や局所的なピーク時間帯の状況の混雑など様々なケースを踏まえて検討していくことが重要であるため、継続的にモニタリングしデータを蓄積していく必要がある。
・あわせて、蓄積したデータで混雑予測情報などを発信していくことやカメラのライブ映像を展開するなど新たな混雑状況の発信方法をすることで、観光客の行動変容につながると考えられるため、引き続き検討していく必要がある。

②周遊促進に向けた取り組みの周知拡散

・今年度は、情報発信サイトの開設、チラシの作成・配布、各関連団体等へのバナーの掲載等を行ってきたが、アンケート結果からも情報発信サイトや混雑状況の可視化についての認知度が低い状況であった。

・今後は、観光客が安心・安全で快適な観光地となるように、引き続き関係者と連携して周知をしていくとともに、周辺の観光施設など沖縄県本島北部エリア全体として協力してもらえる事業者も含めて連携し、さらなる取り組みの周知拡散していくことが必要である。
・また、混雑時の分散を図るだけでなく、周遊促進し、消費拡大につなげていくために周辺施設や関係団体が連携した方法を検討していく必要がある。
・さらには、備瀬のフクギ並木など常時駐車場が満車であり、駐車台数も敷地形状上増やせない場所の観光地等では、公共交通の利用促進など交通手段を転換する方法など他施策とも連携した取り組みを検討する必要がある。

③周遊促進に向けた取り組み箇所の増加

・今年度は、沖縄県本島北部エリアの 3 か所において実証を行ってきたが、アンケートにおいても他施設の混雑状況を知りたいとの意見があがっており、周遊促進を行う上では混雑情報の発信できるシステムの導入施設の増やしていくことが必要である。
・また、周遊先として受け入れ可能な施設の増加もあわせて検討していく必要があるため、各自治体や観光施設にも協力依頼や導入検討を促進していく必要がある。

④今後の運営体制の検討

・来訪者へのアンケート等からも混雑情報発信サイトの有効性は確認できたため、地域部会において、部会メンバーを中心として引き続き実施していく方向となった。

・今後、混雑情報可視化システムの費用負担や体制など継続的に実施していくための方法について検討していく必要がある。

５．協議会等の開催

５．１ 協議会

専門家や沖縄県、DMO、関係団体で構成される協議会を計２回開催し、事業の実施方針、事業の結果について報告・意見交換を行った。

以下に、開催概要及び協議会委員メンバーを示す。

図表 82　協議会の開催概要

回	開催日	内容
1	令和４年 11 月 16 日（水） 10：30～11：30	・実証事業の実施方針 ・意見交換
2	令和５年３月 17 日（金） 11：00～12：00	・実証事業の実施結果 ・意見交換

図表 83　協議会委員メンバー

	区分	所属役職	氏名（敬称略）
１	専門家	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース　准教授	神谷　大介
２	沖縄県	沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課 観光資源班　班長	喜屋武　敦
３	DMO	沖縄観光コンベンションビューロー 事務局次長兼　企画・施設事業部長	内間　康貴
４	関係団体	北部市町村広域連絡事務組合 北部振興対策室　室長	林　顕久

（1）第 1 回協議会

第 1 回協議会の実施概要を以下に示す。

図表 84　第 1 回協議会　実施概要

開催日時	令和 4 年 11 月 16 日（水） 10：30～11：30
開催場所	オンライン（Zoom）
内容	・実証事業の実施方針 ・意見交換
議事概要	・混雑ステータスを発信するよりも、現地の写真から利用者が混雑状況を判断する方が効果的な場合もある。そのため、河川のライブカメラのように、数分おきに更新される写真・映像を発信することも検討しても良いのではないか。 ・駐車台数と合わせて、駐車場での滞在時間も記録することで、観光地の有用なデータとして蓄積されるため良いのではないか。 ・リアルタイムな状況だけでなく、過去の混雑状況の発信も利用者にとっては参考になるのではないか。 ・車だけでなく、人の混雑も発信できるとより良いと感じる。 ・周遊のインセンティブについて、各施設への来訪者がドリンクなどで行先を変更するのかが疑問である。 ・情報発信について、北部コミュニケーションサイトの活用や、現在周知を図っている北部の観光地情報発信アプリ（やんばる GOGO）との連携も検討の余地はあるのではないか。

（２）第２回協議会

第２回協議会の実施概要を以下に示す。

図表 85　第２回協議会　実施概要

開催日時	令和５年３月 17 日（金） 11：00～12：00
開催場所	オンライン（Zoom）
内容	・実証事業の実施結果 ・意見交換
議事概要	・真栄田岬での実証について、入庫・出庫ゲートのシステム側で正確な入庫・出庫台数を把握することができれば、より正確な情報を発信できるのではないか。 ・備瀬のフクギ並木での実証について、駐車マス以外に停めている車も駐車台数としてカウントするかどうかが課題ではないかと感じる。 ・いずれの実証地点においても、来訪する時間帯の参考にしてもらうために、時期別、月別の混雑状況や混雑予測の情報などを合わせて発信することも有効ではないか。 ・事業の目的の１つに現地消費の促進があるが、周遊先での消費行動を促進する仕組みがもう少しあると良いのではないかと感じる。 ・北部全体での周遊を促進していきたいと強く感じているため、令和５年 10 月以降も継続できるような体制を検討してほしい。

５．２ 地域部会

各実証地点の自治体、観光協会、区長などの関係者で構成される地域部会を、各実証地点で２回ずつ開催し、事業の実施方針、事業の結果について報告・意見交換を行った。

以下に、開催概要及び各実証地点における部会の構成メンバーを示す。

図表 86　地域部会の開催概要

エリア	回	開催日	内容
ター滝	1	令和４年 10 月 18 日（火） 11：00～12：00	・実証事業の実施方針 ・意見交換
	2	令和５年３月１５日（水） 11：00～12：00	・実証事業の実施結果 ・意見交換
真栄田岬	1	令和４ 年 11 月２９日（火） ９：00～10：00	・実証事業の実施方針 ・意見交換
	2	令和５年３月 13 日（月） 13：00～14：00	・実証事業の実施結果 ・意見交換
備瀬のフクギ並木	1	令和４年 12 月２６日（月） 15：00～16：00	・実証事業の実施方針 ・意見交換
	2	令和５年３月 15 日（水） 15：00～16：00	・実証事業の実施結果 ・意見交換

図表 87　地域部会メンバー

エリア	所属	氏名（敬称略）
ター滝	大宜味村役場　商工振興課　観光係	島袋 隆也、石川 琉人
	大宜味村観光協会	大崎 史丸、増田 耕平
真栄田岬	恩納村役場　商工観光課	親泊 誠、砂辺 直人
	恩納村観光協会	金城 廣野
	株式会社まえだ（兼　真栄田区長）	安冨祖 正也
備瀬のフクギ並木	本部町役場　企画商工観光課	宮城 修平
	本部町観光協会	當山 清博、崎浜 秀明
	備瀬区（区長）	兼次 静夫

（１）ター滝

１）第１回地域部会

第１回地域部会の実施概要を以下に示す。

図表 88　第１回協議会　実施概要

開催日時	令和４年 10 月 18 日（火） 11：00～12：00
開催場所	大宜味村役場　会議室
内容	・実証事業の実施方針 ・意見交換
議事概要	・既存の HP では、「空車」「やや混雑」「満車」の表示に加え、天気によっては「閉鎖」と表示する場合もあるが、自動にした場合のその表示への対応が課題であると感じる。 ・既存の HP も多くの人に見てほしいと考えているため、新設する情報発信 WEB サイトと既存 HP の連携も行いたい。 ・序盤は入口付近の部分から駐車マスが埋まり、後半にカメラで撮影している範囲が埋まる。一方で、入った車両が出ていく順番はその逆になるため、混雑判定の際にその点を考慮する必要がある。 ・ター滝には GW あたりから徐々に客足が増える。また、ター滝に訪れる客の多くが県内客であり、外国人はほとんどが米軍である。 ・夏の時期は、駐車場の外に 20～30 台の列ができる日もある。

２）第２回地域部会

第２回地域部会の実施概要を以下に示す。

図表 89　第２回協議会　実施概要

開催日時	令和５年３月１５日（水） 11：00～12：00
開催場所	オンライン（Zoom）
内容	・実証事業の実施結果 ・意見交換
議事概要	・手動で発信する場合の混雑表示の目安について、カメラ１（広い側）の右側に映る駐車場所が埋まり始めたら「混雑」、残りの駐車マス数が１桁になる前には「満車」と出すようにしている。 ・１台当たりの駐車時間は２時間～2.5 時間程度である。 ・今後、時間帯別の混雑予想の発信や車だけでなく人の感知もできると良い。 ・今年の夏には、観光客が事務所（レクチャールーム）を経由するように導線を変更する予定である。導線を変更した際には、レクチャールームに来た人数をカウントするシステムの導入も有効ではないかと感じる。

（２）真栄田岬

１）第１回地域部会

第１回地域部会の実施概要を以下に示す。

図表 90　第１回協議会　実施概要

開催日時	令和４年１１月２９日（火） ９：００～１０：００
開催場所	真栄田公民館
内容	・実証事業の実施方針 ・意見交換
議事概要	・情報発信 WEB サイトについて、混雑情報・周遊情報発信サイトへ施設情報等を掲載する際に、料金がかかる場合はあるか。また、真栄田岬の HP との連携はどのように行うのか。 ・周遊先として挙がっている「なかゆくい市場」は、夏のシーズンは駐車場が混雑することがある。 ・真栄田岬に訪れる人の多くがマリンレジャーを目的としているため、他の場所(ダイビング等ができない場所)を紹介しても周遊促進に繋がらないのではないかと感じる。 ・その一方で、駐車場のないスポットを紹介すれば農道への路駐等が増えることが懸念される。 ・きれいな景色を求めて来訪する人もいるため、周遊先として万座毛は良いと感じる。 ・混雑表示について、「調整中」や「閉鎖」はカメラから自動ではできないかと思うが、どのように判定を行うのか。 ・混雑する時期は GW から９月末頃までであるため、実証期間中は満車まではいかないかと考えるが、その後の継続の予定はあるのか。また、どのような体制で継続するのか。

２）第２回地域部会

第２回地域部会の実施概要を以下に示す。

図表 91　第２回協議会　実施概要

開催日時	令和５年３月 13 日（月） 13：00～14：00
開催場所	オンライン（Zoom）
内容	・実証事業の実施結果 ・意見交換
議事概要	・実証前後（コロナ前と実証中）の入場ゲートへの渋滞台数の比較などにより、本事業の効果をより示せるのではないか。 ・「時間帯別の混雑予測」の発信もできれば有効かと考える。 ・周知について、じゃらんなどの大手の観光情報サイトに情報発信 WEB サイトのリンク等を掲載することも可能か。 ・周辺のおすすめスポットの数が少ないように感じたため、今後増やしていく必要があるのではないか。例えば、琉球村やガラス工房（きらめき工房）などの民間の企業はどうか。 ・また、残波岬などは真栄田岬と来訪者のニーズも近いため、周遊先としての効果が大きいのではないか。

（３）備瀬のフクギ並木

１）第１回地域部会

第１回地域部会の実施概要を以下に示す。

図表 92　第１回協議会　実施概要

開催日時	令和４年 12 月26 日（月） 15：00～16：00
開催場所	備瀬区公民館
内容	・実証事業の実施方針 ・意見交換
議事概要	・路上駐車がひどく、住民からは観光客はもういらないという声まで上がっている。道路も細く、車のすれ違いができないほど混雑している状況である。 ・現状では、駐車場は午前 10 時には観光客で満車になることが多く、駐車場の奥は店の従業員の車が止まることが多い。 ・分散化するには駐車場を増やすしかないのではないか。 ・混雑判定について、全 41 マスあるうちの 27 マスだけを対象にして正確な判定ができるのか。 ・入庫数と出庫数をもとに駐車台数をカウントすることは可能か。 ・駐車場はトイレも含め 24 時間空いているとのことだが、夜間の台数カウントは可能なのか。 ・車のナンバーなどで、地元民と観光客の割合が分かると良いと感じる。 ・備瀬のフクギを目的に訪れた観光客に別の場所を紹介しても、周遊しないのではないか。 ・別の実証事業で周遊バス（12/13～2/5）を運行している。情報発信 WEB サイトとバスなどの公共交通との連携を図ることで、レンタカー利用を抑制し、混雑の回避にもつなげていく必要があると感じる。

２）第２回地域部会

第２回地域部会の実施概要を以下に示す。

図表 93　第２回協議会　実施概要

開催日時	令和５年３月 15 日（水） 15：00～16：00
開催場所	備瀬区公民館、オンライン（Zoom）
内容	・実証事業の実施結果 ・意見交換
議事概要	・備瀬のフクギ並木無料駐車場においては、周辺店舗の従業員による駐車が非常に多く、観光客が駐車できるマス数が少なくなっており、店舗の従業員でマスが埋まってしまっては困ると感じている。 ・現状の閾値ではいずれの時間帯も「満車」と表示されるようであるが、それで意味があるのか。「満車」の状態から変わらないことで、観光客から逆に不満の声が挙がるのではないか。 ・本実証によって分散は図れるかと思うが、周辺の駐車場も含めた絶対的なマス数が足りていないと感じる。 ・個人的には、本事業の調査により課題を明らかにし、駐車場を作る方向性に持っていくことが良いのではないかと考えている。 ・混雑する曜日・時間帯がデータとして蓄積できると、混雑予測につながるため良いと思う。 ・また、２月まで実証として走らせていた本部町の周遊バスについて、役場の調査により費用対効果が非常に大きいことが分かっているため、公共交通との連携も図る必要があるのではないか。 ・効果検証のアンケートについて、備瀬への来訪者のみの結果でまとめられないか。

観光地等の混雑状況の可視化による利便性向上及び観光客の分散によるオーバーツーリズム対策に向けた実証事業

報 告 書

令和５年３月

内閣府沖縄総合事務局運輸部観光課